

令和元年度

# 事業報告

公益社団法人 日本産婦人科医会

－ 令和2年6月 －

公益社団法人 日本産婦人科医会

令和元年度 事業報告

I. 会務報告	1
II. 各種会議	18
III. 総務部	39
A. 庶務部会	43
B. 広報部会（医会報編集・IT 関係）	45
C. 法制・倫理部会	57
IV. 学術部	59
A. 先天異常部会	59
B. 研修部会	62
V. 医療部	65
A. 医療安全部会	65
B. 勤務医部会	71
C. 医業推進部会	74
D. 医療保険部会	79
VI. 事業支援部	83
A. 女性保健部会	83
B. がん部会	88
C. 母子保健部会	94
VII. 献金担当連絡室	102



# I. 会務報告

## 1. 会員数 (H31.3.31 ~ R2.3.31)

平成30年度末 11,709名 → 令和元年度末 11,667名 (内会費減免者 1,152名)  
42名減 (内訳 入会 323名 退会 272名 死亡 93名)

都道府県	会員数	正	準	都道府県	会員数	正	準
北海道	340	340	0	滋 賀	155	144	11
青 森	83	83	0	京 都	396	376	20
岩 手	97	97	0	大 阪	1,190	1,092	98
宮 城	198	196	2	兵 庫	622	564	58
秋 田	98	86	12	奈 良	162	144	18
山 形	92	73	19	和歌山	113	105	8
福 島	178	152	26	鳥 取	59	43	16
茨 城	180	153	27	島 根	73	69	4
栃 木	163	139	24	岡 山	142	142	0
群 馬	151	125	26	広 島	232	224	8
埼 玉	498	471	27	山 口	134	116	18
千 葉	359	353	6	徳 島	107	79	28
東 京	1,253	1,250	3	香 川	84	83	1
神奈川	924	855	69	愛 媛	144	125	19
山 梨	62	60	2	高 知	59	56	3
長 野	207	200	7	福 岡	450	383	67
静 岡	300	265	35	佐 賀	46	46	0
新 潟	175	175	0	長 崎	186	168	18
富 山	102	99	3	熊 本	149	149	0
石 川	105	105	0	大 分	129	120	9
福 井	89	68	21	宮 崎	102	100	2
岐 阜	212	142	70	鹿 児 島	112	111	1
愛 知	621	542	79	沖 縄	146	146	0
三 重	188	177	11	合 計	11,667	10,791	876

## ◎物故会員（敬称略）

都道府県	氏名	都道府県	氏名	都道府県	氏名
北海道	金野昭夫	群馬県	塩崎敏夫	東京都	宮下録司
北海道	吉尾喜美子	群馬県	山口隆久	東京都	横田昭男
青森県	品川信良	群馬県	横田勉	東京都	吉岡和之
宮城県	滝口義祐	埼玉県	川島一也	東京都	米倉亮
宮城県	永井宏	埼玉県	草野重信	神奈川県	佐藤宏樹
宮城県	森滋	千葉県	石橋仁子	神奈川県	森崎篤
宮城県	吉田英宗	千葉県	林晴男	長野県	立木委枝
秋田県	真木正博	東京都	上野雅清	静岡県	石橋武蔵
秋田県	松浦麗子	東京都	大塩良三	静岡県	坂口高義
山形県	姉崎進	東京都	亀山博	静岡県	望月浦棲
山形県	池田武司	東京都	柴田敏子	新潟県	荒川義衛
福島県	斎藤忠朝	東京都	鈴木穆	新潟県	鈴木昭
福島県	菅原幸一郎	東京都	田渕徹	新潟県	関口次郎
茨城県	宮川創平	東京都	永石有司	新潟県	初野弥一
栃木県	亀山敏彦	東京都	林茂一郎	富山県	佐々木博也
群馬県	岡本榮	東京都	町田純一	石川県	早稲田健一

都道府県	氏名	都道府県	氏名	都道府県	氏名
岐阜県	高木 榮一	大阪府	杉田 長久	高知県	玉井 研吉
岐阜県	野田 克巳	大阪府	西山 泰正	福岡県	馬渡 辰郎
愛知県	宇田 典弘	大阪府	御前 定	福岡県	森 龍平
愛知県	牧野 政子	大阪府	山崎 京子	長崎県	後藤 英夫
愛知県	森川 喜充	大阪府	吉田 雅代	熊本県	大塚 碩哉
愛知県	山田 源信	兵庫県	土肥 定	熊本県	瀬戸 致行
三重県	和田 安司	兵庫県	吉田 益美	熊本県	森川 信博
京都府	秋山 知	奈良県	岡村 吾郎	熊本県	山口 秀俊
京都府	川口 周利	和歌山県	岩橋 五郎	宮崎県	木佐貫 健一
京都府	平井 博	岡山県	荒木 眞一	宮崎県	松村 雄二
大阪府	上田 三千夫	岡山県	中桐 善康	鹿児島県	久米 康一郎
大阪府	緒方正名	広島県	藤原 篤	鹿児島県	中江 光成
大阪府	岡本 雅善	山口県	尾縣 寛明	沖縄県	上村 昭栄
大阪府	金井 万里子	香川県	牛田 達之		
大阪府	北出 禮子	香川県	黒部 来		
大阪府	越田 光伸	香川県	沼本 明		93名



## (6) 業務分担 (令和2年3月31日現在)

部	副会長	常務理事		理事	幹事長 副幹事長	幹事	
		正	副			正	副
総務部							
庶務部会	平原	宮崎	栗林	松岡	石谷	星	
広報部会 (医会報編集)	石渡	高瀬	鈴木(俊)	長島	石谷	星	永石・林・ 早田・星合 宮国
広報部会 (IT関係)	前田	平田	小林	北井	長谷川	浅川	早田
法制・倫理部会	平原	平川	高瀬	高橋・濱崎 松岡	石谷	浅川	
経理部会	平原	栗林	宮崎	根来・森川	松田	星合	星
学術部							
先天異常部会	平原	中井		志村	長谷川	倉澤	前村
研修部会	前田	小林	鈴木(俊)	丸山	長谷川	永石	五十嵐 小島・戸澤 宮国
医療部							
医療安全部会	石渡	関沢	栗林 鈴木(俊)	落合・木村 志村	長谷川	永石	新垣
勤務医部会	平原	中井	鈴木(俊)	中野	石谷	百村	林・宮国
医業推進部会	前田	種部	平田	田村・森崎	石谷	水本	浅川
医療保険部会	石渡	谷川原	平川・宮崎	加納・長島 藤田	松田	前村	新垣・五十嵐 倉澤・小島 林・星 水本・宮国
事業支援部							
女性保健部会	平原	安達	栗林・種部	田村・山本	石谷	宮国	五十嵐
がん部会	石渡	鈴木(光)	鎌田	岩成・河西 晴山	石谷	戸澤	田中
母子保健部会	前田	相良	鈴木(俊) 関沢	大橋・落合	松田	星	早田
献金担当連絡室		宮崎		藤田	松田	前村	星合

(7) 令和元年度 [関連団体担当者]

1. 日産婦学会・医会連絡会ワーキンググループ	
	宮崎亮一郎、栗林靖、石谷健、 長谷川潤一、松田秀雄 他
2. 日本産科婦人科学会（日本産科婦人科学会誌2020Vol.72 No.1 参照のこと）	
3. 母子保健推進会議 母子健康手帳の多言語化および効果的な支援方法 に関する調査研究	理事：田中政信 委員：鈴木俊治
4. 日本医師会 (1) 社会保険診療報酬検討委員会 (2) 学校保健委員会 (3) 母体保護法等に関する検討委員会 (4) 有床診療所委員会 (5) オンライン診療研修に関する検討委員会	委員：宮崎亮一郎 委員：宮国泰香 委員：白須和裕 委員：前田津紀夫 委員：前田津紀夫、安達知子、宮国泰香
5. 日本医療機能評価機構 (1) 産科医療補償制度運営委員会 (2) 産科医療補償制度再発防止委員会 (3) 産科医療補償制度再発防止ワーキンググループ  (4) 産科医療補償制度原因分析委員会 (5) 産科医療補償制度原因分析委員会部会	理事：木下勝之 評議員：川端正清 委員：木下勝之、平川俊夫 委員長代理：石渡勇 委員：中井章人、前田津紀夫 客員研究員：長谷川潤一 委員：前田津紀夫、鈴木俊治、関沢明彦 【第一部会】 委員：前村俊満 【第二部会】 部会長：鈴木俊治 【第三部会】 部会長：関沢明彦 【第五部会】 委員：倉澤健太郎
6. 外科系学会社会保険委員会連合（外保連） (1) 手術委員会 (2) 処置委員会 (3) 検査委員会 (4) 内視鏡委員会 (5) 実務委員	委員：星真一 委員：宮崎亮一郎 委員：前村俊満 委員：前村俊満 委員：宮崎亮一郎
7. 内科系学会社会保険連合（内保連） (1) 内分泌・代謝関連委員会 (2) 糖尿病関連委員会 (3) 感染症関連委員会 (4) 悪性腫瘍関連委員会 (5) 心身医学関連委員会 (6) 女性診療科関連委員会 (7) 遠隔医療検討委員会	委員：藤間芳郎 委員：藤間芳郎 委員：前村俊満 委員：前村俊満 委員：宮崎亮一郎 委員：宮崎亮一郎 委員：谷川原真吾
8. アルコール健康医学協会	理事：田中政信

<p>9. 厚生労働省</p> <p>(1) HTLV-1対策推進協議会</p> <p>(2) 健やか親子21(第2次)推進協議会</p> <p>(3) 健やか親子21(第2次)評価委員会</p> <p>(4) 独立行政法人医薬品医療機器総合機構</p> <p>(5) 児童虐待防止医療ネットワーク事業に関する検討会</p> <p>(6) 児童虐待防止対策協議会</p> <p>(7) 妊産婦に対する保健・医療体制の在り方に関する検討会</p> <p>(8) がん検診のあり方に関する検討会</p> <p>(9) データヘルス時代の母子保健情報の利活用に関する検討会</p> <p>(10) 薬事・食品衛生審議会</p> <p>(11) 成育医療等協議会</p> <p>(12) 医療計画の見直し等に関する検討会</p> <p>(13) 不妊治療のための休暇制度等環境整備事業検討委員会</p>	<p>構成員：木下勝之</p> <p>担当者：関沢明彦</p> <p>委員：今村定臣</p> <p>専門委員：石渡勇、松田秀雄</p> <p>担当者：木下勝之</p> <p>委員：種部恭子</p> <p>構成員：鈴木俊治</p> <p>参考人：鈴木光明</p> <p>担当者：宮崎亮一郎</p> <p>専門委員 血液事業部会適正使用調査会</p> <p>委員：安達知子</p> <p>委員：平原史樹</p> <p>参考人：中井章人</p> <p>委員：五十嵐敏雄</p>
<p>10. 文部科学省</p> <p>(1) 教科用図書検定調査審議会</p>	<p>委員：安達知子</p>
<p>11. 内閣府</p> <p>男女共同参画推進連携会議</p>	<p>議員：百村麻衣</p>
<p>12. 環境省</p> <p>エコチル調査企画評価委員会</p>	<p>委員：田中政信</p>
<p>13. 日本婦人科がん検診学会</p>	<p>理事：鈴木光明</p>
<p>14. 日本先天異常学会</p>	<p>理事：平原史樹</p>
<p>15. 日本マス・スクリーニング学会</p>	<p>理事：平原史樹</p>
<p>16. 国際クリアリングハウス</p>	<p>日本代表：平原史樹</p>
<p>17. 日本家族計画協会</p>	<p>理事：安達知子</p>
<p>18. JOICFP</p>	<p>評議員：安達知子</p>
<p>19. 松本賞選考委員会</p>	<p>委員：木下勝之</p>
<p>20. ヘルシー・ソサイエティ賞諮問委員会</p>	<p>委員：安達知子</p>
<p>21. 性の健康医学財団</p>	<p>評議員：田中政信</p>
<p>22. 日本周産期・新生児医学会</p> <p>(1) 母体同室による新生児管理の留意点検討ワーキンググループ</p> <p>(2) 新生児蘇生法委員会トレーニングサイト運営小委員会</p>	<p>委員：石渡勇、中井章人</p> <p>委員東京Bトレーニングサイト長：関沢明彦</p>

23. 日本助産師会 (1) 助産業務ガイドライン改訂検討特別委員会 (2) 授乳支援委員会	委員：鈴木俊治 委員：星真一
24. 日本助産評価機構 試験問題検討委員会	委員：中井章人
25. 日本小児科医会 予防接種推進専門協議会	委員：鈴木光明
26. 日本医療安全調査機構	委員：石渡勇
27. 子どもの虹情報研修センター運営委員会	委員：宮国泰香
28. 西日本こども研修センターあかし運営委員会	委員：光田信明
29. 女性アスリート健康支援委員会	社員：木下勝之、理事：安達知子
30. 日本子宮内膜症啓発会議 ライフステージに応じた女性の健康推進のための 思春期教育サポート事業	顧問：木下勝之、委員：安達知子 委員：宮国泰香
31. 日本小児医療連絡協議会 成育医療情報の標準化に関するワーキンググループ	委員：佐藤雄一
32. 日本母体救命システム普及協議会 (1) プログラム開発・改定委員会 (2) 企画運営委員会 (3) インストラクター育成委員会 (4) 認定委員会 (5) 学術委員会 (6) 渉外委員会	代表：石渡勇 委員：中井章人 委員：石渡勇、関沢明彦、長谷川潤一 委員：石川源 委員：佐村修 委員：関沢明彦、長谷川潤一 委員：石川浩史
33. 無痛分娩関係学会・団体連絡協議会 (1) 有害事象分科会 (2) 情報公開分科会 (3) 研修体制分科会	委員：石渡勇、前田津紀夫、橋井康二 構成員：長谷川潤一 構成員：新垣達也、早田英二郎 構成員：関沢明彦、松田秀雄、 倉澤健太郎
34. みずほ情報総研株式会社 産科における医師偏在指標作成検討委員会	委員：中井章人
35. 日本小児医療保健協議会 小児周産期災害医療対策委員会	幹事：中井章人
36. フェリング・ファーマ株式会社 Mifepristone-Misoprostol Advisory board 会議	委員：白須和裕、石谷健
37. 日本フォレンジック看護学会 日本版性暴力被害者支援看護師認定制度準備委員会	委員：石谷健

(8) 委員会委員（令和2年3月31日現在）

	委員会（委員数）	委員（◎委員長、○副委員長）
1	会員倫理（4名）	荻野 雅弘 中曾 庸博 乾 泰延 肥後 貴史
2	医会報編集（7名）	◎加来 隆一 ○武知 公博 ○渡邊 秀樹 荻島 大貴 木内 敦夫 定月みゆき 宮崎 豊彦
3	IT関係（6名）	◎福嶋恒太郎 ○鈴木 美香 入山 高行 柏木 智博 亀井 良政 松波 和寿
4	法制（6名）	◎東 哲徳 伊藤 昌春 佐久本 薫 曾和 正憲 田中 秀則 幡 洋
5	先天異常（7名）	◎竹下 直樹 ○左合 治彦 鈴森 伸宏 宗田 聡 浜之上はるか 室月 淳 三浦 清徳
6	研修（13名）	◎小林 康祐 ○高井 泰 青木 茂 飯塚 美德 石川 哲也 大浦 訓章 小島 真奈 川崎 薫 甲賀かをり 佐藤 誠也 竹田 純 中島 彰俊 谷口千津子
7	医療安全（16名）	◎池田 智明 ○吉田 幸洋 石川 源 石川 浩史 大野 泰正 岡 進 長田 佳世 川名有紀子 小林 隆夫 佐村 修 関 博之 田中 博明 中田 雅彦 橋井 康二 林 聡 村越 毅
8	母体救命法普及運営（3名）	関 博之 竹田 省 橋井 康二
9	勤務医（8名）	◎木戸 道子 ○川鱈 市郎 石井 桂介 卜部 諭 奥田 美加 水主川 純 関口 敦子 長谷川ゆり
10	医業推進（10名）	◎角田 隆 ○岩永 成晃 上野 浩久 井上 聡子 金子 法子 紀平 正道 佐山 雅昭 原 崇文 松本 和紀 盛本 太郎
11	医療保険（16名）	◎藤間 芳郎 ○堀 大蔵 稲本 裕 大野 義雄 奥山 和彦 片嶋 純雄 金嶋 光夫 近藤 英治 齋藤 俊章 西 洋孝 西井 修 西尾 幸浩 沼 文隆 正橋 鉄夫 万代 昌紀 渡辺 正

12	女性保健（8名）	◎野口まゆみ 江夏亜希子 樋口 毅	○岡野 浩哉 椎名 香織 宮原 優子	○北村 邦夫 野村 哲哉
13	がん対策（13名）	◎小澤 信義 黒川 哲司 関根 憲 寺本 勝寛 森本 紀	○苛原 稔 児玉 省二 田中 博志 平井 康夫	大村 峯夫 今野 良 田畑 務 宮城 悦子
14	母子保健（10名）	◎茨 聡 甲村 弘子 中島 正雄 吉田耕太郎	○光田 信明 佐藤 昌司 中塚 幹也	小川真里子 白土なほ子 西郡 秀和

(9) プロジェクト委員会委員（令和2年3月31日現在）

	プロジェクト委員会（委員数）	プロジェクト委員（◎リーダー）		
1	遠隔医療プロジェクト（13名）	◎平田 善康 鮫島 浩 中野 義宏 早川 智 松波 和寿	亀井 良政 関 博之 二井 栄 福嶋恒太郎	小林 浩 角田 隆 西 洋孝 藤井 知行
2	地域偏在解消プロジェクト（7名）	◎中井 章人 栗林 靖 宮崎亮一郎	石谷 健 谷川原真吾	鎌田 正晴 前田津紀夫
3	母子健康手帳電子化プロジェクト（3名）	◎小林 浩	宮崎亮一郎	石谷 健

## (10) 各都道府県産婦人科医会会長・地域代表（令和2年3月31日現在）

都道府県	会 長	地域代表	都道府県	会 長	地域代表
北海道	晴山 仁志	晴山 仁志	滋 賀	野村 哲哉	野村 哲哉
青 森	平岡 友良	平岡 友良	京 都	田村 秀子	田村 秀子
岩 手	松田 壯正	松田 壯正	大 阪	志村研太郎	志村研太郎
宮 城	濱崎 洋一	濱崎 洋一	兵 庫	山崎 峰夫	山崎 峰夫
秋 田	高橋 道	高橋 道	奈 良	赤崎 正佳	赤崎 正佳
山 形	手塚 尚広	手塚 尚広	和歌山	矢本 希夫	矢本 希夫
福 島	野口まゆみ	野口まゆみ	鳥 取	中曾 庸博	中曾 庸博
茨 城	青木 雅弘	青木 雅弘	島 根	岩成 治	岩成 治
栃 木	田中 光臣	田中 光臣	岡 山	江尻 孝平	江尻 孝平
群 馬	長島 勇	長島 勇	広 島	豊田 紳敬	豊田 紳敬
埼 玉	平田 善康	平田 善康	山 口	藤野 俊夫	藤野 俊夫
千 葉	水谷 敏郎	水谷 敏郎	徳 島	春名 充	春名 充
東 京	山田 正興	山田 正興	香 川	藤田 卓男	藤田 卓男
神奈川	中野眞佐男	中野眞佐男	愛 媛	池谷 東彦	池谷 東彦
山 梨	森澤 孝行	森澤 孝行	高 知	坂本 康紀	坂本 康紀
長 野	木村 薫	木村 薫	福 岡	平川 俊夫	平川 俊夫
静 岡	古川 雄一	古川 雄一	佐 賀	田中 博志	田中 博志
新 潟	吉谷 徳夫	吉谷 徳夫	長 崎	村上 俊雄	村上 俊雄
富 山	桑間 直志	桑間 直志	熊 本	伊藤 昌春	伊藤 昌春
石 川	荒木 克己	荒木 克己	大 分	松岡幸一郎	松岡幸一郎
福 井	山本 宝	山本 宝	宮 崎	肥後 貴史	肥後 貴史
岐 阜	松波 和寿	松波 和寿	鹿児島	有馬 直見	有馬 直見
愛 知	加納 武夫	加納 武夫	沖 縄	佐久本哲郎	佐久本哲郎
三 重	紀平 正道	紀平 正道			

(11) 代議員 (第90回総会 (定時)) ◎議長、○副議長

北海道	奥山和彦	神奈川	田中信孝	兵庫	山崎峰夫
北海道	萬豊	山梨	森澤孝行※	奈良	赤崎正佳
青森	平岡友良	長野	金井誠※	和歌山	矢本希夫
岩手	松田壯正	静岡	古川雄一	鳥取	中曾庸博
宮城	小澤信義※	新潟	吉谷徳夫	島根	田頭稔弘※
秋田	福田淳	富山	中川俊信	岡山	江尻孝平
山形	阿部祐也	石川	荒木克己	広島	豊田紳敬
福島	新妻和雄	福井	竹内譲	山口	藤野俊夫
茨城	青木雅弘	岐阜	宮崎千恵	徳島	春名充
栃木	春日義生	愛知	生田克夫	香川	米澤優
群馬	永山雅之	愛知	澤田富夫	愛媛	池谷東彦
埼玉	小室順義	愛知	平出薫	高知	乾泰延
埼玉	高橋徹	三重	高倉哲司	福岡	濱口欣也
千葉	岡進	滋賀	野村哲哉	福岡	深川良二
千葉	水谷敏郎	京都	柏木智博	佐賀	田中博志
東京	川嶋一成	京都	南部吉彦	長崎	村上俊雄
東京	高木耕一郎	大阪	荻田和秀	熊本	伊藤昌春
東京	堀量博	大阪	笠原幹司	大分	岩永成晃
東京	○松本和紀	大阪	齋田幸次	宮崎	肥後貴史
東京	山田正興	大阪	堀越順彦	鹿児島	有馬直見
東京	吉野一枝	大阪	御前治	沖縄	神谷仁
神奈川	明石敏男	大阪	光田信明	出席	65名
神奈川	鈴木真	兵庫	◎片嶋純雄	書面(※)	4名
神奈川	田島敏久	兵庫	大門美智子	計	69名

代議員（第91回総会（臨時）） 開催中止

北海道	奥山和彦	神奈川	田中信孝	兵庫	山崎峰夫
北海道	萬豊	山梨	森澤孝行	奈良	赤崎正佳
青森	平岡友良	長野	金井誠	和歌山	矢本希夫
岩手	松田壯正	静岡	古川雄一	鳥取	中曾庸博
宮城	小澤信義	新潟	吉谷徳夫	島根	田頭稔弘
秋田	福田淳	富山	中川俊信	岡山	江尻孝平
山形	阿部祐也	石川	荒木克己	広島	豊田紳敬
福島	新妻和雄	福井	竹内譲	山口	藤野俊夫
茨城	青木雅弘	岐阜	宮崎千恵	徳島	春名充
栃木	春日義生	愛知	生田克夫	香川	米澤優
群馬	永山雅之	愛知	澤田富夫	愛媛	池谷東彦
埼玉	小室順義	愛知	平出薫	高知	乾泰延
埼玉	高橋徹	三重	高倉哲司	福岡	濱口欣也
千葉	岡進	滋賀	野村哲哉	福岡	深川良二
千葉	水谷敏郎	京都	柏木智博	佐賀	田中博志
東京	川嶋一成	京都	南部吉彦	長崎	村上俊雄
東京	高木耕一郎	大阪	荻田和秀	熊本	伊藤昌春
東京	堀量博	大阪	笠原幹司	大分	岩永成晃
東京	松本和紀	大阪	齋田幸次	宮崎	肥後貴史
東京	山田正興	大阪	堀越順彦	鹿児島	有馬直見
東京	吉野一枝	大阪	御前治	沖縄	神谷仁
神奈川	明石敏男	大阪	光田信明	計	69名
神奈川	鈴木真	兵庫	片嶋純雄		
神奈川	田島敏久	兵庫	大門美智子		

### 3. 会議等

(1) 総会 (定時)	1回
(2) 総会 (臨時)	中止
(3) 理事会 (含・臨時)	4回
(4) 常務理事会 (含・通信会議)	12回
(5) 幹事会 (含・通信会議)	12回
(6) 運営打合会	5回
(7) 会長ヒアリング	令和2年1月21日
(8) 令和元年度地域代表全国会議	令和元年9月22日
(9) 第44回全国産婦人科教授との懇談会	平成31年4月14日
(10) 第28回全国医療安全担当者連絡会	令和元年10月6日
(11) 第47回全国献金担当者連絡会	令和元年7月7日
(12) 第3回全国医業推進担当者伝達講習会	中止
(13) 日本産婦人科医会創立70周年記念式典	中止
(14) 第46回日本産婦人科医会学術集会	中止
(15) メディカルスタッフ生涯研修会	中止
(16) 第42回日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会	令和元年7月28日
(17) 第5回母と子のメンタルヘルスフォーラム	令和元年6月1・2日
(18) 第31回乳がん検診用マンモグラフィ読影に関する講習会	令和2年1月18・19日
(19) 第15回日本産婦人科医会超音波セミナー	延期
(20) オンライン診療における緊急避妊薬に関する講習会	令和元年12月14日
(21) 記者懇談会	10回
(22) 医会報編集	11回
(23) IT関係委員会	11回
(24) 法制委員会	1回
(25) 倫理委員会 (含・迅速審査)	4回
(26) 先天異常委員会	2回
(27) 研修委員会	4回
(28) 医療安全委員会	2回
(29) 勤務医委員会	3回
(30) 医業推進委員会	2回
(31) 医療保険委員会 (含・通信会議)	4回
(32) 女性保健委員会 (含・通信会議)	4回
(33) がん対策委員会 (含・通信会議)	3回
(34) 母子保健委員会	1回
(35) 産婦人科診療ガイドライン産科編評価委員会	1回
(36) 産婦人科診療ガイドライン産科編ンセンサスミーティング	3回
(37) 産婦人科診療ガイドライン婦人科外来編コンセンサスミーティング	1回
(38) 母体救命法普及運営委員会	2回
(39) 遠隔医療プロジェクト委員会	2回

4. 要望書等（詳細は各担当部会参照）

(1) 令和2年度性犯罪・性暴力被害者支援交付金事業に関する要望（対内閣府男女共同参画会議議長等）【女性保健部会】 令和元年10月23日

(2) HPVワクチンの接種勧奨再開を求める要望（対厚生労働大臣）【がん部会】 令和2年1月23日

5. 令和元年度作成刊行物等

部署	冊子名
庶務部会	事業計画 事業報告
広報部会 (医会報編集)	日産婦医会報：平成31年4月号～令和2年3月号（定期発刊物）
研修部会	研修ノート No.103「産科異常出血の対応」 研修ノート No.104「外国人患者への対応と留意点」 第71回日本産科婦人科学会学術講演会講演要旨
医療安全部会	母体安全への提言2018：第9報
勤務医部会	勤務医ニュースNo.77・78
女性保健部会	第42回日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会集録集
母子保健部会	「Brain hero」ポスター・リーフレット

各部のアンケート調査

【令和元年度】

部署	調査名（調査対象者）
庶務部会	施設情報調査（全産婦人科施設）
先天異常部会	平成30年度外表奇形等統計調査（協力施設） 胎児異常診断に関する調査（協力施設）
勤務医部会	産婦人科勤務医の待遇改善と女性医師の就労環境に関するアンケート調査（有床診療所を除く分娩取扱施設）
女性保健部会	性教育に関する講師派遣窓口に関するアンケート
母子保健部会	妊産婦メンタルヘルスケア推進に関するアンケート調査（分娩取扱施設） 新生児聴覚スクリーニング検査に関するアンケート調査（分娩取扱施設） 妊娠中の子宮頸部細胞診異常とHPV感染の関連に関する実態調査（分娩取扱施設）

6. ブロック協議会、ブロック医療保険協議会、各都道府県産婦人科医会研修会等

(1) ブロック協議会

1) 北海道	令和元年9月1日	札幌市
2) 東北	令和2年2月24日	宮城県
3) 関東	令和元年9月29日	長野県
4) 北陸	令和元年6月1日	富山県
5) 東海	令和元年8月18日	岐阜県
6) 近畿	令和2年1月19日	滋賀県
7) 中国	令和元年9月1日	広島県
8) 四国	令和元年8月24・25日	高知県
9) 九州	令和元年10月26・27日	宮崎県

(2) ブロック医療保険協議会

1) 北海道	令和元年9月1日	札幌市
2) 東北	令和元年10月27日	秋田県
3) 関東	令和元年9月29日	長野県
4) 北陸	令和元年6月1日	富山県
5) 東海	令和元年8月18日	岐阜県
6) 近畿	令和元年11月16日	滋賀県
7) 中国	令和元年9月1日	広島県
8) 四国	令和元年8月24・25日	高知県
9) 九州	令和元年10月26・27日	宮崎県

(3) 各都道府県産婦人科医会研修会

北海道	60回	静岡県	42回	岡山県	15回
青森県	4回	新潟県	32回	広島県	36回
岩手県	16回	富山県	16回	山口県	21回
宮城県	24回	石川県	25回	徳島県	21回
秋田県	24回	福井県	14回	香川県	10回
山形県	22回	岐阜県	23回	愛媛県	24回
福島県	23回	愛知県	32回	高知県	14回
茨城県	29回	三重県	35回	福岡県	64回
栃木県	34回	滋賀県	15回	佐賀県	35回
群馬県	18回	京都府	17回	長崎県	33回
埼玉県	62回	大阪府	82回	熊本県	5回
千葉県	43回	兵庫県	42回	大分県	15回
東京都	13回	奈良県	19回	宮崎県	30回
神奈川県	75回	和歌山県	19回	鹿児島県	37回
山梨県	10回	鳥取県	18回	沖縄県	19回
長野県	34回	島根県	17回		

## 7. 会員の叙勲等

### 令和元年春

森 下	一 氏 (高知県)	瑞宝中綬章
温泉川 梅 代	氏 (広島県)	旭日双光章

### 令和元年秋

今 村 定 臣	氏 (長崎県)	旭日小綬章
二 宮 保 典	氏 (岐阜県)	旭日双光章
幡 研 一	氏 (福島県)	旭日双光章
藤 山 忠 信	氏 (山形県)	旭日双光章
長 岡 敏 雄	氏 (千葉県)	瑞宝双光章

## Ⅱ. 各種会議

総会（定時）、理事会、常務理事会、地域代表全国会議およびブロック会議を次のとおり開催した。なお、第91回総会（臨時）は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催を中止した。

### 1. 総会（定時・臨時）

第90回総会（定時） 令和元年6月9日（日） 品川プリンスホテル 出席者134名

議事

- 第1号議案 平成30年度決算（案）に関する件
- 第2号議案 特別会員の推薦（案）に関する件
- 第3号議案 令和元年度会費免除申請者（案）に関する件

第91回総会（臨時） 令和2年3月15日（日） 京王プラザホテル

開催中止

### 2. 理事会

第1回 令和元年5月25日（土） 本会会議室 出席者49名

協議事項

- 1. 平成30年度事業報告（案）に関する件
- 2. 平成30年度決算（案）に関する件
- 3. 第90回総会（定時）（6月9日）の運営に関する件
- 4. 特別会員の推薦（案）に関する件
- 5. 令和元年度会費免除申請者（案）に関する件
- 6. 新規会員の入会承認に関する件
- 7. 各都道府県地域代表の承認に関する件
- 8. その他

第2回 令和元年9月22日（日） 京王プラザホテル 出席者57名

協議事項

- 1. 新規会員の入会承認に関する件
- 2. 各都道府県地域代表の承認に関する件
- 3. 令和2年度事業計画・予算編成のスケジュールに関する件
- 4. 第48回日本産婦人科医会学術集会（令和3年10月23・24日 広島）の開催立候補に関する件
- 5. 医療保険委員会委員交代に関する件
- 6. 遠隔医療プロジェクト委員会に関わる経費に関する件
- 7. 母体保護法指定医師研修シール代替確認方法導入に関する件
- 8. その他

通信会議 令和元年11月12日（火）

協議事項

1. 台風等の被害に対するお見舞い金に関する件

第3回 令和2年2月15日（土） 本会会議室 出席者58名

協議事項

1. 令和2年度事業計画（案）に関する件
2. 令和2年度収支予算（案）に関する件
3. 自己採取HPV検査の検証に関する研究に関する件
4. 部会の名称変更に関する件
5. 各種規程等の改正に関する件
6. 第91回総会（臨時）（3月15日）の運営に関する件
7. 名誉会員の推薦（案）に関する件
8. 特別会員の推薦（案）に関する件
9. 令和2年度会費減免申請者（案）に関する件
10. 新規会員の入会承認に関する件
11. 令和3年度会員研修テーマ（案）に関する件
12. 緊急避妊薬のオンライン診療に関する薬剤師向け研修会の旅費に関する件
13. その他

### 3. 常務理事会

第1回 平成31年4月16日（火） 本会会議室 出席者39名

協議事項

1. 庶務部会関係（庶務）
  - (1) 第1回理事会（5月25日）タイムスケジュールに関する件  
標記に関し協議。追加等あれば提出する。了承。
  - (2) 第90回総会（定時）（6月9日）次第案に関する件  
標記に関し協議。追加等あれば提出する。了承。
  - (3) 特別会員の推薦に関する件  
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
  - (4) 平成30年度事業報告（案）に関する件  
標記に関し協議。追加等あれば提出する。了承。
  - (5) 2019年度公開講座（学会との共催）に対する助成金の交付に関する件  
標記に関し協議。交付する。了承。
  - (6) 厚生労働省子ども家庭局長からの2019年度児童福祉週間（5月5～11日）の実施について（協力依頼）に関する件  
標記に関し協議。協力する。了承。
  - (7) 一般社団法人日本母乳の会（吉永宗義代表理事）他からの第28回母乳育児シンポジウム（8月3日 北海道）への後援名義使用許可依頼に関する件  
標記に関し協議。北海道産婦人科医会へ依頼するよう伝える。了承。
  - (8) 一般社団法人日本婦人科がん検診学会（佐々木寛理事長）からの子宮頸部細胞診採取の手引きへの後援名義使用許可依頼に関する件  
標記に関し協議。許可する。了承。

- (9) 環境省大臣官房環境保健部長からの平成31年度エコチル調査企画評価委員会への委員推薦依頼に関する件  
標記に関し協議。田中名誉会員を推薦する。了承。
- (10) 公益社団法人日本助産師会からの同助産師会刊行物への監修依頼に関する件  
標記に関し協議。監修する。了承。
- (11) 石川県産婦人科医会（荒木克己会長）からのHPVワクチン啓発のための県民公開講座（5月26日 金沢市）への開会挨拶依頼に関する件  
標記に関し協議。石渡副会長を派遣する。了承。
- (12) 公益社団法人日本看護協会（福井トシ子会長）からの2019年度同協会通常総会並びに全国職能別交流集会（6月6・7日 北海道）への出席依頼に関する件  
標記に関し協議。祝電対応とする。了承。
- (13) 香川県産婦人科医会（藤田卓男会長）からの同医会・香川産科婦人科学会合同研修会（6月1日 高松市）への講師派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。鈴木光明常務理事を派遣する。了承。
- (14) 山形県医師会（中目千之会長）からの同医師会母体保護法指定医師研修会（8月3日 山形市）への講師派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。松田副幹事長を派遣する。了承。
- (15) 日本産婦人科医会東海ブロック協議会・岐阜県産婦人科医会（松波和寿会長）からの平成31年度同ブロック協議会・医療保険協議会（8月18日 岐阜市）への役員派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。協議会に平原副会長、倉澤幹事を派遣する。常務理事は調整する。医療保険協議会に谷川原常務理事、水本幹事を派遣する。了承。
- (16) 高知県産婦人科医会（濱脇弘暉会長）からの平成31年度日本産婦人科医会四国ブロック協議会・同ブロック医療保険協議会（8月24・25日 高知市）への役員派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。協議会に前田副会長、石谷幹事長を派遣する。常務理事は調整する。医療保険協議会に谷川原常務理事、小島幹事を派遣する。了承。
- (17) 広島県産婦人科医会（河村愼吾会長）からの2019年度日本産婦人科医会中国ブロック協議会・同ブロック医療保険協議会（9月1日 広島市）への役員派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。協議会に安達常務理事、長谷川副幹事長を派遣する。医療保険協議会に石渡副会長、宮崎常務理事、星幹事を派遣する。了承。
- (18) 秋田県産婦人科医会（高橋道会長他）からの平成31年度日本産婦人科医会東北ブロック医療保険協議会（10月27日 秋田市）への役員派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。谷川原常務理事、松田副幹事長を派遣する。了承。
- (19) 無痛分娩関係学会・団体連絡協議会（海野信也総会議長）からの同協議会第5回総会報告ならびに同協議会要綱及び運営細則の改定、2019年度予算案に関する件  
標記に関し協議。要綱及び運営細則の改定を承認する。運営経費の負担分についても承認する。了承。
2. 日産婦医会報5月号の編集方針に関する件（広報・医会報編集）  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。

3. 記者懇談会のテーマに関する件（広報・IT関係）

標記に関し協議。原案どおりとする。了承。

4. その他

(1) 妊産婦死亡評価報告書についてのアンケート調査に関する件（安全）

標記に関し協議。調査を実施する。了承。

(2) 産婦人科勤務医の待遇改善と女性医師の就労環境に関するアンケートに関する件（勤務医）

標記に関し協議。意見等あれば1週間以内に提出する。了承。

(3) 妊娠中の子宮頸部細胞診異常とHPV感染の関連に関する実態調査に関する件（母子）

標記に関し協議。調査を実施する。了承。

(4) メンタルヘルスケア事業運営費の使い方に関する件（母子）

標記に関し協議。今後調整する。了承。

(5) 母と子のメンタルヘルスの日への協賛に関する件（母子）

標記に関し協議。協賛する。了承。

通信対応済協議事項

(1) 平成30・31年度公開講座（学会との共催）に対する助成金の交付に関する件（庶務）

標記に関し協議。交付する。了承。

第2回 令和元年5月14日（火） 本会会議室 出席者37名

協議事項

1. 庶務部会関係（庶務）

(1) 第1回理事会（5月25日）運営に関する件

標記に関し協議。追加等あれば提出する。了承。

(2) 第90回総会（定時）（6月9日）タイムスケジュールに関する件

標記に関し協議。追加等あれば提出する。了承。

(3) 平成30年度事業報告（案）に関する件

標記に関し協議。理事会に諮る。了承。

(4) 令和元年度会費減免申請者に関する件

標記に関し協議。理事会に諮る。了承。

(5) 新入会員の入会承認に関する件

標記に関し協議。理事会に諮る。了承。

(6) 各都道府県地域代表の承認に関する件

標記に関し協議。理事会に諮る。了承。

(7) 日本産婦人科医会創立70周年記念式典・懇親会に関する件（式典&懇親会チーム）

標記に関し協議。献金合奏団へ演奏を依頼する。他については、検討する。了承。

(8) 第45回全国産婦人科教授との懇談会開催会場等の確保方依頼に関する件

標記に関し協議。依頼する。了承。

(9) 株式会社現代ぷろだくしょん（上野有プロデューサー）からの映画「一粒の麦・荻野吟子の生涯」製作への後援名義使用許可依頼及び寄付依頼に関する件

標記に関し協議。前向きに検討する。了承。

- (10) 全国性教育研究団体連絡協議会（三浦康男理事長）からの第49回全国性教育研究大会（8月8・9日 千葉県）への後援名義使用許可依頼に関する件  
標記に関し協議。許可する。了承。
- (11) 特定非営利活動法人遊びとしつけ推進会（柳澤正義理事長）からの第13回おもちゃ・子育てアドバイザー養成講座（10月26・27日 東京都）への後援名義使用許可依頼に関する件  
標記に関し協議。許可する。了承。
- (12) 公益社団法人日本産科婦人科学会（藤井知行理事長）からの同学会各委員会への委員推薦依頼に関する件  
標記に関し協議。調整する。了承。
- (13) 公益財団法人日本医療機能評価機構（河北博文理事長）からの同機構理事への推薦依頼に関する件  
標記に関し協議。木下会長を推薦する。了承。
- (14) 一般財団法人あかしこども財団西日本こども研修センターあかし（小林美智子センター長）他からの同センター運営委員会委員への推薦依頼に関する件  
標記に関し協議。光田母子保健副委員長を推薦する。了承。
- (15) 第60回日本母性衛生学会総会・学術集会（関博之会長）からの同学術集会シンポジウム（10月11日 千葉県）への講師派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。木下会長が出席する。了承。
- (16) 一般社団法人島根県医師会（森本紀彦会長）からの令和元年度同医師会母体保護法指定医師研修会（10月27日 出雲市）への講師派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。関沢常務理事を派遣する。了承。
- 2. 平成30年度決算（案）に関する件（経理）  
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
- 3. 日産婦医会報6月号の編集方針に関する件（広報・医会報編集）  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
- 4. 記者懇談会のテーマに関する件（広報・IT関係）  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
- 5. その他
  - (1) ホームページのバナー広告に関する件（広報・IT関係）  
標記に関し協議。広告を掲載する。了承。
  - (2) 産婦人科専門医更新用資材の作成（都道府県の専門医制度委員会の担当事務の閲覧のため）に関する件（研修）  
標記に関し協議。小林常務理事がビデオを作成する。了承。

#### 通信対応済協議事項

- (1) 2019年度公開講座（学会との共催）に対する助成金の交付に関する件（庶務）  
標記に関し協議。交付する。了承。
- (2) 日本小児医療保健協議会（四者協）（田口智章小児周産期災害医療対策委員会委員）からの災害時小児周産期リエゾン連絡協議会幹事への推薦依頼に関する件（庶務）  
標記に関し協議。中井常務理事を推薦する。了承。

第3回 令和元年6月4日(火) 本会会議室 出席者38名

協議事項

1. 庶務部会関係(庶務)

(1) 第90回総会(定時)(6月9日)運営に関する件

標記に関し協議。追加等あれば提出する。了承。

1) 決算委員会予備審議会次第案及び出席者に関する件(経理)

標記に関し協議。原案どおりとする。了承。

2) 決算委員会次第案に関する件(経理)

標記に関し協議。原案どおりとする。了承。

(2) 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンからの日本子ども虐待防止学会第25回学術集会ひょうご大会プログラム冊子意見広告への賛同団体掲載依頼に関する件

標記に関し協議。賛同する。了承。

(3) 一般社団法人日本産科婦人科内視鏡学会(竹下俊行理事長)からの「産婦人科内視鏡手術ガイドライン2019年版」への後援名義使用許可依頼に関する件

標記に関し協議。許可する。了承。

(4) 公益社団法人日本栄養士会(中村丁次代表理事会長)からの赤ちゃん防災プロジェクトへの後援名義使用許可依頼に関する件

標記に関し協議。許可する。了承。

(5) 特定非営利活動法人アンハードノートピアノパラ委員会(迫田時雄会長)からの第4回国際障害者ピアノコンペティションin NEW YORK 受賞者コンサート(9月10日 東京都)への後援名義使用許可依頼に関する件

標記に関し協議。許可する。了承。

(6) 公益財団法人母子衛生研究会(江井俊秀理事長)からの母子保健関係者対象母子保健啓発事業母子保健セミナー(11月22日 神奈川県)への後援名義使用許可依頼に関する件

標記に関し協議。許可する。了承。

(7) 株式会社診断と治療社(藤実彰一代表取締役社長他)からの雑誌「産科と婦人科」への連載執筆依頼に関する件

標記に関し協議。中井常務理事が執筆する。了承。

(8) 石川県医師会(安田健二会長)からの同医師会母体保護法指定医師研修会(9月1日 金沢市)への講師派遣依頼に関する件

標記に関し協議。生命倫理に関するもの、母体保護法の趣旨と適正な運用に関するものに高瀬常務理事、医療安全・救急処置に関するものに早田幹事を派遣する。了承。

(9) 北海道産婦人科医会(晴山仁志会長)からの日本産婦人科医会北海道ブロック協議会・医療保険協議会(9月1日 札幌市)への役員派遣依頼に関する件

標記に関し協議。協議会に前田副会長、鈴木光明常務理事、五十嵐幹事、医療保険協議会に谷川原常務理事、宮国幹事を派遣する。了承。

(10) 関東ブロック産婦人科医会(落合和彦会長)他からの2019年度関東ブロック協議会・社保協議会(9月29日 長野県)への役員派遣依頼に関する件

標記に関し協議。協議会に平原副会長、平田常務理事、星合幹事、医療保険協議会に宮崎常務理事、松田副幹事長を派遣する。了承。

2. 日産婦医会報7月号の編集方針に関する件（広報・医会報編集）  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
3. 記者懇談会のテーマに関する件（広報・IT関係）  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
4. その他
  - (1) 「産科危機的出血におけるIVR（Interventional Radiology）ガイドラインの取り扱い」に関する件（研修）  
標記に関し協議。検討する。了承。
  - (2) 令和元年度メディカルスタッフ生涯研修会「分娩監視装置モニターの読み方と対応」講習会プログラム（案）に関する件（推進）  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。

#### 通信対応済協議事項

- (1) 2019年度公開講座（学会との共催）に対する助成金の交付に関する件（庶務）  
標記に関し協議。交付する。了承。

#### 第4回 令和元年6月25日（火） 本会会議室 出席者37名

##### 協議事項

1. 庶務部会関係（庶務）
  - (1) 第2回理事会（9月22日）次第案に関する件  
標記に関し協議。追加等あれば提出する。了承。
  - (2) 地域代表全国会議（9月22日）次第案に関する件  
標記に関し協議。追加等あれば提出する。了承。
  - (3) 公益社団法人日本産科婦人科学会（藤井知行理事長）からの同学会広報委員会「女性の健康週間」に関する小委員会（仮称）への委員推薦依頼に関する件  
標記に関し協議。相良常務理事、五十嵐幹事を推薦する。了承。
  - (4) 公益社団法人母子保健推進会議（原澤勇理事長）よりの同会議理事への推薦依頼に関する件  
標記に関し協議。田中名誉会員を推薦する。了承。
  - (5) 日本フォレンジック看護学会第6回学術集会（三隅順子大会長）からの同学術集会（8月31日・9月1日 東京都）への後援名義使用許可依頼に関する件  
標記に関し協議。許可する。了承。
  - (6) 日本赤十字社（高橋孝喜血液事業本部長）からの令和元年度臍帯血採取技術研修会（9月28日 東京都）への後援名義使用許可依頼に関する件  
標記に関し協議。許可する。了承。
  - (7) 国立研究開発法人国立成育医療研究センター妊娠と薬情報センター（村島温子センター長）からの同センターフォーラム（10月20日 東京都）への後援名義使用許可依頼に関する件  
標記に関し協議。許可する。了承。
  - (8) 公益財団法人母子衛生研究会（江井俊秀理事長）からの母子保健指導者研修会（9月9日 秋田県/10月11日 千葉県/10月15日 奈良県/11月12日 兵庫県/11月26日 高知県/12月9日 北海道/12月11日 大分県/1月予定 栃木県/2月予定 三重県）への後援名義使用許可依頼に関する件  
標記に関し協議。許可する。了承。

(9) 公益財団法人日本医療機能評価機構（鈴木英明理事）からの産科医療補償制度に関する資料「産科医療補償制度ニュース第6号」「原因分析報告書要約版の活用」の医会報への同梱依頼に関する件

標記に関し協議。同梱する。了承。

(10) 日本産婦人科医会創立70周年記念式典招待者案内、感謝状贈呈推薦依頼、第46回日本産婦人科医会学術集会懇親会のおぎゃー献金推進活動補助金申請に関する件（式典&懇親会チーム）

標記に関し協議。招待者について追加等あれば提出する。感謝状贈呈推薦依頼、おぎゃー献金推進活動補助金申請について原案どおりとする。了承。

2. 記者懇談会のテーマに関する件（広報・IT関係）

標記に関し協議。原案どおりとする。了承。

通信対応済協議事項

(1) 2019年度公開講座（学会との共催）に対する助成金の交付に関する件（庶務）

標記に関し協議。交付する。了承。

第5回 令和元年7月9日（火） 四谷嘉賓（カヒン） 出席者37名

協議事項

1. 庶務部会関係（庶務）

(1) 第2回理事会（9月22日）タイムスケジュールに関する件

標記に関し協議。追加等あれば提出する。了承。

(2) 地域代表全国会議（9月22日）タイムスケジュールに関する件

標記に関し協議。主要報告事項を提出する。了承。

(3) 各都道府県地域代表の承認に関する件

標記に関し協議。理事会に諮る。了承。

(4) 天皇陛下御即位奉祝委員会（中西宏明名誉会長）からの天皇陛下御即位奉祝事業に関する協賛依頼に関する件

標記に関し協議。協賛する。了承。

(5) 厚生労働省（医政局地域医療計画課長）からの「医療計画の見直し等に関する検討会」参考人への推薦依頼に関する件

標記に関し協議。中井常務理事を推薦する。了承。

(6) 福岡県産婦人科医会（平川俊夫会長）他からの子宮頸がんワクチンを考える

ー公開フォーラム福岡ー（11月3日 福岡市）への共催依頼に関する件

標記に関し協議。共催する。了承。

(7) 九州ブロック産婦人科医会（平川俊夫会長）からの令和元年度第1回同医会各県会長会、同医会各県事務局会（8月3日 福岡市）への講師派遣依頼に関する件

標記に関し協議。鎌田常務理事を派遣する。了承。

(8) 近畿産科婦人科学会・滋賀県産科婦人科医会（野村哲哉会長）からの令和元年度日本産婦人科医会近畿ブロック医療保険協議会（11月16日 滋賀県）への役員派遣依頼に関する件

標記に関し協議。宮崎常務理事、前村幹事を派遣する。了承。

(9) 特定非営利活動法人ひまわりの会（野田聖子会長）からのポスター「うんち検診」の医会報への同梱依頼に関する件

標記に関し協議。同梱する。了承。

- (10) 健やか親子21推進協議会テーマグループ4幹事団体からの「HPVワクチンに関するリーフレット」への団体名掲載依頼に関する件  
標記に関し協議。掲載する。了承。
- (11) 日本周産期・新生児医学会（金山尚裕理事長他）からの「母子同室実施の留意点」の共同提言依頼に関する件  
標記に関し協議。検討する。了承。
- 2. 日産婦医会報8・9月合併号の編集方針に関する件（広報・医会報編集）  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
- 3. 記者懇談会のテーマに関する件（広報・IT関係）  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
- 4. その他
  - (1) 母体保護法指定医師研修会参加証の他地区での認定に関する協力依頼に関する件（法制・倫理）  
標記に関し協議。発出する。了承。
  - (2) 第72回日本産科婦人科学会学術講演会「生涯研修プログラム」（案）に関する件（研修）  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
  - (3) 医療保険委員会委員交代に関する件（保険）  
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
  - (4) 子宮頸がん予防HPVワクチン接種の積極的勧奨再開の要望に関する件（がん）  
標記に関し協議。要望書を提出する。了承。
  - (5) 女性アスリート診療のための講習会の医会報への同梱に関する件（女性）  
標記に関し協議。同梱する。了承。
  - (6) プレコンセプションケアに関する件（先天、女性、母子）  
標記に関し協議。意見があれば提出する。了承。
  - (7) 成育基本法関連の会長答申（案）に関する件（幹事会）  
標記に関し協議。内容を検討する。了承。

#### 通信対応済協議事項

- (1) 令和元年度公開講座（学会との共催）に対する助成金の交付に関する件（庶務）  
標記に関し協議。交付する。了承。

#### 第6回 令和元年9月17日（火） 本会会議室 出席者37名

##### 協議事項

- 1. 庶務部会関係（庶務）
  - (1) 第2回理事会（9月22日）運営に関する件  
標記に関し協議。追加等あれば提出する。了承。
  - (2) 地域代表全国会議（9月22日）運営に関する件  
標記に関し協議。追加等あれば提出する。了承。
  - (3) 新入会員の入会承認に関する件  
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
  - (4) 職員就業規則等の改正に関する件  
標記に関し協議。意見等あれば提出する。了承。

- (5) 令和2年度事業計画・予算編成のスケジュールに関する件  
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
- (6) 令和2年度諸会議開催日程に関する件  
標記に関し協議。意見等あれば提出する。了承。
- (7) 中国ブロック会・広島県産婦人科医会（豊田紳敬会長）からの第48回日本産婦人科医会学術集会（令和3年10月23・24日 広島）の開催立候補に関する件  
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
- (8) 令和元年度厚生労働科学研究費補助金（女性の健康の包括的支援政策研究事業）「保健・医療・教育機関・産業等における女性の健康支援のための研究」研究班（荒田尚子研究代表）からの「プレコンセプションケアを考える会」（10月7日 東京都）への後援名義使用許可依頼に関する件  
標記に関し協議。許可する。了承。
- (9) 一般社団法人日本女性医学学会（若槻明彦理事長）からのメノポーズ週間（10月18～24日）への後援名義使用許可依頼に関する件  
標記に関し協議。許可する。了承。
- (10) 公益社団法人母子保健推進会議（原澤勇理事長）からの母子保健強調月間（11月1日～11月30日）への後援名義使用許可依頼に関する件  
標記に関し協議。許可する。了承。
- (11) 公益財団法人母子衛生研究会（江井俊秀理事長）からの母子保健関係者対象母子保健啓発事業母子保健シンポジウム（令和2年2月3日 東京都）への後援名義使用許可依頼に関する件  
標記に関し協議。許可する。了承。
- (12) 公益財団法人ジョイセフ（山口澄江理事長）からの国際女性デーマラソンイベントWHITE RIBBON RUN 2020（令和2年2月29日・3月1・7・8日 東京都等）への後援名義使用許可依頼に関する件  
標記に関し協議。許可する。了承。
- (13) 一般社団法人日本臨床心理士会（津川律子会長）からの2019年度定例研修会I（10月6日 東京都）への講師派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。相良常務理事を派遣する。了承。
- (14) 福島県医師会（佐藤武寿会長）からの周産期メンタルヘルスケア研修会（10月14日 郡山市）への講師派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。相良常務理事を派遣する。了承。
- (15) 一般社団法人岩手県医師会（小原紀彰会長）他からの同医師会母体保護法指定医師並びに岩手県産婦人科医会研修会（11月30日 盛岡市）への講師派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。高瀬常務理事を派遣する。了承。
- (16) 一般社団法人東京産婦人科医会（山田正興会長）からの同医会第2回母体保護法指定医師研修会（12月21日 東京都）への講師派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。平原副会長を派遣する。了承。
- (17) 日本フォレンジック看護学会（加納尚美理事長）からの日本版性暴力被害者支援看護師認定制度準備委員会への委員推薦依頼に関する件  
標記に関し協議。石谷幹事長を推薦する。了承。

(18) 特定非営利活動法人ひまわりの会からのひまわり褒章2019候補者の推薦依頼に関する件

標記に関し協議。福島県 古川宣二先生、大分県 松岡幸一郎先生を推薦する。了承。

(19) 子宮頸がん制圧をめざす専門会議（野田起一郎議長）他からのE-oncologia（日本語版）「子宮頸がん予防コース」子宮頸がん予防に関する国際オンラインプログラム：FIGO（国際産婦人科連合）認定子宮頸がん予防に関するイーラーニング」の周知協力依頼に関する件

標記に関し協議。協力する。了承。

2. 日産婦医会報10月号の編集方針に関する件（広報・医会報編集）

標記に関し協議。原案どおりとする。了承。

3. 記者懇談会のテーマに関する件（広報・IT関係）

標記に関し協議。11月と12月のテーマを入れ替える。了承。

4. その他

(1) 母体保護法指定医師研修シールの代替研修確認方法導入に関する周知協力依頼に関する件（法制）

標記に関し協議。表現を変更し理事会で協議する。了承。

(2) 厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課虐待防止対策推進室からの令和元年度児童虐待防止啓発のための広報啓発用ポスター等必要枚数調査についておよび医会報への同梱依頼に関する件（母子）

標記に関し協議。同梱する。了承。

(3) 新生児聴覚スクリーニング検査への公費補助実現に向けての再度のお願いに関する件（母子）

標記に関し協議。発出する。了承。

(4) ハーバード大学子ども発達センター（HCDC）日本語版動画広報啓発用ポスター作成に関する件（母子）

標記に関し協議。デザイン等検討する。了承。

(5) 遠隔医療プロジェクト委員会に関わる経費に関する件（遠隔医療プロジェクト）

標記に関し協議。理事会に諮る。了承。

通信対応済協議事項

(1) 令和元年度公開講座（学会との共催）に対する助成金の交付に関する件（庶務）

標記に関し協議。交付する。了承。

(2) 厚生労働省子ども家庭局子育て支援課長からの令和2年度「児童福祉週間」標語募集事業への協力依頼に関する件（庶務）

標記に関し協議。協力する。了承。

(3) 高崎美スタイルマラソン実行委員会（真木彩恵子実行委員長）からの第8回子宮頸がん予防啓発同マラソン2019（10月14日 群馬県）への後援名義使用許可依頼に関する件（庶務）

標記に関し協議。許可する。了承。

(4) 厚生労働省子ども家庭局長からの令和元年度健やか親子21全国大会（母子保健家族計画全国大会）（11月7～8日 千葉県）への後援名義使用許可依頼に関する件（庶務）

標記に関し協議。許可する。了承。

- (5) 内閣府男女共同参画局（池永肇恵局長）からの男女共同参画推進連携会議への議員推薦依頼に関する件（庶務）  
標記に関し協議。百村幹事を推薦する。了承。
- (6) 厚生労働省雇用環境・均等局雇用機会均等課長からの不妊治療のための休暇制度等環境整備事業検討委員会への委員推薦依頼に関する件（庶務）  
標記に関し協議。五十嵐幹事を推薦する。了承。
- (7) 公益社団法人日本助産師会（島田真理恵会長）からの授乳支援委員会への委員推薦依頼に関する件（庶務）  
標記に関し協議。星幹事を推薦する。了承。
- (8) 九州ブロック産婦人科医会（平川俊夫会長）からの令和元年度日本産婦人科医会同ブロック協議会・医療保険協議会（10月26・27日 宮崎県）への役員派遣依頼に関する件（庶務）  
標記に関し協議。協議会に平原副会長、鈴木光明常務理事、百村幹事、医療保険協議会に宮崎常務理事、林幹事を派遣する。了承。
- (9) あすか製薬株式会社・富士製薬工業株式会社・持田製薬株式会社からのヒト絨毛性性腺刺激ホルモン（hCG）製剤に関するお願いに関する件（保険）  
標記に関し協議。協力する。了承。

第7回 令和元年10月8日（火） 本会会議室 出席者37名  
協議事項

1. 庶務部会関係（庶務）

- (1) 令和2年度諸会議開催日程の一部変更に関する件  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
- (2) 第47回日本産婦人科医会学術集会（担当：北海道・東北ブロック・北海道）開催時における諸会場の確保依頼に関する件  
標記に関し協議。依頼する。了承。
- (3) 一般社団法人日本産婦人科乳腺医学会（苛原稔理事長）からの第15回乳房超音波講習会（12月7・8日 千葉県）への共催依頼に関する件  
標記に関し協議。共催する。了承。
- (4) 市民公開講座実行委員会（黒木晴郎実行委員長）からの「子宮頸がんを予防しましょう」市民公開講座（12月1日 千葉市）への後援名義使用許可依頼に関する件  
標記に関し協議。許可する。了承。
- (5) 一般社団法人日本家族計画協会（北村邦夫理事長）からの第8回知っているようで知らない性の健康セミナー（令和2年2月9日 東京都）への後援名義使用許可依頼に関する件  
標記に関し協議。許可する。了承。
- (6) 公益社団法人母子保健推進会議（原澤勇理事長）からの第78回日本公衆衛生学会総会自由集会（10月23日 高知県）への講師派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。鈴木俊治常務理事を派遣する。了承。
- (7) 栃木県医師会・栃木県医学会（太田照男会長）からの第59回栃木県総合医学会（11月17日 宇都宮市）への講師派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。安達常務理事を派遣する。了承。

- (8) 愛媛県医師会（村上博会長）からの同医師会令和元年度母体保護法指定医師研修会（12月21日 松山市）への講師派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。母体保護法について、今村顧問、医療倫理について、平川常務理事、医療安全について、関沢常務理事を派遣する。了承。
- (9) 株式会社エフエム東京Hello smile実行委員会（村上正光実行委員長）からの子宮頸がん予防啓発プロジェクトHello smile子宮頸がん検診受診勧奨ポスター等の医会報への同梱依頼に関する件  
標記に関し協議。同梱する。了承。
- (10) 公益財団法人日本医療機能評価機構（鈴木英明理事）からの産科医療補償制度に関する資料「産科医療補償制度ニュース第7号」の医会報への同梱依頼に関する件  
標記に関し協議。同梱する。了承。
- (11) 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社（高木佐登志ディレクター）からの「WE HOPEキャンペーン」の協力依頼に関する件  
標記に関し協議。協力する。寄附金は辞退する。了承。
- (12) 日本産婦人科医会創立70周年記念式典・第46回学術集会懇親会に関する件（式典&懇親会チーム）  
標記に関し協議。意見があれば提出する。了承。
2. 日産婦医会報11月号の編集方針に関する件（広報・医会報編集）  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
3. 記者懇談会のテーマに関する件（広報・IT関係）  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
4. その他
- (1) 自然および人工流産手術実態調査に関する件（研修）  
標記に関し協議。倫理委員会に諮り、調査する。了承。
- (2) 令和2年度性犯罪・性暴力被害者支援交付金事業に関する要望に関する件（女性）  
標記に関し協議。要望書を提出する。了承。
- (3) 埼玉県産婦人科医会（小室順義会長）からの第7回母と子のメンタルヘルスフォーラム（令和3年5月30日）開催立候補届出に関する件（母子）  
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
- (4) HTLV-1感染の感染症法・五類感染症指定に関する要望に関する件（母子）  
標記に関し協議。反対する。了承。
- (5) 鉄欠乏性貧血治療剤「フェインジェクト静注500mg」に関する要望に関する件（木下会長）  
標記に関し協議。要望書を提出する。了承。
- (6) 横浜市精神科医会（山口哲顕会長）他からの横浜市へのカジノ誘致反対署名活動の協力依頼に関する件（木下会長）  
標記に関し協議。見送る。了承。
- 通信対応済協議事項
- (1) 令和元年度公開講座（学会との共催）に対する助成金の交付に関する件（庶務）  
標記に関し協議。交付する。了承。

第8回 令和元年11月5日（火） 本会会議室 出席者37名

協議事項

1. 庶務部会関係（庶務）

- (1) 産婦人科施設情報更新の協力依頼に関する件  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
  - (2) 台風第19号等被害状況およびお見舞い金に関する件  
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
  - (3) 茨城県産婦人科医会（青木雅弘会長）からの市民公開講座「HPV関連がん  
とHPVワクチンの正しい理解のために」（11月12日 水戸市）の共催依頼に  
関する件  
標記に関し協議。共催する。了承。
  - (4) 滋賀県産科婦人科医会（野村哲哉会長）からの同医会創立70周年記念事業  
（令和2年1月18日 大津市）への講師派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。木下会長が出席する。了承。
  - (5) 近畿産科婦人科学会・滋賀県産科婦人科医会（野村哲哉会長）からの令和元  
年度日本産婦人科医会近畿ブロック協議会（令和2年1月19日 大津市）への役  
員派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。木下会長が出席する。平田常務理事、早田幹事を派遣する。  
了承。
  - (6) 一般社団法人女性アスリート健康支援委員会（川原貴会長）からの同委員会へ  
の理事推薦依頼に関する件  
標記に関し協議。木下会長、安達常務理事を推薦する。了承。
  - (7) 一般社団法人女性アスリート健康支援委員会（川原貴会長）からの同委員会カ  
ンファレンス「Female Athlete Conference2020」（令和2年2月1日 東京）へ  
の後援名義使用許可依頼および女性アスリート診療のための講習会（12月1日  
東京都）の会場変更に関する件  
標記に関し協議。後援名義使用を許可する。会場変更を認める。了承。
  - (8) 公益社団法人母子保健推進会議（原澤勇理事長）からの2019年度子ども・子  
育て支援推進調査研究事業「母子健康手帳の多言語化および効果的な支援方法に  
関する調査研究」事業への委員推薦依頼に関する件  
標記に関し協議。鈴木俊治常務理事を推薦する。了承。
  - (9) 公益社団法人日本産科婦人科学会（木村正理事長他）からの同学会生殖・内分  
泌委員会「本邦における月経異常診断の標準化と実態調査」の実施に伴う協力依  
頼に関する件  
標記に関し協議。宛名シールを提供する。了承。
  - (10) 一般社団法人日本子ども虐待防止学会（奥山眞紀子理事長）からの子どもの死  
亡事例全数検証制度に関する要望書への賛同依頼に関する件  
標記に関し協議。意見があれば1週間以内に提出する。了承。
  - (11) 日本医師会第XVI次生命倫理懇談会（高久史磨座長）からの「終末期医療に関  
するガイドライン（改定案）」への意見聴取依頼に関する件  
標記に関し協議。意見があれば1週間以内に提出する。了承。
2. 日産婦医会報12月号の編集方針に関する件（広報・医会報編集）  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。

3. 記者懇談会のテーマに関する件（広報・IT関係）  
標記に関し協議。11月は原案どおりとする。了承。

4. その他

- (1) オンライン診療における緊急避妊薬に関する講習会に関する件（女性）  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
- (2) 内閣府性暴力被害者支援のための研修（医療関係者対象）の案内に関する件（女性）  
標記に関し協議。ホームページに掲載する。了承。

通信対応済協議事項

- (1) 令和元年度公開講座（学会との共催）に対する助成金の交付に関する件（庶務）  
標記に関し協議。交付する。了承。

第9回 令和元年12月3日（火）パレスホテル東京「梅」出席者43名

協議事項

1. 庶務部会関係（庶務）

- (1) 第3回理事会（令和2年2月15日）次第案に関する件  
標記に関し協議。追加等あれば提出する。了承。
- (2) 日本医師会（横倉義武会長）からの同医師会オンライン診療研修に関する検討委員会への委員推薦依頼に関する件  
標記に関し協議。前田副会長、安達常務理事を推薦する。了承。
- (3) 九州ブロック産婦人科医会（平川俊夫会長）からの令和元年度第2回同ブロック産婦人科医会各県会長会（令和2年1月11日 福岡市）への講師派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。安達常務理事を派遣する。了承。
- (4) 長崎県医師会（森崎正幸会長）他からの令和元年度（第55回）同医師会母体保護法指定医師研修会（令和2年3月8日 長崎市）への講師派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。木下会長が出席する。了承。
- (5) 福島県産婦人科医会（野口まゆみ会長）からの令和元年度同医会公開講座（令和2年3月15日 郡山市）への講師派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。鈴木光明常務理事を派遣する。了承。
- (6) 第18回日本生殖看護学会学術集会（奥島美香集会長）からの同学術集会（令和2年9月13日 大阪府）への後援名義使用許可依頼に関する件  
標記に関し協議。詳細確認後に承認する。了承。
- (7) 予防接種推進専門協議会（岩田敏委員長）からの「がん教育推進のための教材」へのワクチンによるがん予防の記載に向けた関連学術20団体の要望書に関する件  
標記に関し協議。要望書の参加学術団体に加わる。了承。
- (8) 一般社団法人日本助産学会（高田昌代理事長他）からの「エビデンスに基づく助産ガイドライン-妊娠期・分娩期・産褥期2020」へのパブリックコメント募集依頼に関する件  
標記に関し協議。幹事会で対応する。了承。

2. 日産婦医会報1月号の編集方針に関する件（広報・医会報編集）  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。

3. 記者懇談会のテーマに関する件（広報・IT関係）  
標記に関し協議。令和2年2月まで原案どおりとする。了承。

4. その他

(1) 研修ノートNo.105「女性のがんサポーターケア」の項目・執筆者案に関する件（研修）

標記に関し協議。原案どおりとする。了承。

(2) 第42回日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会（大阪府）集録集の取扱いに関する件（女性）

標記に関し協議。原案どおりとする。了承。

通信対応済協議事項

(1) 令和元年度公開講座（学会との共催）に対する助成金の交付に関する件（庶務）  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。

第10回 令和2年1月14日（火） 本会会議室 出席者32名

協議事項

1. 庶務部会関係（庶務）

(1) 第3回理事会（2月15日）タイムスケジュールに関する件  
標記に関し協議。追加等あれば提出する。了承。

(2) 第91回総会（臨時）（3月15日）次第案に関する件  
標記に関し協議。追加等あれば提出する。了承。

(3) 名誉会員の推薦に関する件  
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。

(4) 特別会員の推薦に関する件  
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。

(5) 令和2年度事業計画（案）の取りまとめに関する件  
標記に関し協議。追加等あれば提出する。了承。

(6) 厚生労働省子ども家庭局子育て支援課長からの令和2年度児童福祉週間（5月5～11日）への協力依頼に関する件  
標記に関し協議。協力する。了承。

(7) 公益社団法人日本産科婦人科学会（木村正理事長他）からの着床前診断に関する倫理審議会（1月25日/3月15日/4月19日）への傍聴者推薦依頼に関する件  
標記に関し協議。竹下先天異常委員会委員長を推薦する。了承。

(8) 日本産婦人科医会東北ブロック会（濱崎洋一会長）からの令和元年度後半期東北地区日産婦学会・医会連絡会（2月24日 宮城県）への役員派遣依頼に関する件

標記に関し協議。前田副会長、鈴木俊治常務理事、新垣幹事を派遣する。了承。

(9) 日本医師会（横倉義武会長）からの令和元年度母子保健講習会（2月16日 東京都）への講師派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。石渡副会長を派遣する。了承。

(10) 沖縄県医師会（安里哲好会長）からの令和元年度同医師会母体保護法指定医師研修会（3月1日 島尻郡）への講師派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。高瀬常務理事を派遣する。了承。

- (11) 佐賀県医師会（池田秀夫会長）他からの同医師会令和元年度母体保護法指定医師研修会（3月20日 佐賀市）への講師派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。高瀬常務理事を派遣する。了承。
- (12) 一般社団法人東京産婦人科医会（山田正興会長他）からの同医会令和2年度第1回母体保護法指定医師研修会（4月19日 東京都）への講師派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。石渡副会長、関沢常務理事を派遣する。了承。
- (13) 厚生労働科学研究費補助金肝炎等克服緊急対策研究事業「肝炎ウイルス感染状況の把握および肝炎ウイルス排除への方策に資する疫学研究班（田中純子代表研究者）からの妊産婦健康診査における肝炎ウイルス検査の現状と治療実態把握のための全国調査への協力依頼に関する件  
標記に関し協議。宛名シールを提供する。了承。
2. 日産婦医会報2月号の編集方針に関する件（広報・医会報編集）  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
3. 記者懇談会のテーマに関する件（広報・IT関係）  
標記に関し協議。2月のタイトルを検討する。了承。
4. その他
- (1) 研修ノートNo.104「外国人患者への対応と留意点」発刊に関する件（研修）  
標記に関し協議。意見があれば1週間以内に提出する。了承。
- (2) 研修ノートNo.106「思春期のケア」の項目・執筆者案に関する件（研修）  
標記に関し協議。意見があれば1週間以内に提出する。了承。
- (3) 令和3年度会員研修テーマ案に関する件（研修）  
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
- (4) 産婦人科診療ガイドライン婦人科外来編2017からの複写利用申請に関する件（研修）  
標記に関し協議。複写利用を許可する。了承。
- (5) 令和元年度全国医業推進担当者伝達講習会次第案に関する件（推進）  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
- (6) 子宮内膜におけるLC-1000の有用性に関する多施設共同試験に関する件（がん）  
標記に関し協議。倫理審査委員会に諮る。了承。
- (7) HPV感染の関連に関する実態調査の報告に関する件（母子）  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
- (8) 厚生労働省雇用環境・均等局雇用機会均等課長からの母性健康管理指導事項連絡カードの周知広報に関する件（協力依頼）（母子）  
標記に関し協議。協力する。了承。
- (9) 遠隔CTGモニタによる在宅realtime胎児サポートシステム確立に向けた検証に参加可能な候補一次施設のご推薦に関する件（遠隔医療プロジェクト）  
標記に関し協議。今回は見送る。了承。

#### 通信対応済協議事項

- (1) 令和元年度公開講座（学会との共催）に対する助成金の交付に関する件（庶務）  
標記に関し協議。交付する。了承。
- (2) 日本医師会（横倉義武会長）からの同医師会オンライン診療研修に関する検討委員会への委員推薦依頼（追加）に関する件（庶務）

標記に関し協議。宮国幹事を推薦する。了承。

- (3) 公益社団法人日本薬剤師会（山本信夫会長）からの令和元年度薬局ビジョン実現に向けた薬剤師のかかりつけ機能強化事業次世代薬剤師指導者研修会（1月12日 東京都）への講師派遣依頼に関する件（庶務）

標記に関し協議。宮国幹事を派遣する。了承。

- (4) 国立成育医療研究センターこころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科（立花良之診療部長）からの令和2年度厚生労働科学研究費補助金「特定妊婦に対する支援の均てん化に向けたアセスメントツール及び支援プログラムを構築するための研究」への研究分担者派遣依頼に関する件（庶務）

標記に関し協議。鈴木俊治常務理事を派遣する。了承。

第11回 令和2年2月10日（月） 本会会議室 出席者29名

#### 協議事項

##### 1. 庶務部会関係（庶務）

- (1) 第3回理事会（2月15日）運営に関する件

標記に関し協議。追加等あれば提出する。了承。

- (2) 第91回総会（臨時）（3月15日）タイムスケジュールに関する件

標記に関し協議。追加等あれば提出する。了承。

- (3) 令和2年度事業計画（案）の取りまとめに関する件

標記に関し協議。理事会に諮る。了承。

- (4) 令和2年度収支予算（案）に関する件

標記に関し協議。理事会に諮る。了承。

- (5) 部会の名称変更に関する件

標記に関し協議。理事会に諮る。了承。

- (6) 令和2年度会費減免申請者に関する件

標記に関し協議。理事会に諮る。了承。

- (7) 新入会員の入会承認に関する件

標記に関し協議。理事会に諮る。了承。

- (8) 各種規程等の改正に関する件

標記に関し協議。理事会に諮る。了承。

- (9) 第45回全国産婦人科教授との懇談会（4月26日 東京都）に関する件

標記に関し協議。追加等あれば提出する。了承。

- (10) 厚生労働省健康局長からの第72回保健文化賞候補者推薦への協力依頼に関する件

標記に関し協議。協力する。了承。

- (11) 一般社団法人シンクパール（難波美智子代表理事）からの地球女性からだ会議2020（3月3日 東京都）への後援名義使用許可依頼に関する件

標記に関し協議。許可する。了承。

- (12) NPO法人女性の健康とメノポーズ協会（三羽良枝理事長）からの女性の健康週間イベント女性の健康と働き方フォーラム（3月4日 東京都）への後援名義使用許可依頼に関する件

標記に関し協議。許可する。了承。

- (13) 認定NPO法人乳房健康研究会（福田護理事長）からの第19回ミニウオーク＆ランフォーブレストケアピンクリボンウオーク2020（4月5日 東京都）への後援名義使用許可依頼に関する件  
標記に関し協議。許可する。了承。
- (14) 熊本県産婦人科医会（伊藤昌春会長）からの令和2年度同医会定例総会（5月10日 熊本市）への講師派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。関沢常務理事を派遣する。了承。
- (15) 公益社団法人岡山県医師会（松山正春会長）からの同医師会母体保護法指定医師研修会（5月17日 岡山市）への講師派遣依頼に関する件  
標記に関し協議。高瀬常務理事を派遣する。了承。
- (16) 公益社団法人日本産科婦人科学会（木村正理事長他）からの同学会災害対策・復興委員会への委員推薦依頼に関する件  
標記に関し協議。松田副幹事長を推薦する。了承。
- (17) 法務省民事局民事第一課（杉浦直紀第一課長）からの妊婦用リーフレット及び無戸籍者解消ポスターの送付協力依頼に関する件  
標記に関し協議。協力する。了承。
- 2. 日産婦医会報3月号の編集方針に関する件（広報・医会報編集）  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
- 3. 記者懇談会のテーマに関する件（広報・IT関係）  
標記に関し協議。4月まで原案どおりとする。了承。
- 4. その他
  - (1) 人工妊娠中絶手術の配偶者同意に関する質問回答に関する件（法制）  
標記に関し協議。個人からの質問には回答しない。了承。
  - (2) 緊急避妊薬のオンライン診療に関する薬剤師向け研修会の旅費に関する件（経理）  
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
  - (3) 自己採取HPV検査の検証に関する研究に関する件（がん）  
標記に関し協議。理事会に諮る。了承。
  - (4) 妊産婦メンタルヘルスケア推進に関するアンケート調査に関する件（母子）  
標記に関し協議。内容を検討する。了承。
  - (5) 新生児聴覚スクリーニング検査に関するアンケート調査に関する件（母子）  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。

#### 通信対応済協議事項

- (1) 令和元年度公開講座（学会との共催）に対する助成金の交付に関する件（庶務）  
標記に関し協議。交付する。了承。
- (2) 周産期医学編集委員会からの雑誌「周産期医学」増刊号への執筆依頼に関する件（庶務）  
標記に関し協議。宮崎常務理事が執筆する。了承。
- (3) 厚生労働省子ども家庭局母子保健課長からの成育医療等協議会への委員推薦依頼に関する件（庶務）  
標記に関し協議。平原副会長を推薦する。了承。

## 第12回 令和2年3月10日（火）通信

### 協議事項

1. 庶務部会関係（庶務）
  - （1）第1回理事会（5月16日）次第案に関する件  
標記に関し協議。追加等あれば提出する。了承。
  - （2）令和元年度事業報告・決算報告作成スケジュールに関する件  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
  - （3）第72回日本産科婦人科学会総会・学術講演会時の医会広報コーナー展示物に関する件  
標記に関し協議。追加等あれば提出する。了承。
2. 日産婦医会報4月号の編集方針に関する件（広報・医会報編集）  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
3. 記者懇談会のテーマに関する件（広報・IT関係）  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。
4. その他
  - （1）書籍案内の同梱依頼に関する件（安全）  
標記に関し協議。同梱する。了承。
  - （2）日本医療機能評価機構との会員支援についての業務提携契約に関する件（安全）  
標記に関し協議。原案どおり契約する。了承。
  - （3）器質性月経困難症の治療に係る研修に関する件（保険）  
標記に関し協議。原案どおりとする。了承。

### 通信対応済協議事項

- （1）令和元年度公開講座（学会との共催）に対する助成金の交付に関する件（庶務）  
標記に関し協議。交付する。了承。

## 4. 地域代表全国会議

令和元年9月22日（日）京王プラザホテル

出席者98名（各都道府県産婦人科医会事務局20名）

### 主要報告

1. プレコンセプションについて
2. 風疹の流行継続と風疹ワクチン第5期定期接種推進に関してについて
3. HPVワクチン接種勧奨再開に向けての行政を巻き込んだ取組について
4. 緊急避妊薬のオンライン診療の検討状況について
5. 厚生労働省令和2年度母子保健対策関係概算要求の概要について
6. 分娩取扱施設の長時間労働（在院）に関連する要因とその対応について
7. 産科診療における遠隔医療の導入の研究計画について
8. 成育基本法関連の会長答申（案）について
9. ハーバード大学子ども発達センター（HCDC）育児支援動画について
10. その他

### 報告

1. 第5回母と子のメンタルヘルスフォーラム（6月1・2日 岡山県）の報告について
2. 第42回日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会（7月28日 大阪府）の

報告について

3. 第46回日本産婦人科医会学術集会（担当：本会）（10月13日 東京都）の案内について
4. 第6回母と子のメンタルヘルスフォーラム（令和2年5月31日 福岡県）の案内について
5. 第43回日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会（令和2年7月19日 山形県）の案内について
6. 第47回日本産婦人科医会学術集会（令和2年10月3・4日 北海道）の案内について
7. 女性アスリート診療のための講習会（12月1日 東京都）案内について
8. 緊急避妊薬のオンライン診療に関する薬剤師向けの研修会及び性教育について
9. 令和元年度家族計画・母体保護法指導者講習会について
10. 「プレグランディン膣坐剤」販売状況報告書（納入先リスト）の販売・返品記載方法変更のご案内について
11. その他
  - 1) 第16回日本周産期メンタルヘルス学会（10月26・27日 千葉県）の案内について
  - 2) 子宮頸がんワクチンを考える－公開フォーラム福岡－（11月3日 福岡県）の案内について

## 5. ブロック協議会

	開催日	開催地	派遣者	出席者
北海道	令和元年 9月1日	札幌	前田津紀夫・鈴木 光明・五十嵐敏雄	53名
東北	令和2年 2月24日	宮城	前田津紀夫・鈴木 俊治・新垣 達也	35名
関東	令和元年 9月29日	長野	平原 史樹・平田 善康・星合 明	106名
北陸	令和元年 6月1日	富山	石渡 勇・小林 浩・田中 京子	41名
東海	令和元年 8月18日	岐阜	平原 史樹・種部 恭子・倉澤健太郎	75名
近畿	令和2年 1月19日	滋賀	木下 勝之・平田 善康・早田英二郎	40名
中国	令和元年 9月1日	広島	石渡 勇・安達 知子・長谷川潤一	47名
四国	令和元年 8月24・25日	高知	前田津紀夫・相良 洋子・石谷 健	62名
九州	令和元年 10月26・27日	宮崎	平原 史樹・鈴木 光明・百村 麻衣	42名

### Ⅲ. 総務部

本年度は日本産婦人科医会創立70周年記念式典の開催を予定していたところであるが、台風19号の襲来および交通機関の計画運休によりやむなく中止が余儀なくされた。昨年からのプロジェクトチームを作って準備を行っていたところであり大変残念であった。

令和元年度は2年に一度の診療報酬の改定が行われる年であった。本会では、妊婦加算が凍結されており、その再開を求めて、国会議員、日本医師会、厚生労働省に働きかけた。結果としてこれは廃止されたが、武見敬三議員をはじめ国会議員の先生方、日本医師会のお力添い、厚生労働省の理解を得て、これに替わるものとして、診療情報提供料(Ⅲ)の新設が認められた。さらに、産婦人科として初めての管理料が認められ、その他にも幾つかの点数増として認められた。

新型コロナウイルス感染症については、1月から中国(湖北省武漢)を中心にコロナウイルスによる肺炎が流行し、1月31日にはWHOが緊急事態を宣言し、わが国でも2月1日から嚴重に取り扱われる指定感染症となった。現時点においては、大規模な感染爆発には至っていないが、蔓延している状態になっており、2月3日より会員向け、妊産婦向けにホームページにおいて、情報発信を行っている。

この影響のため、3月に予定していた第91回総会が中止となった他、各種委員会等が中止や延期となった。

旧優生保護法について、日本医学会において、検証のための検討会が開催され、木下会長が出席し、日本産婦人科医会としての意見を述べた。

成育基本法が12月に施行され、成育医療等協議会が設置された。この協議会の委員として平原副会長が就任しており、今後、策定される成育医療等基本方針に本会の意見が十分盛り込まれることが期待される。

緊急避妊薬のオンライン診療が令和2年4月から実施されることに伴い、処方する薬剤師に対する研修を実施することになるが、今後、講師となる全国都道府県の医会担当医師2名ずつに対して12月に研修を実施した。

また、産婦人科医以外が緊急避妊のオンライン診療を行うためには厚生労働省の定めた研修を受講する必要があるため、安達常務理事が中心となって研修のためのテキストの作成を行った。

医師に対する働き改革については、労働時間について2024年度以降適用されることとなるが、産婦人科医の地域偏在並びに減少など問題が山積されており、中井常務理事を中心に引き続き厚生労働省に意見を陳べていく。

難聴児の早期発見、診断については、自民党の難聴対策推進議員連盟が「Japan Hearing Vision」の提言を取りまとめ、政府に申し入れを行った結果、来年度の予算では新生児聴覚検査の公費負担、産科医療機関への検査機器購入費助成など大幅な増額が図られた。

HPVワクチンの積極的勧奨再開を目指し、厚生労働大臣に接種勧奨再開を求める要望書の提出を行った。

また、国会議員にも積極的に働きかけを行い、自民党に「HPVワクチンの積極的勧奨再開を目指す議員連盟」が発足した。

産後ケア事業については、法的な位置づけがなかったが、議員立法により母子保健法の改正が行われ11月に成立した。

本年も自然災害が多く発生し、大きな災害に見舞われた。特に6月の地震、9月、10月の

台風被害では、大規模停電が長期間に及ぶなど十分な備えが必要であることを改めて認識させられた。

なお、台風で被災した、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、神奈川県にはお見舞金を交付した。  
以下に、木下会長をはじめとする役員の子な活動内容等を記載し、報告とする。

平成31年

- 4月10日（水） 難聴対策推進議員連盟設立総会（関沢常務理事）
- 4月18日（木） 厚労省小林母子保健課長ご挨拶及び旧優生保護法に関し意見交換のため来会（木下会長）

令和元年

- 5月10日（金） 厚労省医政局医事課堀岡医師養成等企画調整室長と働き方改革について意見交換のため訪問（木下会長）
- 5月13日（月） 緊急避妊薬のオンライン診療について自見はなこ参議院議員、日本医師会今村副会長、平川常任理事と意見交換（木下会長）
- 5月15日（水） 緊急避妊薬のオンライン診療について自見はなこ参議院議員、厚労省佐々木医事課長、小林母子保健課長と意見交換（木下会長）  
難聴対策推進議員連盟第2回総会（関沢常務理事）
- 5月21日（火） 厚労省小林母子保健課長が助産施設の現状に関し意見交換のため来会（木下会長、鈴木（俊）常務理事）
- 5月22日（水） 緊急避妊薬のオンライン診療について厚労省佐々木医事課長と意見交換のため訪問（木下会長）
- 5月28日（火） 難聴対策推進議員連盟第3回総会（木下会長）
- 5月30日（木） 第1回ワクチン勉強会（宮崎常務理事）  
難聴児の早期支援に向けた保健・医療・福祉・教育の連携プロジェクト会合（木下会長、関沢常務理事）  
妊産婦に対する保健・医療体制の在り方について厚労省小林母子保健課長と意見交換（木下会長）
- 6月5日（水） 産後ケアについて自見はなこ参議院議員、日本医師会平川常任理事、厚労省小林母子保健課長他と意見交換（木下会長、前田副会長）
- 6月6日（木） 難聴対策推進議員連盟、柴山文部科学大臣に提言申し入れ同席（宮崎常務理事）
- 6月6日（木） 難聴対策推進議員連盟、根本厚生労働大臣に提言申し入れ同席（木下会長）
- 6月18日（火） 中国・湖南省衛生健康委員会、家族計画研究所が意見交換のため来会（平原副会長、宮崎常務理事）
- 6月19日（水） 成育基本法推進議員連盟第9回総会（宮崎常務理事）  
出生前診断について厚労省小林母子保健課長と意見交換（木下会長、関沢常務理事）
- 6月21日（金） 難聴対策議員推進議員連盟第5回総会（木下会長）
- 6月22日（土） 旧優生保護法について自見はなこ参議院議員、日本医学会門田会長、日本産科婦人科学会木村副理事長、日本医師会平川常任理事、厚労省小林母子保健課長他と意見交換（木下会長）
- 6月25日（火） 第2回ワクチン勉強会（宮崎常務理事）

- 6月26日（水） 働き改革について意見交換のため、厚労省医政局医事課を訪問（中井常務理事）
- 7月9日（火） 産後ケアについて意見交換のため、厚労省小林母子保健課長来会（木下会長、前田副会長）
- 7月22日（月） 緊急避妊薬のオンライン診療について意見交換のため、厚労省医政局佐々木医事課長他来会（木下会長、前田副会長）
- 8月13日（火） 緊急避妊薬の薬剤師に対する研修について意見交換のため、日本薬剤師会、日本女性薬剤師会、厚労省医薬・生活衛生局総務課来会（木下会長、前田副会長、安達常務理事、宮崎常務理事他）
- 8月22日（木） 母体保護法（旧優生保護法）検証のための検討会（日本医学会）（木下会長）
- 8月29日（金） 産後ケアについて意見交換のため、厚労省小林母子保健課長来会（木下会長、宮崎常務理事）
- 9月9日（月） 第3回ワクチン勉強会（宮崎常務理事）
- 9月12日（木） 虐待死事例調査結果報告のため厚労省虐待防止推進室長来会（関沢常務理事、相良常務理事）
- 9月25日（木） 母子手帳記録の管理について意見交換のため、厚労省母子保健課訪問（前田副会長）
- 9月30日（月） 産後ケアについて意見交換のため、厚労省小林母子保健課長来会（木下会長）
- 10月2日（水） 緊急避妊薬の薬剤師に対する研修について意見交換のため、日本薬剤師会、厚労省医薬・生活衛生局総務課来会（安達常務理事）
- 10月4日（金） NIPTについて意見交換のため、厚労省小林母子保健課長を訪問（木下会長、平原副会長、関沢常務理事）
- 10月8日（火） オンライン診療の医師向け研修について意見交換のため、厚労省佐々木医事課長来会（木下会長、前田副会長、宮崎常務理事）
- 10月9日（水） 難聴対策議員推進議員連盟第6回総会（関沢常務理事）
- 10月15日（火） 産後ケアについて意見交換のため、厚労省小林母子保健課長来会（木下会長）
- 10月30日（金） 自民党「予算・税制等に関する政策懇談会」（平原副会長）
- 11月2日（土） 成育基本法について小児科医会と意見交換（木下会長、平原副会長、宮崎常務理事）
- 11月12日（火） 成育基本法について意見交換のため、厚労省小林母子保健課長来会（木下会長、平原副会長）
- 11月14日（木） 成育基本法推進議員連盟第10回総会（木下会長）
- 11月18日（月） 医療計画について意見交換のため、厚労省医政局永田救急・周産期医療等対策室長来会（木下会長、中井常務理事）
- 11月21日（木） 第5回ワクチン勉強会（宮崎常務理事）
- 11月25日（月） 診療報酬改定要望のため、武見敬三参議院議員を訪問（木下会長、宮崎常務理事）
- 11月26日（火） HPVワクチンの積極的勧奨再開を目指す勉強会（石渡副会長、宮崎常務理事、平田常務理事）

- 11月28日（木） 中国・浙江省医療関係者が意見交換のため来会（宮崎常務理事、石谷幹事長）
- 12月3日（火） オンライン診療の薬剤師向け研修について意見交換のため、厚労省医薬・生活衛生局安川医薬情報室長来会（木下会長）
- 12月5日（木） 診療報酬改定要望打ち合わせのため、武見敬三参議院議員を訪問（木下会長、宮崎常務理事）
- 12月5日（木） 医会・学会ワーキング開催（宮崎・栗林両常務理事、石谷幹事長、青木学会副理事長、阪埜幹事長、山上幹事）
- 12月10日（月） 診療報酬打合せのため厚労省保険局医療課来会（木下会長、宮崎常務理事）
- 12月12日（木） 診療報酬改定要望打ち合わせのため、鴨下一郎衆議院議員を訪問（木下会長、宮崎常務理事）  
診療報酬打合せのため厚労省保険局森光医療課長来会（木下会長、宮崎常務理事）  
診療報酬改定要望打ち合わせのため、日本医師会と意見交換（木下会長、宮崎常務理事、谷川原常務理事、松本・平川日医両常任理事）
- 12月18日（水） 産後ケア法案について、自見はなこ参議院議員と意見交換（木下会長）
- 12月19日（木） HPVワクチンについて意見交換のため、厚労省宮崎健康局長を訪問（木下会長、宮崎常務理事）  
診療報酬報告のため、羽生田俊参議院議員を訪問（木下会長、宮崎常務理事）
- 令和2年
- 1月17日（金） 医会・学会意見交換会開催
- 1月22日（水） 産後ケア事業について意見交換のため、厚労省小林母子保健課長来会（木下会長、前田副会長、鈴木（俊）常務理事）
- 1月23日（木） HPVワクチンの接種勧奨再開を求める要望書（加藤厚生労働大臣宛）を提出（石渡副会長）
- 2月6日（木） 妊婦健診の告示改正について意見交換のため、厚労省母子保健課来会（前田副会長、宮崎常務理事、角田委員長）
- 2月13日（木） 厚労省成育医療等協議会出席（宮崎常務理事）
- 3月13日（金） 妊婦健診における肝炎ウイルス検査について意見交換のため、厚労省肝炎対策推進室来会（前田副会長、鈴木（俊）常務理事）
- 3月23日（月） 産後ケア事業について意見交換のため、厚労省母子保健課訪問（前田副会長、関沢常務理事）

## A. 庶務部会

### 1. 会議

総会、理事会、常務理事会、幹事会、運営打合会、地域代表全国会議等庶務部会関係会議を事業計画に沿って開催した。なお、第91回総会（臨時）は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催を中止した。

### 2. 組織強化の推進

組織強化を図る上で情報の迅速で正確な伝達は、極めて重要であり、そのため次の事業を行った。

(1) 本会・各都道府県産婦人科医会間の一層の緊密な連絡の円滑化・低コスト化を図るため、月例連絡事項は原則として電子メールで行った。

(2) ブロック協議会、各都道府県産婦人科医会総会、研修会への協力・支援

ブロック協議会、各都道府県産婦人科医会総会、研修会に関し、各ブロック、各都道府県産婦人科医会と緊密な連携を図り、その運営に協力した。

ブロック協議会を9ブロックで開催、ブロック内各都道府県産婦人科医会間の連絡連携を密にし、意思の疎通を図り組織の充実強化に努めた。

ブロック協議会には、本会より役員の派遣を行う一方、開催費の補助（1ブロック50万円）を行った。

各都道府県産婦人科医会の研修会については、各都道府県産婦人科医会の要請により講師を派遣し、会員の生涯研修に関し充実した内容の実施に努めた。また、例年にならい「各都道府県産婦人科医会内の研修会実施報告書」、「出席者名簿」の提出などにより各都道府県産婦人科医会内の組織的活動状況の把握に努めるとともに、研修会補助（年間1都道府県産婦人科医会5万円）を行った。

(3) 本会への入会促進

日本産科婦人科学会総会・学術講演会等の開催時に会員の入会促進を目的に「医会広報コーナー」を設け、既存の入会案内リーフレット、研修ノート等、本会の刊行物等を配付・展示して、本会事業を紹介した。

(4) プロジェクト委員会開催

今後の活動の方向性を考える委員会として、プロジェクト委員会を開催し、活動報告をまとめている。

### 3. 関係団体との協調

(1) 全国産婦人科教授への広報

本会の活動について大学教授の理解を得るとともに、在局者の本会への入会の促進に協力いただくために全国医育機関の教授との懇談会を次のとおり開催した。

第44回全国産婦人科教授との懇談会

平成31年4月14日（日）展望レストラン

出席者87名

## 次第

- 1) 日本産婦人科医会会長挨拶
- 2) 日本産科婦人科学会理事長挨拶
- 3) 第71回日本産科婦人科学会学術集会長挨拶
- 4) 第72回日本産科婦人科学会学術集会長挨拶
- 5) 報告

### (2) 公開講座に対する支援

各都道府県産婦人科医会が各都道府県産科婦人科学会と共同で開催する一般市民向けの公開講座には助成することとしていたが、令和元年度は24件・22都県産婦人科医会（青森、宮城、山形、茨城、埼玉、千葉、東京、山梨、長野、静岡、石川、岐阜、滋賀、兵庫、奈良、広島、福岡、佐賀、長崎、宮崎、鹿児島、沖縄）に行った（1都道府県産婦人科医会へ10万円）。なお、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により公開講座の開催中止・延期が相次いだので、中止・延期に伴う費用にも充当（同額）を可とした。

### (3) 産婦人科プラスワンセミナー・サマースクール・スプリングフォーラムに対する支援

産婦人科専攻医増加のために医学生および研修医等を対象に始まった日本産科婦人科学会主催の当事業を共催（プラスワンセミナー100万円・サマースクール200万円・スプリングフォーラムは開催中止）した。

## 4. 創立70周年記念式典・懇親会、第46回学術集会

### (1) 創立70周年記念式典・懇親会

令和元年10月12日に京王プラザホテルにて、本会創立70周年記念式典・懇親会を執り行う準備をしていたが、台風19号の襲来により開催を見合わせ中止とした。

### (2) 第46回学術集会

令和元年10月13日にステーションコンファレンス東京にて、第46回学術集会の開催を予定していたが、式典・懇親会同様に開催を中止とし、振替として令和2年2月23日に本会会議室にて母体保護法指定医師研修会のみを開催した。

## B. 広報部会

### 【医会報編集】

日産婦医会報の編集、発行を主な業務とした。その内容は本会の機関誌として、会員に周知徹底すべき事柄、会員が知っておくと役に立つ情報、に重点をおいて作成した。

以下に令和元年度に行った事業内容を記載する。

#### 1. 日産婦医会報の発行

平成31年4月1日号（第71巻、第4号、No.818号）より、令和2年3月1日号（第72巻、第3号、No.828号）までの間、毎月1回（8月・9月は合併号）計11回にわたり日産婦医会報を発行。また、令和元年5月1日号に「勤務医ニュース」No.77を、令和2年2月1日号に「勤務医ニュース」No.78をそれぞれ付録とした。

各号の内容は以下の如くである。

#### (1) 主な日産婦医会事業、全国的諸会議の報告

－平成31年－

4月号 第89回総会（臨時）、第129回記者懇談会、平成30年度全国医業推進担当者伝達講習会

－令和元年－

5月号 第130回記者懇談会、第44回全国産婦人科教授との懇談会

6月号 第131回記者懇談会

7月号 第90回総会（定時）、第1回理事会、第132回記者懇談会、第5回母と子のメンタルヘルスフォーラム

8・9月号 第133回記者懇談会、第47回全国献金担当者連絡会

10月号 令和元年度地域代表全国会議、第2回理事会、第134回記者懇談会、第42回日本産婦人科医学会性教育指導セミナー全国大会

11月号 第28回全国医療安全担当者連絡会、第135回記者懇談会

12月号 第136回記者懇談会、MCMC（Mental Health Care for Mother & Child）講演会～脳科学の視点から考える育児支援

－令和2年－

1月号 木下会長年頭所感、第137回記者懇談会

2月号 第138回記者懇談会

3月号 第3回理事会、第139回記者懇談会、“風疹ゼロ”プロジェクト2020－風疹抗体検査・第5期風疹定期接種を受けてください－

#### (2) 産婦人科診療上の諸問題、医政、医療行政に関する解説と本会見解

－平成31年－

4月号 予期せぬ妊娠でも繋いでいけるように、助産師による産道裂傷の縫合について

－令和元年－

5月号 妊婦加算の今後、お知らせ（GSM：genitourinary syndrome of menopauseの日本語訳について）

6月号 チームワークは保たれています、有床診療所等スプリンクラー等施設整備等事

業費補助について

7月号 読まないと損

8・9月号 ソーシャルメディアによる情報発信だけでは、メディアや会員との相互理解が得られない－記者懇談会の効用

10月号 リプロダクティブ権と母体保護法指定医師、NIPTの検査を行う私企業からの検査案内やアンケート調査の書簡・電子メールにご注意ください、厚生労働省より「児童福祉法第22条の規定に基づく助産の円滑な実施について」

11月号 重症先天性心疾患の出生後スクリーニングに関するアンケート調査結果の報告

12月号 母体安全の向上に向けた医療安全部会の取り組みの成果と今後の方向性について、台風等による風水害被害と医会の対応、HPVワクチンの積極的勧奨再開を目指す議員連盟発足

－令和2年－

1月号 安倍総理、HPVワクチンに答弁、オンライン診療における緊急避妊薬に関する講習会、NIPTの検査を行う私企業からの検査案内等についての注意喚起、令和元年度家族計画・母体保護法指導者講習会

2月号 2020産婦人科から発信する人口減少対策のすすめ、妊娠中の子宮頸部細胞診異常とHPV感染の関連に関する実態調査の報告、C型肝炎ウイルス抗体陽性でHCV-RNA定量検査が陽性であった場合の内科紹介について

3月号 検診未受診者対策としての自己採取HPV検査－精度の検証と至適運用を目指した産婦人科医会・がん部会の臨床研究－、令和元年度社保の動き

(3) 連載記事

羅針盤：副会長、常務理事らによる見解を掲載

シリーズ医事紛争：医事紛争の判例等について紹介、解説を医療安全部会が担当

医療と医業：医業経営に関する話題など、医業推進部会が担当

学術欄：日常診療に参考となる学術テーマ、最先端のテーマの解説を研修部会が担当

新しい都道府県の代表紹介：各地域の新地域代表・産婦人科医会会長を紹介

会員の広場：会員からの投稿、意見などを掲載

情報アラカルト：日常診療に役立つ製品、工夫などを紹介

学海メモ：学術雑誌から産婦人科の臨床に役立つトピックなどを紹介

コーヒブレイク：編集委員による随筆を掲載

新聞切抜帳：編集委員が担当し、最近の新聞の中から産婦人科医が知っておいてよいと思われる記事をピックアップし、その要約を紹介

マメ知識：産婦人科や医療全般に関連する知識を簡潔に解説

編集室雑記帳：幹事による雑感を掲載

(4) その他

令和2年1月号に、新春対談 日本産科婦人科学会木村正新理事長を迎えてを掲載。

AIシリーズを令和元年5月号および8・9月合併号に掲載。

新入会員氏名および所属都道府県を掲載。

敬弔、名誉会員等追悼文を掲載。

## 2. 部会

医会報編集部会を委員会の後に、年間11回開催した。

## 3. 委員会

円滑な事業の推進を図るため、医会報編集委員会を11回開催した。医会報の前号の反省、当月・翌月号の編集方針、新たな企画などについて検討を行い、誌面の充実と内容の向上を図った。

第1回 平成31年4月15日 本会会議室

出席者：加来委員長 他13名

協議事項

医会報5月号編集方針

第2回 令和元年5月15日 本会会議室

出席者：加来委員長 他10名

協議事項

医会報6月号編集方針

第3回 令和元年6月14日 本会会議室

出席者：加来委員長 他10名

協議事項

医会報7月号編集方針

第4回 令和元年7月17日 本会会議室

出席者：加来委員長 他11名

協議事項

医会報8・9月合併号編集方針、学会木村新理事長と木下会長の対談について

第5回 令和元年9月18日 本会会議室

出席者：加来委員長 他10名

協議事項

医会報10月号編集方針、学会木村新理事長と木下会長の対談について、7月号学術欄への意見について

第6回 令和元年10月16日 本会会議室

出席者：加来委員長 他9名

協議事項

医会報11月号編集方針、創立70周年記念式典および第46回学術集会中止に伴う二次抄録の作成について

第7回 令和元年11月19日 本会会議室

出席者：加来委員長 他12名

協議事項

医会報12月号編集方針、令和2年度事業計画（案）に関する件

第8回 令和元年12月12日 本会会議室

出席者：加来委員長 他12名

協議事項

医会報1月号編集方針、令和2年度事業計画（案）に関する件

第9回 令和2年1月15日 「瓢喜」

出席者：加来委員長 他12名

協議事項

医会報2月号編集方針、令和2年度事業計画・予算（案）、医会報保存用ファイルの作成に関する件

第10回 令和2年2月18日 本会会議室

出席者：加来委員長 他12名

協議事項

医会報3月号編集方針、医会報保存用ファイルの作成に関する件

第11回 平成31年3月16日 本会会議室

出席者：加来委員長 他13名

協議事項

医会報編集4月号編集方針

## 【IT関係】

広報（IT関係）部会は、昨年度より広報委員会から独立し、ホームページを中心としたデジタルでの発信並びに記者懇談会、遠隔医療（オンライン診療を含む）を担当し、会員並びに国民に向けた情報発信を行い、ホームページのアクセス数を順調に伸ばし続けている。

本年度は研修を中心としたコンテンツの拡充と改編更新に加えて、本会と都道府県産婦人科医会の連携強化を図るため、都道府県産婦人科医会の基本情報等を統一書式で一覧化した地域連携のページを開設した。

さらに災害対応等会員への迅速な情報提供のしくみの構築の検討を開始した。おりしも年度末には新型コロナウイルス感染症等でHPを使用して会員に情報発信を行い一定の成果を得たが、今後さらに会員の登録増加を図るとともに、さらに即時性の高い仕組みを検討することが重要であることが浮き彫りとなった。

産科医療の集約化そして働き方改革などにICTを利用して対応するため、遠隔医療プロジェクトチームと協働して昨年度より周産期領域での遠隔医療の推進検討を進め、妊婦胎児管理や妊婦健診（血圧ホームモニタリング在宅・遠隔胎児モニタリング等）にインターネットを利用した遠隔医療の科学的根拠に関する研究事業を開始することができた。詳細は遠隔医療プロジェクト委員会で報告する。

### 1. ホームページ

リニューアルに引き続き、運用規約、更新マニュアルに基づき月約20回の定期的なコンテンツ更新を行った。集合会議に加えてWeb会議を用い、更新状況の確認、地域連携拡大事業、新たな情報発信の仕組みや遠隔医療プロジェクトチームとの協働について協議した。

#### 主要変更点

- (1) 研修の充実として、周産期、腫瘍、生殖、女性ヘルスケアを広くカバーする産婦人科ゼミナールを月1回のペースで更新した。新講座として「Dr石谷の女性医学四方山話」を開講した。
- (2) 女性の健康Q&A記事を女性保健部会の協力を得て拡充した。
- (3) 研修ノート、医療保険必携など本会で発行している冊子掲載したe-books、本会が主催する学術集会などの基調講演、記者懇談会のオンデマンド配信さらに会員登録することにより、パソコンでもスマホでもいつでもWeb上で閲覧可能とし、ページ構成などを更新しながら利便性の更新を図った。
- (4) HP地域連携拡大事業として全国47都道府県と本会HPを統一書式でリンクしに拡大する検討を行った。
- (5) 産婦人科医の背景変化による出産・育児や介護などによる雇用就業対策の一つとして、離職防止、復帰に向けた研修、再就職へのリクルートサイトを検討した。
- (6) 会員へのより迅速な情報発信や双方向での情報交換などの仕組みとしてSMSサービスの導入を検討した。
- (7) 労力削減のためアウトソーシングや広告掲載による実質的なコスト削減を図った。
- (8) インターネット上の誹謗中傷や風評被害に対する現状と対策について。

閲覧実績（令和2年3月31日現在）

1週あたり平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
セッション	95,672	118,672	97,018	94,318	92,521	100,164	103,474	120,113	111,381	95,196	82,540	79,022
ページビュー	211,878	253,379	245,553	235,124	134,189	131,574	136,950	135,109	124,615	129,242	114,826	109,124

セッション：サイトに訪問してから離脱するまでの一連の行動

ページビュー：サイト内のページが表示された数

更新実績（平成29年2月15日公開後の追加コンテンツ数、令和2年3月31日現在）

更新数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般向け	10	5	7	9	10	9	12	12	13	12	14	12
会員専用	6	9	3	3	1	2	1	2	0	4	7	6
合計	16	14	10	12	11	11	13	14	13	16	21	18

ホームページアカウント登録（会員登録）実績

期間	登録数
平成31年3月31日現在	2,202
令和2年3月31日現在	2,802

2. 記者懇談会の開催

原則として毎月第2水曜日の18時30分から日本記者クラブにおいて記者懇談会を開催した。また、記者懇談会小委員会で議論を行い、常務理事会と協働しテーマを決定した。動画配信も引き続き行い会員への情報提供拡大を図った。

(1) 記者懇談会の開催状況

回	開催日	テーマ	担当
130	H31. 4.10	日本産婦人科医会として産後ケア事業／産婦健診事業に取り組んでいくために	鈴木俊治常務理事 角田隆医業推進委員会委員長
131	R1. 5. 8	(1) 産科医療機関における妊産婦メンタルヘルスケア普及活動 (2) 育児支援活動	相良常務理事 関沢常務理事 星幹事
132	R1. 6.12	「性教育の新たなスタートへ向けて－行政、教育現場とともに歩む」 (1) 性教育の現状と問題点 (2) 東京都のモデル事業から－教育委員会と連携した性教育 (3) 東京都中学校における性教育モデル授業実施の事例	安達常務理事 吉野一枝東京産婦人科医会理事 江夏亜希子女性保健委員会委員

133	R1. 7.10	「HPV ワクチンの最近の話題」 (1) HPV ワクチン接種再開に向けての産婦人科医会の活動と地域における草の根運動 (2) HPV ワクチン接種の積極的勧奨再開にブレーキをかけている要因 二つの訴訟と報道	鈴木光明常務理事 石渡副会長
134	R1. 9.11	新生児聴覚検査とその公的補助の重要性について	関沢常務理事 宇佐美真一信州大学医学部耳鼻咽喉科学教授 山岡美穂長野県難聴児支援センター支援員
135	R1.10.16	働き方は改革できる！？ 分娩取扱施設の長時間労働（在院）に関連する要因とその対応 三重県における周産期医療提供体制	中井常務理事 二井栄三重県医師会副会長
136	R1.11.13	「母体安全への提言2018・産科医療の質の改善・医療事故調査制度の現状と課題」	長谷川副幹事長 石渡副会長氏
137	R1.12.11	成育基本法と日本産婦人科医会 －妊娠時の母子関係から生後、成育過程へむけた女性の健康支援について－	平原副会長 松田副幹事長
138	R2. 1. 8	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた感染症対策 “風疹ゼロ”プロジェクト－日本産婦人科医会のとりのくみから－ インバウンド感染症と産婦人科診療－2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて	平原副会長 早川智日本大学医学部病態病理学系微生物学分野教授
139	R2. 2.12	①加速する少子化社会における産科医の働き方 労働時間規制はクリアできるのか 外勤の実態も明らかに ②妊産婦の皆様へ 新型コロナウイルス感染症	中井常務理事 関口勤務医委員会委員 倉澤幹事
140	R2. 3.11	新型コロナ感染症拡大のため延期	

## (2) 記者懇談会小委員会

小委員会を令和元年12月11日、本会会議室で開催し、年間計画、今後のテーマ案、参加者の拡大、運営方針など検討した。

## 3. 委員会

委員会を開催し、ホームページのリニューアルコンテンツ、記者懇談会のテーマ、遠隔医療について検討した。コスト削減、働き方改革のため、広報（IT関係）委員会の開催は3カ月に一回程度とし、集合会議を開催しない場合にはWeb会議を開催し協議を行った。

第1回 平成31年4月24日 本会会議室

出席者：福嶋委員長 他10名

報告事項と協議事項

- (1) 記者懇談会について
- (2) 日本産婦人科医会HPについて
- (3) その他

第2回 令和元年5月17日 Web会議

出席者：福嶋委員長 他6名

報告事項と協議事項

- (1) 記者懇談会について
- (2) 日本産婦人科医会HPについて
- (3) その他

第3回 令和元年6月10日 Web会議

出席者：福嶋委員長 他5名

報告事項と協議事項

- (1) 記者懇談会について
- (2) 日本産婦人科医会HPについて
- (3) その他

第4回 令和元年7月11日 Web会議

出席者：福嶋委員長 他6名

報告事項と協議事項

- (1) 記者懇談会について
- (2) 日本産婦人科医会HPについて
- (3) その他

第5回 令和元年9月2日 Web会議

出席者：福嶋委員長 他7名

報告事項と協議事項

- (1) 記者懇談会について
- (2) 日本産婦人科医会HPについて
- (3) その他

第6回 令和元年10月7日 Web会議

出席者：福嶋委員長 他4名

報告事項と協議事項

- (1) 記者懇談会について
- (2) 日本産婦人科医会HPについて
- (3) その他

第7回 令和元年11月14日 本会会議室

出席者：福嶋委員長 他6名

報告事項と協議事項

- (1) 記者懇談会について

- (2) 日本産婦人科医会HPについて
- (3) その他

第8回 令和元年12月2日 Web会議

出席者：福嶋委員長 他8名

報告事項と協議事項

- (1) 令和2年度事業計画（案）について
- (2) 記者懇談会について
- (3) 日本産婦人科医会HPについて
- (4) その他

第9回 令和2年1月6日 Web会議

出席者：福嶋委員長 他6名

報告事項と協議事項

- (1) 令和2年度事業計画（案）について
- (2) 記者懇談会について
- (3) 日本産婦人科医会HPについて
- (4) その他

第10回 令和2年2月3日 Web会議

出席者：福嶋委員長 他6名

報告事項と協議事項

- (1) 令和2年度事業計画（案）について
- (2) 記者懇談会について
- (3) 日本産婦人科医会HPについて
- (4) その他

第11回 令和2年3月2日 Web会議

出席者：福嶋委員長 他6名

報告事項と協議事項

- (1) 記者懇談会について
- (2) 日本産婦人科医会HPについて
- (3) その他

#### 4. 遠隔医療プロジェクト委員会の設置と活動

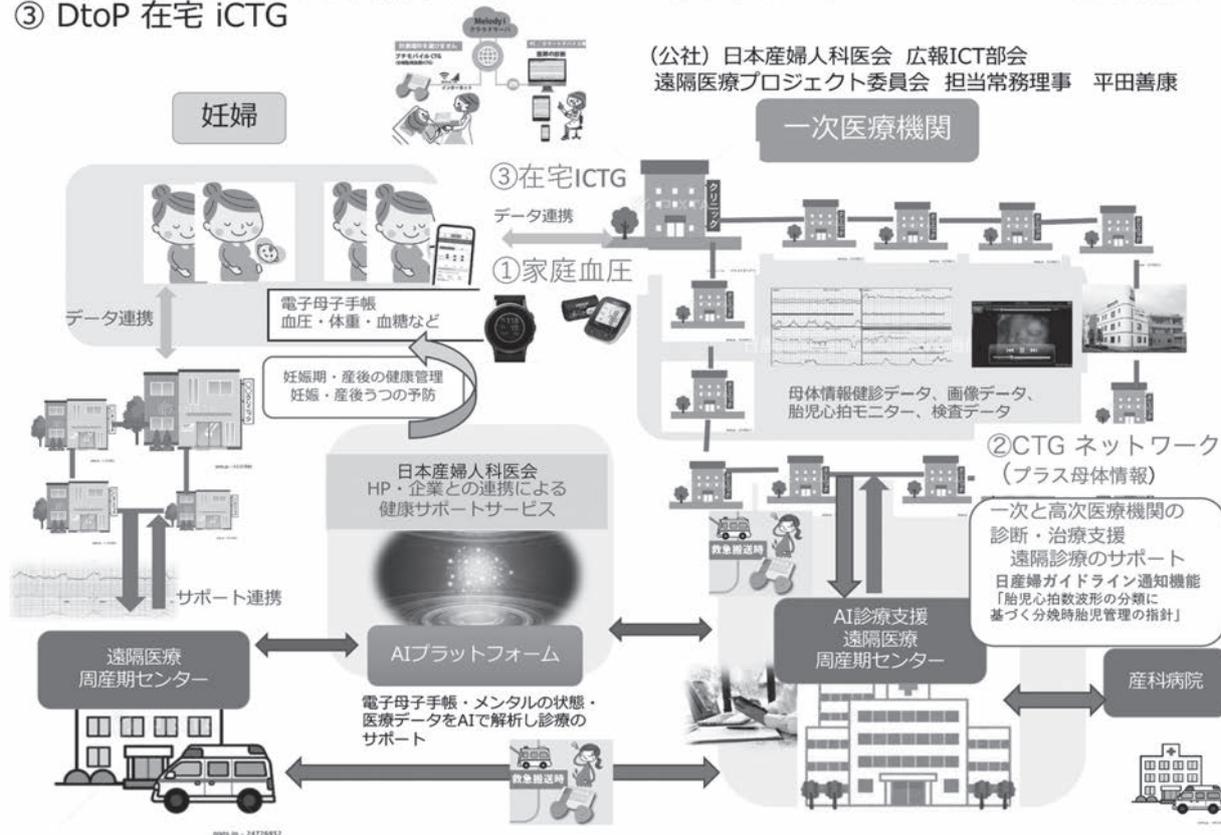
国策であるICTを用いた遠隔医療の推進に対応すべく、本会では平成30年9月に遠隔医療プロジェクト委員会を立ち上げ、広報（IT関係）委員会と協働して、会員への遠隔医療の啓発を進め、妊婦胎児管理や妊婦健診に遠隔医療の科学的根拠に関する検討および実証研究を開始するとともに、オンライン診療の適正な診療報酬の獲得に向けて医業推進委員会とともに活動した。

本年度は、去年の議論を発展させ、妊産婦遠隔診療に向けた家庭血圧の基準値策定に関する研究開発、胎児心拍数陣痛図ネットワーク化によるD to D遠隔医療の標準化と有効性に関する研究、遠隔CTGモニタによる在宅real time胎児サポートシステム確立に向け

た検証、ICTを活用した産科医師不足地域に対する妊産婦モニタリング支援CTGネットワーク、コールセンターと電子母子手帳を用いた妊産婦・子育て女性見守りによる継続可能な社会的支援の確立を軸に、大学とともに検討を進め、家庭血圧並びに遠隔CTGモニタを用いた研究事業を開始した。

## 2020 産科診療における遠隔医療の導入 妊産婦モニタリング

- ① DtoP家庭血圧など妊婦管理 ② DtoD CTGネットワーク・DtoD iCTG 救急搬送  
③ DtoP 在宅 iCTG



その結果、

- (1) 妊婦健診、HDPの早期抽出を目的とした、家庭血圧の標準値の確立は、令和2年1月に、埼玉医大川越医療センターでIRB倫理委員会を通過した。オムロンの自動血圧計を医会から219台貸与、川越医療センターが331台購入予定、すでにリクルートも始まっている。共同研究施設として、北は北海道大学病院、南は宮崎大学まで、弘前大学、愛媛大学、兵庫県パルモア病院、埼玉県より愛和病院など選定し、埼玉医大総合医療センター産婦人科の一般研究費そして本会からの助成を用いて開始した。
- (2) CTGネットワークに関しては、本年度本会からの助成なく、「働き方改革、ICTを活用した産科医師不足地域に対する妊産婦モニタリング支援」の助成金の獲得を目指したが、今期は、全国的に進展がなかった。国も都道府県も周産期医療体制を集約化に向けて、大きく舵を取ろうとしているが、地方でも都会でも、小規模診療所を含めた地域連携体制の構築がこれまで以上に必要であり、宮崎県と埼玉県の共同研究を進めるため、安全・安心な妊産婦管理の助成金獲得を目指している。

- (3) 「遠隔胎児心拍数陣痛図を用いた在宅リアルタイム 胎児サポートシステム確立に向けた予備的研究」在宅iCTGの実証研究は、令和2年3月に埼玉医大の倫理委員会を通過した。(株)メロディーインターナショナルと機器30台の貸与契約を結び、遠隔医療プロジェクト委員会メンバーの所属する、埼玉医科大学病院を中心として、埼玉医大総合医療センター、東京大学病院、東京医科大学病院、宮崎大学病院、奈良県立医科大学病院および三重県、福岡県、埼玉県、東京都、群馬県、神奈川県の会員開業医と協力して、実証研究を開始した。

## 5. 遠隔医療プロジェクト委員会

第1回 令和元年7月16日 本会会議室

出席者：平田常務理事 他14名

報告事項と協議事項

- (1) 委員追加に関する件
- (2) 平成31(2019)年度事業計画に関する件
- (3) 妊婦における家庭血圧の基準値の作成に関する件
- (4) ICTGに関する件
- (5) 胎児心拍数陣痛図ネットワーク化によるD to D遠隔医療の標準化と有効性に関する研究に関する件
- (6) 簡易シークエンサーによる遠隔遺伝子診断に関する件
- (7) 遠隔ロボット支援下手術に関する件
- (8) 遠隔医療の戦略的考察2に関する件
- (9) オンライン診療の適切な実施に関する指針(平成30年3月)以後のオンライン診療をめぐるこの1年の動き(厚生労働省HPより)と本会の対応に関する件
- (10) 医療保険に関する件
- (11) 医業推進に関する件
- (12) 日本産婦人科医会学術集会木下会長講演に関する件
- (13) その他

第2回 令和2年1月7日 本会会議室

出席者：平田常務理事 他13名

協議事項

- (1) 令和元年10月22日 遠隔医療プロジェクト実証研究事業推進
- (2) 妊産婦遠隔診療に向けた家庭血圧の基準値策定に関する研究開発
- (3) 胎児心拍数陣痛図ネットワーク化によるD to D遠隔医療の標準化と有効性に関する研究(D to D)
- (4) 遠隔CTGモニタによる在宅real time胎児サポートシステム確立に向けた検証  
(D to DおよびD to P) iCTGの導入検証
- (5) ICTを活用した産科医師不足地域に対する妊産婦モニタリング支援  
CTGネットワーク 全国の動向と埼玉県の進捗状況
- (6) コールセンターと電子母子手帳を用いた妊産婦・子育て女性見守りによる

継続可能な社会的支援の確立

：行政と医療、民間が連携した妊産婦の積極的な見守り実証

：5Gを用いたCTG、超音波、医師同士画像の同時伝送実験

- (7) 「データヘルス時代の母子保健情報の利活用に関する検討会」  
中間報告書（抜粋について）
- (8) 令和2年度事業計画（案）
- (9) その他
- (10) 医療保険に関する件
- (11) 医業推進に関する件
- (12) 日本産婦人科医会学術集会木下会長講演に関する件
- (13) その他

## 6. 遠隔医療プロジェクト実証研究事業推進打合せ

令和元年10月22日 本会会議室

出席者：平田常務理事 他5名

協議事項

- (1) 実証研究について
  - 1) 血圧
  - 2) CTGネットワーク
  - 3) 遠隔CTG
  - 4) 新たにCTGネットワークと母体情報
- (2) ICTを活用した産科医師不足地域に対する妊産婦モニタリング支援
- (3) コールセンターと電子母子手帳を用いた妊産婦・子育て女性見守りによる  
継続可能な社会的支援の確立
- (4) その他

## 7. 遠隔医療プロジェクト関連講演会

第46回日本産婦人科医会学術集会 東京（2019.10.13） 台風19号のため中止

AIでも超えられない産科医療 木下勝之会長

滋賀県産婦人科医会70周年特別公演 滋賀（2020.1.18）

ICTとAI時代における産科医療 木下勝之会長

## C. 法制・倫理部会

### 1. 母体保護法の適正な運用のための会員への対応

母体保護法等の内容、運用上の問題点について会員等からの質問や確認事項についてその都度対応し、母体保護法の適正なる運用を図った。

本年度は34件の質問や確認事項について対応した。

### 2. 「家族計画・母体保護法指導者講習会」への協力

日本医師会、厚生労働省共催による令和元年度の“講習会”について、事前の打合会に参加し、プログラム（企画等）や会員への広報（日産婦医会報10月号）などに全面的に協力した他、講習会の概要を日産婦医会報1月号にて報告した。

---

#### 令和元年度 家族計画・母体保護法指導者講習会

日 時：令和元年12月7日（土）午後1時～4時

場 所：日本医師会館

講 演：テーマ「母体保護法指定医師が知っておくべき法律知識  
－よく寄せられる質問・疑問に答えます－」

#### （1）妊娠週数をめぐって

：落合 和彦（東京慈恵会医科大学客員教授／東京都医師会理事）

#### （2）現在の母体保護法下での指定医師育成について

：前田津紀夫（前田産科婦人科医院院長／日本産婦人科医会副会長）

#### （3）母体保護法の同意について

：平岩 敬一（日本産婦人科医会顧問弁護士／関内法律事務所）

#### （4）指定発言－行政の立場から（最近の母子保健行政の動き）

：小林 秀幸（厚生労働省子ども家庭局母子保健課長）

---

### 3. 法制・倫理に関する諸問題への対応

母体保護法をはじめとする医事法制や医療倫理の諸問題に対応するため、日本医師会、日本産科婦人科学会（倫理委員会）と密接な連携を図り、遺漏なきを期した。

### 4. 法制委員会

第1回 令和2年2月8日 本会会議室

出席者：東委員長 他9名

協議事項

（1）令和2年度事業計画・予算（案）に関する件

（2）令和元年度事業報告（案）に関する件

（3）その他

### 5. 倫理委員会

本年度は倫理委員会を2回、通信による迅速審査を2回開催し、以下の調査研究に関して審査した。

（1）わが国における妊娠中の子宮頸部細胞診異常とHPV感染の関連に関する実態調査

(迅速)

- (2) 産婦人科勤務医の待遇改善と女性医師の就労環境に関するアンケート調査 (迅速)
- (3) 妊産婦死亡評価報告書についてのアンケート調査
- (4) 産婦人科施設情報調査 (迅速)
- (5) 自然および人口流産手術実態のアンケート調査
- (6) 子宮内膜悪性腫瘍検出における一部仕様を変更したLC-1000 (剥離細胞分析装置) の有用性に関する多施設共同試験
- (7) 新生児聴覚スクリーニング検査に関するアンケート調査
- (8) 妊産婦メンタルヘルスケア推進に関するアンケート調査

## IV. 学術部

### A. 先天異常部会

わが国唯一の先天異常児出生の監視機構として、日本産科婦人科学会、日本先天異常学会や国際学会において、集計結果から得た本邦の先天異常児出生実態を報告した。

#### 1. 外表奇形等調査・分析の継続

(1) 日母おぎゃー献金基金からの援助を得て継続している「全国外表奇形等調査」を、本年度も四半期毎に行った。

(2) 平成30年の調査結果を横浜市大国際先天異常モニタリングセンターでまとめ、統計学的、疫学的な分析を加え、「平成30年度外表奇形等統計調査結果」としてまとめた。

(3) 調査結果発表（関連を含む）

1) 令和2年7月26日 第59回日本先天異常学会（愛知）

倉澤健太郎、浜之上はるか、宮城悦子、平原史樹：日本産婦人科医会先天異常モニタリング解析について。第59回日本先天異常学会学術集会，愛知，2019.7.26-2

令和2年7月26日 The 13th World Congress of the International Cleft Lip and Palate Foundation -CLEFT 2019 Symposium（愛知）Kurasawa K Fujimori K, Yamanaka T, Hamanoue H, Sugo Y, Miyagi E, Hirahara F, Kinoshita K Monitoring of Congenital Anomaly in Japan

#### 2. 国際協力

(1) 国際先天異常監視研究機構（ICBDSR）日本支部を通じてICBDSRの事業に協力した。

(2) Web回線を用いた情報交換を絶えず行い、本邦のデータを送信し、国際先天異常モニタリングセンター調査事業に加わり活動を行った。

#### 3. 胎児異常診断調査の継続

胎児異常診断のアンケート調査を継続し、妊娠22週未満における胎児異常診断の現況を把握し、検討した。回答率は40.2%で、超音波診断では胎児水腫、無脳症・無頭蓋・頭蓋形成不全、21トリソミー、頸部リンパ管腫等が主にあげられた。

#### 4. 福島原発事故に関する調査

平成23年3月に発生した東日本大震災並びに原発事故による放射線被曝の影響の状況有無を調査するために、福島県産婦人科医会の協力を得て県内の全分娩施設から先天異常モニタリング調査に参加していただくことができた。現在解析中であり、結果を報告する予定となっている。現状では明らかな先天異常の増加傾向は示されていない。引き続き調査を継続する。

5. 環境汚染物質（ダイオキシン、PCBなど）の影響で発生すると考えられる特定の奇形の地域分布、増減の分析を継続的に行った。
6. 新しい出生前診断（NIPT）について  
NIPTコンソーシアムの動向を把握し、実施施設や実績等に関する情報収集、情報提供を行った。
7. 風疹排除に向けた対応－“風疹ゼロ”プロジェクト 2017、2018、2019、2020  
平成25年度の風疹流行とCRS発生数増加を受け、厚生労働省が掲げた目標である2020年度までの風疹排除に向けて、実効ある施策の実行の要望書を学会と共同で厚生労働省へ提出した。学会や各地の講演会において、風疹排除に関する啓発を積極的に行った。また、会員に向けて、予防接種や風疹抗体検査の更なる実施について改めて情報発信した。  
平成29年から2月4日を風疹（ゼロ）の日と定めて関係学会、組織とともに“風疹ゼロ”プロジェクトを開始した。令和2年2月4日には厚生労働省、国立感染症研究所とともに有楽町駅前広場で啓発イベントを実施した。
8. 葉酸摂取の重要性の啓発  
葉酸摂取の重要性の啓発に関する情報提供等を継続して行った。
9. インフルエンザ罹患（疑いを含む）妊産婦の実態把握  
インフルエンザに関連した妊産婦および新生児の予後についての実態について、継続して調査を行った。
10. 先天性代謝異常検査事業の継続について  
厚生労働省よりのタンデムマス・スクリーニング法の積極的導入につき各自治体へ通知されたことに伴い、各都道府県における導入につき日本マススクリーニング学会の調査推進事業に併せて実態の把握と課題の検討を行い引き続き本事業の普及に努めた。
11. わが国および世界各国の先天異常発生状況の比較・検討  
国際先天異常監視研究機構（ICBDSR）クリアリングハウス調査結果の一部を、本会ホームページに掲載し、わが国との発生状況上の比較、検討結果を掲載した。
12. 厚労行政および関連団体との協力並びに情報交換  
母子保健推進のために、厚生労働省、日本医師会、日本産科婦人科学会、日本マススクリーニング学会、日本先天異常学会、家族計画関係団体、女性保健関係団体との協力、情報交換等を行った。
13. 委員会  
本年度は下記のごとく、先天異常委員会を2回開催した。  
第1回 令和元年6月17日 本会会議室  
出席者：竹下委員長 他11名  
協議事項  
(1) 令和元年度事業の推進に関する件

(2) 令和元年度タイムスケジュール（案）に関する件

第2回 令和2年2月17日 浜松町東京會館

出席者：竹下委員長 他8名

協議事項

- (1) 令和2年事業の推進に関する件
- (2) 令和2年度タイムスケジュール（案）に関する件
- (3) マスククリーニングに関する周知依頼に関する件

## B. 研修部会

研修部会では、医療の進歩への対応と事故防止を念頭におきつつ、様々な疾病・状態に対して、良質で最新の医療情報を会員に提供していくことを目標としている。このために本年度も様々な情報提供手段を用いながら、的確かつ迅速に効率のよい研修方法を供給していくように事業を推進してきた。

具体的事業として、例年通り、研修資料（研修ノート、研修ニュース）の作成、最新医療の紹介（日産婦医会報学術欄）、医会ホームページや日産婦医会報等を用いた迅速な情報提供や医会eラーニング導入への協力、日本産科婦人科学会学術講演会、日本産婦人科医会学術集会の生涯教育プログラムにおける企画、協力、並びに資料作成、産婦人科診療ガイドライン作成への協力を行っている。医会の看板である研修ノートは、発刊1年後のものからスマホで非会員にも無料閲覧可能として、好評を得ている。

### 1. 研修資料の作成

#### (1) 令和元年度会員研修ノート（下記1）～2））

##### 1) 「産科異常出血への対応」(研修ノートNo.103)

分担執筆（19名）による原稿を研修委員会で校正し、令和2年1月に研修ノートを各都道府県産婦人科医会と全会員へ配布し、会員用HPに掲載した。

##### 2) 「外国人患者への対応と留意点」(研修ノートNo.104)

分担執筆（20名）による原稿を研修委員会で校正し、令和2年3月に研修ノートを各都道府県産婦人科医会と全会員へ配布し、会員用HPに掲載した。

#### (2) 令和2年度会員研修ノート（下記1）～2））

昨年度に選定された令和2年度研修テーマ下記2題について、会員研修に有効活用されるような内容になるよう項目を検討し執筆を依頼した。

##### 1) 「女性のがんサポーターケア」(研修ノートNo.105)

執筆者：分担執筆者（30名）

##### 2) 「思春期のケア」(研修ノートNo.106)

執筆者：分担執筆者（18名）

### 2. 令和3年度研修テーマの選定

令和3年度の会員研修テーマとして下記2題を選定した。なお、執筆者については、研修委員会にて執筆項目を作成してから選定することとした。

#### (1) 「周産期医療における災害時対応」(No.107)

執筆者：未定

#### (2) 「裁判事例から学ぶ」(No.108)

執筆者：未定

### 3. 生涯教育への協力

第71回日本産科婦人科学会学術講演会（平成31年4月14日）において、生涯研修プログラム「母体安全への提言から～妊産婦死亡の新たな主原因を探る～」、「産科医療補償制度再発防止に関する報告書から～胎児機能不全を見逃さないためには～」についておよ

び「ハンズオンセミナー：児頭最大周囲径の位置を正確に評価するためには？～急速遂娩シミュレーション講習～」のプログラムの企画に協力および講演要旨を作成して、参加者全員に配布した。また、講演内容をまとめ、医会HPに掲載した。

第72回日本産科婦人科学会学術講演会（令和2年4月26日）において、生涯研修プログラム「周産期の医療安全への取り組みと改善」、「無痛分娩における安全管理体制の構築のために」および「ハンズオンセミナー：児頭の位置を正確に評価するためには？～鉗子遂娩術シミュレーション講習～」についてのプログラムの企画に協力および講演要旨を作成する準備をした。

#### 4. 学術研修情報の提供

(1) 昨年度作成した研修ノートNo.101、102は一年が過ぎたので、一般向けの医会HPに掲載した。

また、本年度作成した研修ノートNo.103、104を会員向けの医会HPにも掲載した。

(2) 日産婦医会報「学術欄」の担当

広報部会ははじめ関連各部の協力を得て、研修委員会がテーマ、執筆者の選定を行い、原稿の内容を検討した上で、日産婦医会報「学術欄」に以下を掲載した。

－平成31年－

4月号 慢性子宮内膜炎の診断と治療

－令和元年－

5月号 トキソプラズマ初感染が疑われる妊婦への対応

6月号 自己免疫疾患罹患女性の妊娠・出産を産婦人科医と内科/リウマチ医で妊娠する前からサポートする体制作り－プレコンセプションケアの推進－

7月号 梅毒

8・9月号 妊産褥婦におけるA群溶連菌感染症の取り扱いについて

10月号 周産期からの虐待予防

11月号 子宮頸部嚢胞性病変の取り扱い

12月号 周産期メンタルヘルスコンセンサスガイド2017の解説

－令和2年－

1月号 GnRHアンタゴニスト（レルゴリスク）使用上の注意とコツ

2月号 母子同室実施の留意点について

3月号 妊婦への百日せきワクチン接種

5. 「産婦人科診療ガイドライン産科編・婦人科編」の2020年版発刊の最終準備をするべく、項目・内容を見直し、新規のQ&A項目や内容の追加を検討・協議した。産科編評価委員会1回、産科編コンセンサスミーティング3回、および婦人科外来編コンセンサスミーティングを2回開催した。

#### 6. 委員会

以下のごとく委員会を4回開催し、その他打合会を1回開催した。

また適宜メールやファックスを利用した通信会議も行った。

第1回 令和元年5月30日 本会会議室

出席者：小林委員長 他17名

協議事項

- (1) 令和元年度研修部会の事業推進に関する件
- (2) 日産婦医会報「学術欄」のタイトル・執筆者案に関する件
- (3) 研修ノートNo.103、104のゲラ原稿校正に関する件
- (4) 研修ノートNo.105、106の項目・執筆者案に関する件
- (5) 令和3年度会員研修テーマ案選定に関する件

第2回 令和元年6月26日 本会会議室

出席者：小林委員長 他14名

協議事項

- (1) 研修ノートNo.103、104のゲラ原稿校正に関する件
- (2) 研修ノートNo.105、106の項目・執筆者案に関する件
- (3) 令和3年度研修テーマのタイトル案に関する件
- (4) 日産婦医会報「学術欄」のタイトル・執筆者案に関する件

第3回 令和元年9月11日 本会会議室

出席者：小林委員長 他14名

協議事項

- (1) 日産婦医会報「学術欄」のタイトル・執筆者案に関する件
- (2) 研修ノートNo.103、104のゲラ原稿校正に関する件
- (3) 研修ノートNo.105、106の項目・執筆者最終案に関する件
- (4) 令和3年度研修テーマのタイトル案に関する件

第4回 令和元年11月22日 本会会議室

出席者：小林委員長 他10名

協議事項

- (1) 日産婦医会報「学術欄」のタイトル・執筆者案に関する件
- (2) 研修ノートNo.103、104のゲラ原稿校正に関する件
- (3) 研修ノートNo.105、106の項目・執筆者最終案に関する件
- (4) 令和3年度研修テーマのタイトル案に関する件
- (5) 次年度、令和2年度研修部会の事業計画案に関する件

## V. 医療部

### A. 医療安全部会

会員が安心して安全な産婦人科医療が行えるように、また国民がそれを享受できるようにすることを目的に医療安全に関連した事業に取り組んだ。本年から、日本母体救命システム普及協議会の活動が本部会の事業となった。また、会員支援についての活動にも積極的に取り組んだ。妊産婦死亡報告事業、偶発事例報告事業等は継続して取り組んだ。

#### 1. 母体救命法普及運営事業

##### (1) J-MELS講習会の開催・活動支援

母体救命法普及運営事業として日本母体救命システム普及協議会（J-CIMELS）で定めたプログラムを用いた研修会の開催を通じて全国での母体救命法の普及を推進するとともに、受講者の認定・更新などの業務を行った。また、認定要件の確定、プログラムの更新などの学術活動をJ-CIMELSに委託して検討した。なお、J-CIMELS設立7団体の一翼を担う立場から、J-CIMELSに委員を派遣し、学術活動に協力・支援した。また、硬膜外鎮痛急変対応コースは、無痛分娩関係学会・団体連絡協議が「無痛分娩の安全な診療のための講習会」カテゴリ B相当として認められている。

令和元年度の研修会の開催状況は以下の表の通りである。しかし、10月は台風19号の接近により研修会が中止になった。また、2月後半から3月にかけては、COVID-19感染拡大の影響で殆どの研修会が中止となった。J-CIMELS設立以来のJ-MELSベーシックコースの総受講者数は15,146人（2020.3末現在）である。

	令和元年度		事業開始～2020.3月	
	コース数	受講者数	コース数	受講者数
ベーシックコース	255回	4,374人	818回	15,146人
ベーシック・インストラクターコース	18回	287人	89回	1,783人
アドバンスコース	13回	117人	42回	414人
硬膜外鎮痛急変対応コース	7回	101人	18回	257人

#### 2. 無痛分娩関係学会・団体連絡協議会（JALA）の活動支援

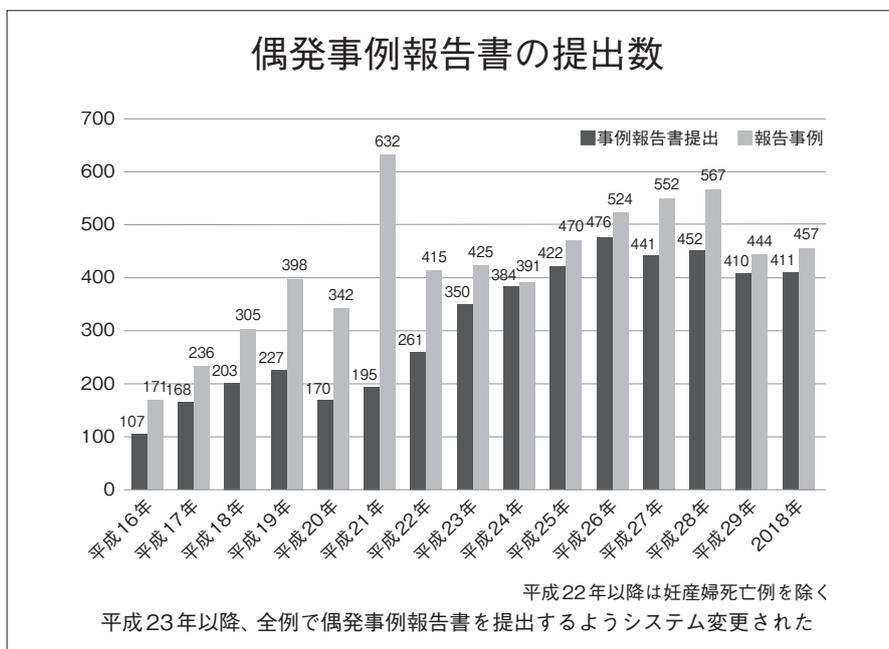
2020年3月まで本会に事務局が設置されていた。事務局活動とともにJALA設立団体の一翼を担う立場から、無痛分娩の安全性確保に向けての活動に協力・支援した。市民公開講座（2月23日）はCOVID-19感染拡大防止対策のため中止された。

#### 3. 事例収集および解析事業

偶発事例報告事業、および妊産婦死亡報告事業を継続し、その充実、定着、並びに報告データの活用を図った。

(1) 偶発事例報告事業

2018年に発生した事例の集計を行うとともに、報告事例について分類した上で原因ごとに分析・検討を行い、担当者連絡会で報告した。



### 2018年偶発報告411事例の内訳

診療分野	事例数	(%)	前年
妊娠・分娩に関わる事例	299	72.7%	74.0%
婦人科診療に関わる事例	98	23.8%	24.1%
不妊症診療に関わる事例	14	3.4%	1.9%
合計	411		

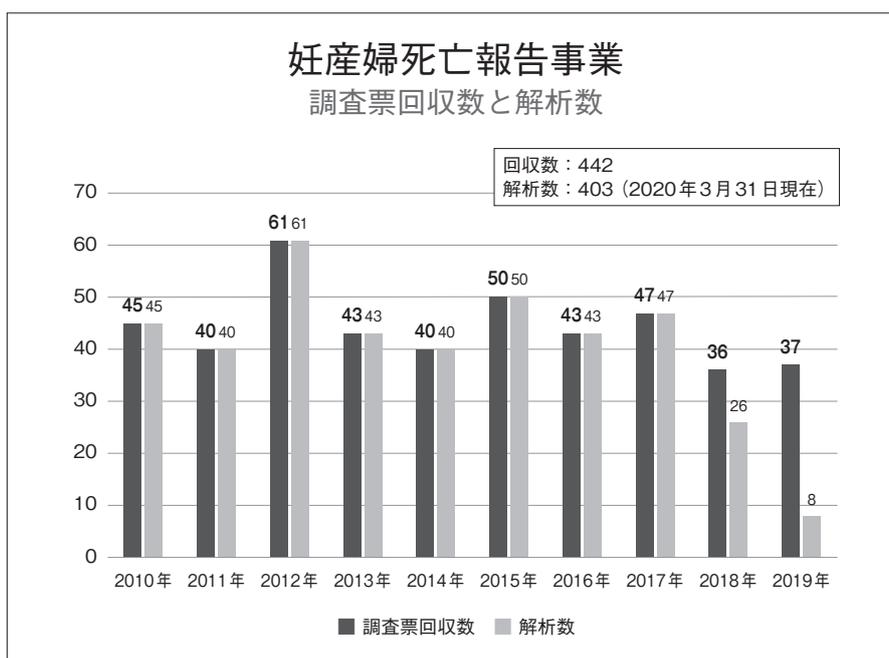
事例対象	計	因果不明	予後不明	自然軽快	治療軽快	後遺障害	脳性麻痺	死亡
妊産褥婦	146	6	20	2	104	14		0
胎児・新生児	161	3	17	2	10	8	28	93
非妊娠婦人	110	7	11	3	63	15		11
合計	417	16	48	7	177	37	28	104

2018年の妊産婦死亡報告事業に報告され40事例を除く

重複報告あり

(2) 妊産婦死亡報告事業

妊産婦死亡事例情報を引き続き収集し、妊産婦死亡症例検討評価委員会（池田委員長）と協働して一例ずつ事例検討を行い、事例報告書を当該分娩機関に送付した。



また、例年通り「母体安全への提言」を妊産婦死亡症例検討評価委員会とともに作成し、ホームページで公開した。

母体安全への提言2018 ※Web検索ワード「母体安全への提言」

提言1：妊産婦の意識障害を早期に認識し、全身状態の悪化に対応できるようにする

提言2：致死的心血管合併症のリスクと好発時期を知り、予防や早期診断を心がける

1) 合併症リスクを知る上で、家族歴や既往歴の聴き取りは重要である

2) 息切れ・動悸・浮腫は、正常妊産婦が訴える症状であると同時に、心血管合併症の症状であることに留意する

3) 心血管合併症の好発時期を知る

提言3：妊産婦死亡の稀な原因である合併症に対する診断・管理方法を学ぶ

提言4：1) 希死念慮の有無を確認することは自殺予防の第一歩である

2) 精神科治療歴のある妊産婦や精神症状を認める妊産婦は、精神科医療につなげた後も経過を見守り、積極的なかわりをつづける

提言5：Centor criteria に妊婦を+1点として追加する

提言6：J-CIMELSなどが主催する母体急変時の対応の講習会を受講し、母体急変時の対応に習熟する

参考：妊婦用に修正したCentor criteria

C	Cough absent	咳がないこと
E	Exudate	滲出性扁桃炎
N	Nodes	圧痛を伴う前頸部リンパ節腫脹
T	Temperature	38℃以上の発熱
OR	young OR old modifier	15歳未満または妊婦は+1点、45歳以上は-1点（但し妊娠中は-1点としない）

※詳細は「母体安全への提言2018」参照

#### 4. 会員支援

##### (1) 裁判

医療安全部会では、医療事故の中で刑事事件化された事案については全面的に会員支援を行う。また、学会・医会等から示された指針がない状況の中で、裁判所が独自の指針を出し、将来の医療に弊害をもたらす危険がある場合に支援した。

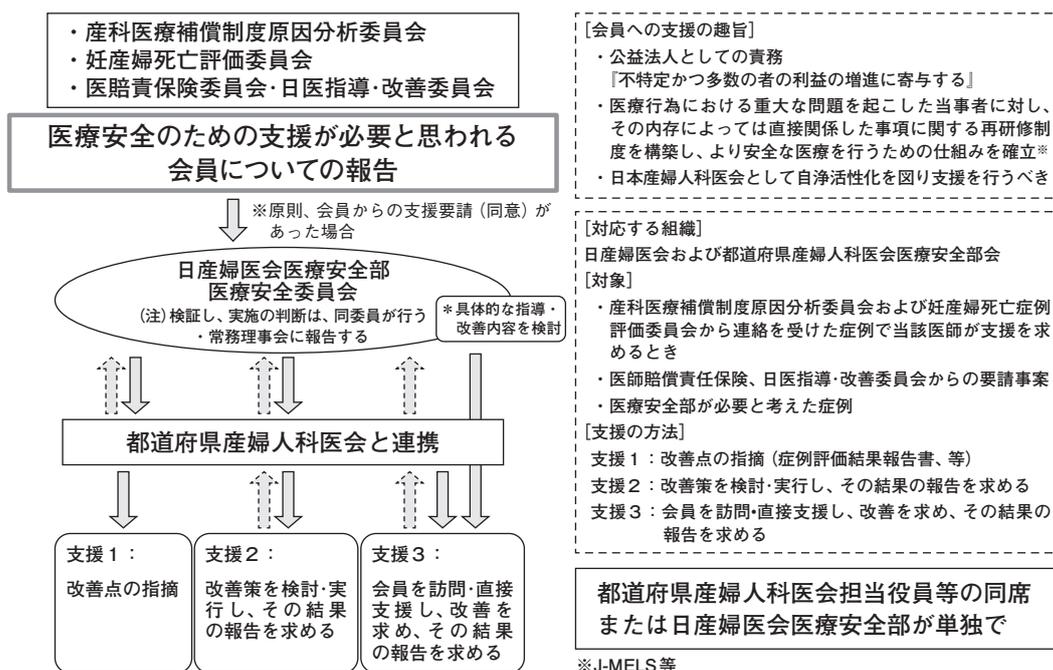
##### (2) 検察・警察

検察や警察からの一般的な事象についての相談を受け付けた。医療事故が刑事事件に発展することのないようガイドライン等に即した医療水準について説明を行った。

##### (3) 医療安全に向けての会員直接支援

都道府県産婦人科医会から所属する会員について相談があった場合に、医療安全部担当役員等が現地へ赴き、都道府県産婦人科医会と共に直接会員支援を行った。具体的な事案においては、改善や一般的な医療安全対策について話し合いの場を持った。

### 医療安全に向けての会員支援事業



##### (4) 産科医療補償制度との連携

日本医療機能評価機構と会員支援についての業務提携契約を行った。機構では、同様な医療行為による事例が複数発生した際に、指摘事項について一層の改善取組みを当該施設に対して要請し、半年後にその実施報告を求める対応を産科医療補償制度のなかで行ってきた。2020年4月以降、このような要請を実施する際に、医会で当該施設の改善に向けた取組みを支援することを案内し、書面で会員が医会への支援を要請できる仕組みを構築した。支援要請があった際には、機構から支援に必要な情報が医会に提供され、それに基づき医療安全部会では都道府県産婦人科医会と共同で当該施設（会員）を支援することになる。

## 5. 全国医療安全担当者連絡会

令和元年10月6日（日）12：45～16：30に日本産婦人科医会会議室において開催された。出席者は、木下会長以下73名。当日の連絡・協議事項は以下のとおりであり、詳細報告については、医会報第71巻10号No.824に掲載してある。

連絡・協議

- 1) 平成30年偶発事例報告
- 2) 母体安全への提言2018より
- 3) 脳性麻痺の予防と産科医療の質の改善に関するアンケート結果について
- 4) 母体救命システム普及協議会について
- 5) 無痛分娩関係学会・団体連絡協議会について
- 6) 提出議題

特別講演 医療事故を繰り返す医師“リピーター”対策について

## 6. 刊行物等

- (1) 母体安全への提言2018 Vol.9

提言内容については前述。

- (2) 胎児心拍数陣痛図の評価法と対応

4月の産婦人科診療ガイドライン産科編の改定に合わせて、内容を改定する準備を行った。

- (3) 日産婦医会報「シリーズ医事紛争」

委員と広報部会の協力を得て、関連冊子や判例体系などを利用して掲載した。

－平成31年－

4月号 産院における新生児取り違えの事例

－令和元年－

5月号 血友病Aである可能性の高い胎児に吸引分娩を施行し、児に後遺障害が残った事例

6月号 カンガルーケア実施中に心肺停止となり脳性麻痺に至った症例

7月号 DV夫の同意のない人工妊娠中絶手術の事例

8・9月号 耳管通気処置で心肺停止を起こし低酸素脳症となり死亡した事例

10月号 排卵誘発にhCGを使用しない黙示があったのに使用したとする契約違反の訴訟

11月号 海外での卵子提供妊娠で慰謝料が請求された事例

12月号 胎児心拍数陣痛図の判読に過失が認められた常位胎盤早期剥離での死産事例

－令和2年－

1月号 術後、右上肢カウザルギーの後遺障害が残存した症例

2月号 帝王切開時のガーゼ遺残で敗血症を発症し、損害賠償を請求された事例

3月号 品胎における1児死亡事案、緊急帝切か待機かが争われた事例

## 7. 委員会・部会

医療安全委員会を2回開催して事業運営を図った。

第1回 平成31年4月18日 本会会議室

出席者：池田委員長 他21名

協議事項

- (1) 妊産婦死亡症例評価報告書に対するアンケート（案）に関する件
- (2) J-CIMELS活動の臨床的な効果判定に関する調査（案）に関する件
- (3) 令和元年度全国医療安全担当者連絡会の開催等に関する件
- (4) 流産手術、子宮内膜搔爬術における安全性の提起に関する件 他

第2回 令和元年12月10日 北大路品川茶寮

出席者：池田委員長 他13名

協議事項

- (1) 医療安全に向けた会員支援事業実施要領案に関する件
- (2) 妊産婦死亡ニアミス事例解析による医療の質の改善事業（仮称）に関する件
- (3) 学術研修部からの研修ノートのテーマ（案）に関する件 他

## B. 勤務医部会

国による勤務医の働き方改革実施の期限は容赦なく迫ってくる。勤務医委員会では分娩に対応する産科医の勤務実態を明らかにするため、毎年全国の分娩取扱い施設を対象にアンケート調査を行っている。本年度は医師の兼業という新たな問題点を浮き彫りにすることができた。昨年指摘した回収率の地域差は一定の改善を認めたが、勤務医の実態を明らかにし、また就労環境を守るために極めて重要なデータである。本会全体として回収率のさらなる改善に御協力をいただきたいと考えている。

本年度は病院の健康経営という観点から、病院としての取り組みやその成果を紹介した。勤務時間の短縮を掲げているだけでは医療の質の低下にも繋がりがかねない。効率の良い就労環境を整備することの重要性、またそれによって本当の意味での勤務医の働き方改革を推進していかなければならない。

昨年度実施した女性医師懇談会に続き、働き方懇話会を開催した。ここには女性医師だけではなく、男性医師や他科の医師にも参加を求めた。個々の事情を踏まえて、自ら実践した働き方改革について語り、各々の経験や経緯を紹介していく中で、キャリアの継続など多岐にわたる興味深い話し合いの場とすることができた。

勤務医の状況がにわかに改善するかどうかについては様々な意見があるが、現状の把握と問題点の整理、さらには勤務医にも病院にも有用で有意義な提案をすることができるように、勤務医委員会として活動を継続していきたい。

### 1. 「勤務医ニュース (JAOG Information)」の作成・発行

勤務医の抱えている問題点・将来展望などについて広報した。令和元年度は2回発行した。

#### (1) 勤務医ニュースNo.77 (令和元年5月1日発行・12頁)

- ・医師の「働き方改革」法令化へ
- ・産婦人科勤務医の待遇改善と女性医師の就労環境に関するアンケート調査報告
- ・女性医師懇話会を開催して
- ・その他

#### (2) 勤務医ニュースNo.78 (令和2年2月1日発行・12頁)

- ・働き方改革とホワイト500
- ・働き方懇話会
- ・働き方改革：東京女子医科大学の取り組み
- ・その他

### 2. 委員会活動報告

#### (1) 産婦人科勤務医の待遇改善と女性医師の就労環境に関するアンケート調査

平成19年度に開始された本調査は本年度13回目となった。分娩取扱い病院1,020施設の産婦人科責任者に勤務環境を質問し、719施設から回答があり例年通り70%の回答率を得た。その結果を報告書「産婦人科勤務医の待遇改善と女性医師の就労環境に関するアンケート調査報告」にまとめ、令和元年12月に発行した。平成19年度と比較すると、分娩取扱い病院は2割減少し分娩数と医師数は集約化されている。施設あたり分娩数は昨年より微減、母体搬送受入数は不変、帝王切開率は過去最高の27.2%であった。

1カ月あたりの医師一人の当直回数は5.4回と不変、1カ月の推定在院時間は289時間と微減だが、過労死認定基準は超えたままである。当直翌日の勤務緩和施設の体制導入は36.6%と増えているが、緩和を100%実施している施設は全体の5%未満であった。さらに本年は初の試みとして常勤先でない外部病院での当直回数も調査し、1カ月平均3.4回という結果を得た。これは医師が複数の分娩取扱い施設の当直を担って産科医療を支えていることを意味する。しかし、分娩取扱い病院に勤務する育児中女性医師の45.9%は当直をしていないなど、女性医師の勤務形態の問題は継続している。フリーの医師は昨年と同様に男性9%、女性15%の割合で存在し、女性は30代のフリーが多く、フリーの理由の半数は育児であった。以上の内容は令和2年2月の記者懇談会で発表した。

## (2) 女性医師支援対策

女性医師の現状を把握して勤務環境改善を図るために、経年的に行っている「産婦人科勤務医の待遇改善と女性医師の就労環境に関するアンケート調査」を本年度も行い、有効な支援策へ繋げる提言を行った。院内保育所や夜間保育の設置が徐々に増えてきているものの夜間保育の利用はあまり進んでいない等の問題点が指摘された。

昨年度には女性医師懇話会を開催したが、本年度はより広い視点、すなわち働き方の問題は女性医師だけに限るものではないという立場から、「働き方懇話会」を様々な働き方の男女7名の医師の参加により11月23日に開催した。

育児中で非常勤として働きながらキャリアを繋いでいく工夫、働き方に融通は効きやすくともスキルアップしにくい環境での悩み、病気を抱えながら勤務した立場からの問題提起、などについて活発な議論がなされた。今後、男女問わず多様な働き方の選択肢が出てくるなかで、もてる能力を発揮してキャリアを築き産婦人科医療に貢献できるための課題を検討することができた。

以上の活動成果について勤務医ニュースに掲載し多くの会員に情報提供するとともに、本会ホームページ内で運営している「女性医師支援情報サイト」により、家庭と勤務との両立などの悩みに対応するための情報提供を行っている。

また、厚生労働省、日本医師会、日本産科婦人科学会等の各団体における活動に参画し、勤務医や女性医師に関連した各種施策について最新の動向を把握するとともに、本会の取り組みについて広報を行った。

## 3. 委員会

上記事業の円滑な推進を図るために勤務医委員会を3回開催した。

第1回 令和元年6月28日 本会会議室

出席者：木戸委員長 他11名

協議事項

- (1) 令和元年度事業推進に関する件
- (2) 勤務医ニュースNo.78の編集に関する件
- (3) 女性医師懇話会に関する件

第2回 令和元年11月1日 本会会議室

出席者：木戸委員長 他10名

協議事項

- (1) 産婦人科勤務医の待遇改善と女性医師の就労環境に関するアンケート調査報告に関する件
- (2) 働き方懇話会に関する件
- (3) 勤務医ニュースNo.78の編集に関する件
- (4) 令和2年度事業計画・予算に関する件

第3回 令和2年1月10日 サンス・エ・サヴール 丸の内店

出席者：木戸委員長 他11名

協議事項

- (1) 産婦人科勤務医の待遇改善と女性医師の就労環境に関するアンケート調査報告の冊子配布先に関する件
- (2) 令和2年度事業計画・予算に関する件
- (3) 勤務医ニュースNo.78の編集に関する件
- (4) 勤務医ニュースNo.79の編集に関する件
- (5) 令和元年度スケジュールに関する件

## C. 医業推進部会

医業推進部会は、産婦人科医業を行う上での様々な問題に対して、その問題点を抽出・検討し、その対応策について立案・提言を行い、医会員に周知徹底し混乱の起きないような情報提供体制の構築を目指すことを目的にしている。その目的を遂行するために、①無床診療所問題小委員会、②有床診療所問題小委員会の2つの小委員会を設けた。無床診療所問題小委員会は、都市部で増加しているいわゆるオフィスギネコロジークリニックの今後の収益増加、経営安定のための医業のあり方を検討した。有床診療所問題小委員会は、地域における周産期システムを守るために有床診療所の経営的基盤の安定を計り、質の高い医療サービスを提供することを検討した。さらに出産育児一時金の適切なあり方について検討し会員に情報提供するとともに、妊婦健診公費負担の全国一律化の実現を目指し、その対応策や問題点を検討した。以上の検討内容を会員に伝達するため全国医業推進担当者伝達講習会を準備した。

### 1. 無床診療所問題小委員会

無床診療所の医業経営の問題点について検討した。過去の調査等から無床診療所の収益が、他科と比較して保険点数が低いこと、慢性疾患が少ないことにより再診回数が少ないこと、委託費の占める割合が多いことなど収益構造が悪いことなどが明らかになった。また男性医師特に分娩取り扱いをやめた診療所の経営に課題が多いことが指摘されている。

これらの対策として保険診療分野では新規の産婦人科関連の管理料や指導料の新設を働きかけるとともに、他科との共通領域である慢性疾患の既存の管理指導料を取り込むなど取りこぼしのない診療を推進して小児や高齢者を取り込んでいくことが有効と考えられた。

自費診療分野では、がん検診の受診率を上昇させ、新規患者を呼び込む努力が有効とされた。また予防医学、特に予防接種や特定検診健診に積極的に参入し、かかりつけ患者の予備軍を取り込む努力も有効とされた。また日本医師会の提唱する「かかりつけ医制度」、日本産科婦人科学会および日本女性医学学会の養成する「女性のヘルスケアアドバイザー」の活用や収益の大きい在宅、訪問診療などの事業に産婦人科が進出できる工夫をしていくことが提案された。

なにより有効な収益の確保は婦人科受療率を上げるのが一番であり、それには業界全体で啓発して更年期、月経困難症、PMSなどの受診率の底上げを行ったり、また新しい領域としてオンライン診療やプレコンセプション・ケアを取り入れることが必要である。

これらの検討内容や有用な情報を全国医業推進担当者伝達講習会にて発表し、会員に情報を提供する予定であったが、伝達講習会が中止されたため、次年度適切な時期に実施することとした。

### 2. 有床診療所問題小委員会

- (1) 分娩を取り扱う有床診療所の問題について特に分娩・入院費のあり方について多角的に検討した。根拠となる1件当たりの分娩原価を算出するため、人件費を算出して分娩・入院に係る原価を求め、経費や施設維持費の積み上げによって正確で根拠のある分娩料金を算出した。この算出された適正な分娩原価に基づき分娩料金の適正な値上げが可能となるよう、提言をまとめた。

(2) 日本医師会有床診療所委員会に参加し、平成31年度の日本医師会有床診療所委員会答申中に日本産婦人科医会の意見を反映させた。

(3) 全国有床診療所連絡協議会（以下全国有診協）に積極的に参画し、全国有診協内における産科医の発言力を高めるため全国有診協未入会の会員に全国有診協の活動について伝達講習会を通じて詳細に紹介し、組織強化に協力した。

(4) 公的補助および医療行政に関する問題への対応  
公的補助および医療行政の諸課題について検討した。

1) 産後ケア事業・産婦健診事業の件

産後ケア事業・産婦健診事業の公費補助の正しいあり方の問題や行政と交わす契約の正しいあり方に関する問題を母子保健部会とともに検討した。産科施設が宿泊型産後ケア事業に取り組む上では、この事業に投入される公的補助の額が少なすぎることを明らかにした。また産科施設側の加入している賠償責任保険の内容が実際に産後ケア事業の際に適用されることを確認する必要があることも提案した。今後この事業がわれわれにとって経営を圧迫しない健全な事業となるためにはまだ課題が多いことを各種会議や講演で発信した。

2) 妊産婦医療費助成制度の普及に関する件

妊婦の自己負担増に端を発した妊婦加算の凍結問題に対して妊婦自身の負担を軽減する解決策の一つに妊婦医療費助成制度があることを発信した。この制度は、現時点では栃木県など4県でしか実施されていないため、全国に認知され普及していくことを狙い医業推進担当者伝達講習会や記者懇談会の場を借りて情報を提供した。

3. 令和元年度全国医業推進担当者伝達講習会

医業推進部会で検討した内容を提言にまとめ、それを会員に遅滞なく、正確に伝えるため、令和元年度全国医業推進担当者伝達講習会を準備したが、新型コロナウイルス感染の防止のため中止となった。

以下に計画案を示す。

プログラム

配布資料説明

- |  |         |
|--|---------|
| 1. 開会の辞  | 前田副会長   |
| 2. 会長挨拶  | 木下会長    |
| 3. 担当常務理事挨拶  | 種部常務理事  |
| 4. 医業推進委員会委員長挨拶・委員紹介                                     | 角田委員長   |
| 5. 特別講演  | 座長：森崎理事 |
| 「有床診療所の医業承継について」青木恵一先生<br>(税理士法人 青木会計代表、日本医師会有床診療所委員会委員) |         |
| 6. 連絡・協議   |         |
| (1) 「産婦人科のプレコンセプション・ケア 成育基本法成立を踏まえて」                     | 種部常務理事  |
| (2) 「婦人科オンライン診療の実際 オフィスギネコロジーの収益確保と対策を含めて」               | 田村理事    |

(3) 「オフィスギネコロジーの収益確保と対策 医療経済実態報告を含めて」

原小委員長

(4) オフィスにおける保険診療諸問題について

原小委員長

(5) 保険諸問題 医療保険部会から

宮崎常務理事

7. 閉会の辞

平田常務理事

また、全国医業推進者伝達講習会について医業経営に関する知見やアイデアを伝達するため各都道府県産婦人科医業推進担当者を対象として伝達講習会を毎年開催してきたが、調査の結果、講習内容が会員に広く伝達されていない実態が判明した。従って次年度以後の開催を一度中止して新たな伝達方法を検討することとした。

#### 4. メディカルスタッフ関連事項への対応

広く産婦人科医療に携る人たちを対象として、医療・看護水準の維持向上を図ることを目的とし、メディカルスタッフ生涯研修会を第46回日本産婦人科医会学術集会（日本産婦人科医会担当・会場：東京都）と併行して開催する予定であったが台風19号による暴風雨により中止となった。

以下計画していた内容を示す。

令和元年度メディカルスタッフ生涯研修会－分娩監視装置モニターの読み方と対応－プログラム案

講習会全体説明	日本産婦人科医会幹事	水本
1) 開会の辞	種部医業推進担当常務理事	
2) 挨拶	前田日本産婦人科医会副会長	
3) プレテスト		
4) 講演：分娩監視装置モニターの読み方	池田三重大学産婦人科教授	
5) グループワーク		
	4グループ（12班）に分かれて実際の胎児心拍陣痛図を判読する。	
	講師は各グループからの症例について質問に答えながら指導する。	
6) グループ発表ならびに症例解説		
	グループワークで判読したモニターの結果をグループ代表者が報告する。	
	担当講師がその報告を踏まえて症例解説する。	
7) ポストテスト		
8) 講評・閉会の辞	石渡日本産婦人科医会副会長	

#### 5. 日産婦医会報「医療と医業」の頁

日進月歩の医療において知っておきたい情報は多事多様である。その中から、医業推進委員会として重要と思われる情報を広報部会と協議し、日産婦医会報「医療と医業」の頁にて会員に提供した。

－平成31年－

4月号 全国に「妊産婦医療費助成制度」の設置をお願い致します (2)

－令和元年－

5月号 婦人科外来診療収益の現状と課題

- 6月号 診療所の承継・税制について (1)
- 7月号 診療所の承継・税制について (2)
- 8・9月号 診療所の承継・税制について (3)
- 10月号 多職種で支える子ども食堂 ～共生の中での居場所づくりを目指して～
- 11月号 大分県における周産期メンタルヘルスケア体制の整備事業  
産婦人科－行政－精神科医療機関の協働
- 12月号 虐待予防は妊娠中からの支援がかなめ  
－令和2年－
- 1月号 妊婦健診によって得られた情報の利活用について  
「データヘルス時代の母子保健情報の利活用に関する検討会」中間報告書より
- 2月号 三重県における性教育活動
- 3月号 プレコンセプション・ケアへの積極的なかかわりを～成育基本法の施行を見据えて～

#### 6. 喫緊の問題に対し即時に対応できる体制の構築

産婦人科に関する医療制度に関して重要な問題が発生した場合は、即時に対応でき見解がまとめられる体制を適時構築し、執行部へ提言できるようにした。  
なお会員への周知については広報部会等関連部と協議した。

#### 7. 関係各部および関連諸団体との連携

医業推進部会の事業に関連する諸問題については、本会内他関係部そして厚生労働省、日本医師会、日本産科婦人科学会、全国有床診療所連絡協議会、日本看護協会、日本助産師会等の外部組織とも連携し、円滑な事業の推進を図った。

#### 8. 委員会

以下のごとく医業推進委員会を3回開催した。

第1回 令和元年6月6日 本会会議室

出席者：角田委員長 他17名

協議事項

- (1) 本年度事業計画の推進・タイムスケジュールに関する件
- (2) メディカルスタッフ（旧コ・メディカル）生涯研修会（10月13日）プログラム案について
- (3) 日産婦医会報「医療と医業」のテーマ・執筆者（案）に関する件
- (4) ARTクリニックの問題点について

第2回 令和元年12月26日 本会会議室

出席者：角田委員長 他17名

協議事項

- (1) 「全国医業推進担当者伝達講習会」に関する件
- (2) 日産婦医会報「医療と医業」のテーマ・執筆者（案）に関する件
- (3) 次年度以後の伝達講習会の扱いに関する件
- (4) 働き方改革にともなう、大学の先生の外の勤務時間も算定される件

第3回 令和2年2月20日 北大路京橋茶寮 東京駅店

出席者：角田委員長 他10名

協議事項

- (1) 「全国医業推進担当者伝達講習会」の開催中止について
- (2) 日産婦医会報「医療と医業」のテーマ・執筆者（案）に関する件
- (3) 令和2年度医業推進部会事業計画について

#### 9. 小委員会

以下のごとく第1回無床診療所問題小委員会を開催した。

令和元年11月14日 本会会議室

出席者：角田委員長 他6名

協議事項

- (1) 「全国医業推進担当者伝達講習会」の内容に関する件

## D. 医療保険部会

令和元年度の医療保険部会は、令和2年度診療報酬改定に向けて医会の要望項目を取りまとめ、日本産科婦人科学会と連携しながら日本医師会、外保連、内保連を通じて厚生労働省に要望を提出しました。

その結果令和2年度改定では、医会が以前から要望していた子宮内膜症管理料と月経困難管理料がまとまった形で婦人科特定疾患治療管理料（250点）が新設されました。いままで産婦人科診療では算定が困難であった医学管理料が産婦人科疾患で認められたことは大きな前進と考えています。妊産婦の診療体制の改善には引き続き取り組むこととなりましたが、妊婦加算は点数表から削除されました。その上で診療情報提供料（Ⅲ）150点が新設され、産科医療機関と他の医療機関との連携を強化することが図られました。産科関連では分娩監視装置による諸検査とノンストレステストが医会からの要望で増点になっています。また医師の働き方改革を推進する観点から医師事務作業補助体制加算は50点増点され、有床診療所入院基本料でも算定が可能となりました。超音波検査に関しては減点になるとの情報がSNSで流れましたが、日本医師会と連携して厚労省に強く要望した結果、基本点数の変更はありませんでした。しかしドプラ加算が150点に減点になり、新たな算定要件が設けられましたので、次回以降減点とならないよう今後も注視していく必要があります。処置や手術に関しては外保連試案により評価が見直され多くが増点となり、特に腔洗浄は外来管理加算より高い56点に増点されました。

一方過疎地域等での産科遠隔診療推進のために要望していた超音波と胎児心拍数監視の遠隔診断料・判断料は認められませんでした。本件に関しては次回以降も医業推進部会等と連携して要望していくことが必要と考えています。

今回の診療報酬改定では一次医療施設で算定可能な項目の増点も多く、財源の限られた厳しい改定の中で産婦人科にも一定の配慮があったものと評価できます。しかし産婦人科医療を取り巻く厳しい状況を解決するには不十分であり、更なる診療報酬増点の実現に向けて令和2年度以降の活動を進めていきたいと考えています。

### 1. 産婦人科診療報酬の適正化に向けた活動

診療報酬改定へのプロセスも変わりつつある中、産婦人科医療における最善の診療報酬点数のあり方を検討し、施設の機能分担と特徴を活かした適正な産婦人科診療報酬の確保を目指して、関係当局への提案、提言等を行った。

#### (1) 厚生労働省 医療技術評価のヒアリング 令和元年8月1日

プレゼンテーションの提案項目

- ・ベッサリー抜去術
- ・分外陰・腔細胞診採取料

#### (2) 産婦人科社会保険診療報酬点数早見表

新点数早見表を作成し、ホームページに掲載した。

### 2. 次期診療報酬改定への要望事項の整理と実現に向けた活動

令和2年4月に予定される診療報酬改定に向けて、ブロック医療保険協議会、各都道府県産婦人科医会、医療保険委員会などから提案された要望事項を整理し、日本医師会、外保連、内保連、日本産科婦人科学会などとの密接な連携のもとでの調整の他に、中医協における議論の経緯にも注視しつつ、時機にあった項目を重点的に再整理した。

- (1) 日本医師会宛（項目抜粋）  
令和2年4月診療報酬点数改定に関する産婦人科の要望
1. 妊婦加算
  2. 子宮脱非観血的整復法の増点並びに抜去法を追加
  3. 外陰並びに膣からの検体採取料
  4. 地域医療連携体制加算
  5. 婦人科特定疾患指導管理料
  6. 分娩監視装置による諸検査
  7. 人格検査
  8. 膣洗浄・子宮腔洗浄
  9. 帝王切開術 流産手術 1 妊娠11週までの場合の増点・複数手術に係る費用の特例適応拡大
  10. 病理組織標本作製に婦人科免疫組織染色

### 3. ブロック医療保険協議会

- (1) 北海道ブロック医療保険協議会  
開催日：令和元年度9月1日（日）  
出席者人数：53名  
本会出席者：谷川原真吾、宮国 泰香  
提出議題：北海道5題
- (2) 東北ブロック医療保険協議会  
開催日：令和元年10月27日（日）  
出席者人数：44名  
本会出席者：谷川原真吾、前村 俊満  
提出議題：青森県7題、岩手県3題、宮城県5題、秋田県6題、山形県10題、福島県6題
- (3) 関東ブロック医療保険協議会  
開催日：令和元年9月29日（日）  
出席者人数：100名  
本会出席者：宮崎亮一郎、松田 秀雄  
提出議題：茨城県4題、栃木県1題、群馬県2題、埼玉県5題、千葉県4題、東京都5題、神奈川県4題、山梨県4題、長野県5題、静岡県6題
- (4) 北陸ブロック医療保険協議会  
開催日：令和元年6月1日（土）  
出席者人数：41名  
本会出席者：宮崎亮一郎、永石 匡司  
提出議題：新潟県4題、富山県3題、石川県3題、福井県3題
- (5) 東海ブロック医療保険協議会  
開催日：令和元年8月18日（日）

出席者人数：77名  
本会出席者：谷川原真吾、水本 賀文  
提出議題：岐阜県7題、愛知県2題、三重県5題

- (6) 近畿ブロック医療保険協議会  
開催日：令和元年11月16日（土）  
出席者人数：56名  
本会出席者：宮崎亮一郎、前村 俊満  
提出議題：滋賀県4題、京都府2題、大阪府1題、兵庫県4題、奈良県2題、和歌山県1題
- (7) 中国ブロック医療保険協議会  
開催日：令和元年9月1日（日）  
出席者人数：47名  
本会出席者：宮崎亮一郎、星 真一  
提出議題：鳥取県7題、島根県5題、岡山県6題、広島県7題、山口県4題
- (8) 四国ブロック医療保険協議会  
開催日：令和元年8月25日（日）  
出席者人数：62名  
本会出席者：谷川原真吾、小島 淳哉  
提出議題：徳島県12題、香川県8題、愛媛県9題、高知県6題
- (9) 九州ブロック医療保険協議会  
開催日：令和元年10月26日（土）  
出席者人数：20名  
本会出席者：宮崎亮一郎、林 昌子  
提出議題：福岡県3題、佐賀県1題、長崎県2題、熊本県4題、大分県2題、宮崎県2題、鹿児島県1題、沖縄県1題

#### 4. 各ブロック等の主な要望事項

- ・乳腺エコー検査の保険点数増点の要求
- ・円錐切除後の細胞診検査とHPV検査の同時、同一日実施について
- ・切迫早産のDPCでの入院期間IおよびIIの期間延長
- ・ベネシスの早期の分娩大量出血への保険適応
- ・子宮体癌の診断における超音波・細胞診の同時算定
- ・妊婦加算復活
- ・非観血的子宮脱整復法でのペッサリーの特材導入
- ・子宮脱の手術の増点
- ・開腹での子宮内膜症の手術の増点 等

#### 5. 日産婦医会報による日本産婦人科医会会員への伝達の徹底 －令和元年－

5月号 羅針盤 妊婦加算の今後

－令和2年－

2月号 産婦人科社会保険診療報酬点数早見表頒布中止のお知らせ

3月号 令和元年度社保の動き

産婦人科社会保険診療報酬点数早見表頒布中止のお知らせ

## 6. 関連諸方面との連絡折衝

産婦人科医療保険診療の円滑な運用のために、日本産科婦人科学会、日本医師会、厚生労働省その他関係諸団体との連絡折衝を図った。

## 7. 委員会

下記の通り医療保険委員会を4回開催した。

第1回 令和元年6月8日 本会会議室

出席者：藤間委員長 他22名

協議事項

- (1) 令和元年度会議開催日に関する件
- (2) 委員提出議題
- (3) その他

第2回 令和元年9月7日 本会会議室

出席者：藤間委員長 他22名

協議事項

- (1) 外保連からのAI診療作業部会委員推薦のお願いに関する件
- (2) ブロック医療保険協議会持ち帰り事項に関する件
- (3) 委員提出議題
- (4) その他

第3回 令和元年11月25日 本会会議室

出席者：藤間委員長 他18名

協議事項

- (1) 令和2年度事業計画・予算（案）に関する件
- (2) 委員提出議題
- (3) その他

第4回 令和2年3月8日（日） 通信会議

出席者：藤間委員長 他33名

協議事項

- (1) 令和2年度会議開催日に関する件
- (2) 委員提出議題
- (3) その他

## 8. 部会

7回開催した。

## VI. 事業支援部

### A. 女性保健部会

本部会は思春期から中高年期の女性のライフステージに合わせた諸問題（周産期とがん関係を除く）を具体的に検討し、社会や会員に必要な具体策や啓発情報を発信している。

2つの小委員会（思春期・性成熟期小委員会と更年期小委員会）を設置して活動を展開しており、本年度は、性教育指導セミナー全国大会の開催（大阪府）と次年度セミナー（山形県）の準備支援、女性アスリート診療のための産婦人科医師対象講習会の開催（令和元年度は1回開催）、性犯罪被害者支援に関連した警察・司法関係者や救急医学会との意見交換会を開催、次年度から始まる「緊急避妊ピルのオンライン診療」への準備に向けた厚労省の事業への協力をを行った。

そのほか、既に本部会で作成した思春期婦人科相談マニュアルや小冊子、性教育の資料などの広報活動にも努めた。

#### 1. 「日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会」

##### (1) 第42回日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会

開催日：令和元年7月28日（日）

場 所：大阪国際交流センター（大阪府）

出席者：871名

メインテーマ：現代の生きにくさに立ち向かう性教育～自立、そして恋愛へ～十代の性をまもり育てる ～気づく、よりそう、育てる、向き合う～

大阪府産婦人科医会との綿密な準備のもと開催された。

プログラム：

開会式 会長挨拶 来賓祝辞

基調講演 十代におけるリプロダクティブ・ヘルス&ライツの実践

座長：野口まゆみ（日本産婦人科医会女性保健委員会委員長）

講師：加藤 治子（性暴力救援センター・大阪SACHICO代表）

教育講演 リプロダクティブ・ライツの考え方と人工妊娠中絶

座長：志村研太郎（大阪産婦人科医会会長）

講師：木村 正（大阪大学大学院医学研究科産婦人科学教授）

ランチョンセミナー ひとつとではない性感染症

座長：古山 将康（大阪市立大学大学院医学研究科女性生涯医学教授）

講師：早川 潤（早川クリニック 院長）

シンポジウム

十代の性をまもり育てる ～気づく、よりそう、育てる、向き合う～

座長：安達 知子（日本産婦人科医会常務理事）

座長：谷口 武（大阪産婦人科医会理事）

(1) 子どものSOSに気づく 山本 恒雄（恩賜財団母子愛育会愛育研究所客員研究員）

(2) 十代の妊娠・出産によりそう 楠本 裕紀（阪南中央病院産婦人科）

- (3) 子どもたちの性を育てる 重松 和枝 (CAPセンター・JAPAN)
- (4) 性非行・性加害少年に向き合う 藤岡 淳子 (大阪大学大学院人間科学研究所教授)
- ディスカッション (山本 恒雄・楠本 裕紀・重松 和枝・藤岡 淳子)
- 次期開催地 (山形県) 挨拶・閉会宣言

(2) 合同小委員会

開催日：令和元年7月28日(日)

場所：大阪国際交流センター(大阪府)

出席者：志村大会会長 他30名

第42回日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会(大阪)の報告と次期開催に向けての連絡等を行った。

(3) 第42回日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会集録集を作成し、関係各所へ配布した。

(4) 次期開催担当県との打ち合わせ、今後の予定と誘致

令和2年度第43回日本産婦人科医会性教育指導セミナー、担当県：山形県

開催日：令和2年7月19日(日)

開催場所：山形テルサ(山形県)

メインテーマ：“つながる力”を高める性教育～自立とは依存先を増やすこと～について、委員会の際に山形県担当者との打ち合わせを行った。

今後の予定

令和3年度第44回日本産婦人科医会性教育指導セミナー、担当・沖縄県

令和4年度第45回日本産婦人科医会性教育指導セミナー、担当・静岡県

令和5年度第46回日本産婦人科医会性教育指導セミナー、担当・奈良県

## 2. 小委員会の設置と活動

(1) 思春期・成熟期小委員会

(北村・岡野副委員長、江夏・椎名・野村・樋口各委員、田村理事、宮国幹事)

1) 令和元年度第1回(通算12回)女性保健拡大部会

日時：令和元年10月18日(金)18:00～20:30

場所：本会会議室

出席者：野口委員長 他37名

意見交換：被害者への対応について

2) 女性アスリートのためのワーキンググループ

女性アスリートが、自身の体の状態や月経および月経異常、月経移動などについて、産婦人科を受診して適切な診療やアドバイスを受けやすい環境を作るための活動に対し女性アスリート健康支援委員会が主催する女性アスリート診療のための講習会(産婦人科医師対象)に対し協力をした。

(平成26年度は11カ所・平成27年度は4カ所・平成28年は11カ所・平成29年度は

10カ所・平成30年度は12カ所で開催)

日時：令和元年12月1日（日）13：00～16：30

場所：京王プラザホテル（東京）

参加者：146名

講師：百枝幹雄、小清水孝子、上東悦子

3) 「学校医と養護教諭のための思春期婦人科相談マニュアル」の活用

日本医師会学校保健委員会からの要請を受けて平成25年3月に作成した、学校医と養護教諭のための思春期婦人科相談マニュアルの平成29年9月改訂版を広く広報した。

4) 性教育講演用スライド「思春期って何だろう？性って何だろう？」のスライドを広く広報した。

5) 令和2年度性犯罪・性暴力被害者支援交付金事業に関する要望を内閣府男女共同参画会議長等に提出した。

6) 性教育に関する講師派遣窓口に関するアンケートを各都道府県産婦人科医会に対して行った。

(2) 更年期小委員会

(岡野副委員長、江夏・椎名・樋口・宮原各委員、山本理事、五十嵐幹事)

1) 生活習慣病マニュアル2020を作成し、会員に配布する準備をすすめた。

3. 会員と次世代や患者とを結ぶ既存の小冊子活用と広報

(1) 既存の小冊子について、広報し、講演等で活用した。

1) 「ホルモン補充療法のすすめ」(平成11年3月刊)

2) 「骨粗しょう症に気をつけて」(平成12年3月刊)

3) 「わたしのピルノート」(平成14年1月刊)

4) 「赤ちゃんがほしいあなたと彼へ」(平成14年4月刊)

5) 「こうすればよくなる排尿のトラブルや性交痛の悩み」(平成15年3月刊)

6) 「すこやかな月経のために」(平成16年3月刊)

7) 「産婦人科医はあなたのライフパートナー」(平成17年3月刊)

8) 「こうして治す更年期の気になる症状」(平成18年3月刊)

9) 「子宮内膜症と上手につきあおう」(平成19年3月刊)

10) 「気になるおりもの」(平成20年3月刊)

11) 「子宮がん検診 受けたことある？」(平成21年3月刊)

12) 「やせと肥満」(平成22年3月刊)

13) 「不正出血 なぜ？どうするの」(平成23年3月刊)

14) 「ホルモン補充療法(HRT)のすすめ-新版-」(平成24年3月刊)

15) 「オンナとオトコの産みドキ育てドキ働きドキ」(平成26年3月刊)

4. 関連諸団体との連絡提携・広報

厚生労働省や日本医師会、日本産科婦人科学会、日本薬剤師会はじめ関連諸団体との連絡・協調を密にし、円滑、多角的な事業運営に努めた。

(1) 令和2年4月から始まる緊急避妊薬のオンライン診療に際して、薬剤師に対し教育する、「緊急避妊」、「月経、月経異常、ホルモンの調節機序」「OC全般と避妊法」

の3つのテーマの講演資料を作成した。これを用いて全国47都道府県から選んだ2名ずつの産婦人科医に向けて模擬授業を令和元年12月14日（土）12：30～15：50、TKP市ヶ谷にて開催した。

(2) 緊急避妊ピルのオンライン診療を行う医師、特に産婦人科以外の医師に対するe-learningのテキスト作成を行い、厚労省事業を請け負う日本医師会に対して協力を行った。

## 5. 日産婦医会報による日本産婦人科医会会員への伝達の徹底

－平成31年－

4月号 第42回日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会開催案内（第2報）

－令和元年－

6月号 第42回日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会迫る！

第132回記者懇談会 性教育の新たなスタートに向けて－行政、教育現場とともに歩む

10月号 女性アスリート診療のための講習会（産婦人科医向け）案内

第42回日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会 十代の性をまもり育てる

－令和2年－

2月号 第43回日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会開催案内（第1報）

## 6. 記者懇談会

第132回記者懇談会

開催日：令和元年6月12日

懇談テーマ：今性教育の新たなスタートへ向けて－行政、教育現場とともに歩む

(1) 性教育の現状と問題点

(2) 東京都のモデル事業から－教育委員会と連携した性教育

(3) 東京都中学校における性教育モデル授業実施の実例

担当：安達知子常務理事、吉野一枝東京都産婦人科医会理事、江夏亜希子女性保健委員会委員

## 7. 委員会

女性保健委員会を下記のとおり4回開催した。

第1回 令和元年5月31日 本会会議室

出席者：野口委員長 他18名

協議事項

(1) 日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会に関する件

(2) 令和元年度第1回女性保健拡大部会の次第に関する件

(3) 記者懇談会にて今後取り上げて欲しいテーマに関する件

(4) 小委員会での検討事項に関する件

(5) その他

第2回 令和元年9月7日 本会会議室

出席者：野口委員長 他16名

協議事項

- (1) 日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会に関する件
- (2) 令和元年度第1回女性保健拡大部会の次第に関する件
- (3) 小委員会での検討事項に関する件
- (4) その他

第3回 令和元年12月6日 北大路

出席者：野口委員長 他15名

協議事項

- (1) 令和2年度事業計画(案)・予算(案)に関する件
- (2) 日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会に関する件
- (3) 小委員会での検討事項に関する件
- (4) その他

第4回 令和2年3月6日 通信会議

出席者：野口委員長 他18名

協議事項

- (1) 令和元年度事業報告に関する件
- (2) 日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会に関する件
- (3) 小委員会での検討事項に関する件
- (4) その他

## B. がん部会

厚生労働省並びに関連学会等の動向に注視し、諸団体との連携を保持しながら本年度も事業を展開した。

部会活動としては①精度の高い子宮頸がん検診（HPV検査併用検診、液状化細胞診（LBC））の普及に向けた啓発活動、②HPVワクチンの接種勧奨再開へ向けての活動並びに政策提言、③子宮頸がん検診結果を用いたHPVワクチンの有効性の検討、④乳がん検診のマンモグラフィ、超音波検査導入への関係部署への対応、⑤乳がん検診用マンモグラフィ読影に関する講習会の開催、超音波セミナーの開催、⑥子宮内膜LBC細胞診を用いた子宮体がん検診の実用化に向けた臨床試験の推進、⑦職域健診における子宮頸がん検診の問題点の検討等、がん対策委員会メンバーを中心として活動を行った。

### 1. エビデンス（EBM）に基づいたHPV検査、LBC（内膜細胞診も含む）、HPVワクチンの有用性評価とそれらの普及に向けた啓発活動、並びに国への働きかけ

国内各地域で実施されているHPV検査（併用）やLBCのデータを集約し、これらのEBMデータをもとに、HPV検査、LBCの有用性を国や自治体にアピールし普及活動を行った。

### 2. 精度の高い子宮頸がん検診（HPV検査併用検診、液状化細胞診（LBC））の普及に向けた啓発活動を行った。

栃木県産婦人科医会那須郡市部会事前ミーティング

日時：令和元年9月5日（木）18：00～20：00

場所：宇都宮市内

参加者：計3名

講演：小山地区LBC/HPV検査併用子宮頸がん検診導入効果と最新のトピックス

演者：日本産婦人科医会常務理事、新百合ヶ丘総合病院がんセンター長、自治医科大学名誉教授 鈴木 光明先生

香川県子宮頸がん検診事前ミーティング

日時：令和元年9月21日（土）18：00～20：00

場所：東京都内

参加者：計2名

テーマ：香川県における子宮頸がん検診について

栃木県産婦人科医会 那須郡市地区部会会員様向け勉強会

日時：令和元年10月2日（水）19：00～20：30

場所：KATSUTAYA

参加者：計15名

演題：子宮頸がん検診の将来展望

座長：新百合ヶ丘総合病院がんセンター長、自治医科大学名誉教授、日本産婦人科医会常務理事 鈴木 光明先生

演者：自治医科大学産婦人科学講座教授 藤原 寛行先生

栃木県産婦人科医会小山地区部会会員様向け勉強会

日時：令和元年9月3日（火）19：00～20：30

会場：小山グランドホテル 相生

参加者：計10名

演題：子宮頸がん検診の将来展望

座長：新百合ヶ丘総合病院がんセンター長、自治医科大学名誉教授、日本産婦人科医  
会常務理事 鈴木 光明先生

演者：自治医科大学産婦人科学講座教授 藤原 寛行先生

LBC/HPV 検査併用検診 HPV 検査試薬変更に伴う講習会

日時令和元年10月9日（水）16：00～17：00

場所：栃木県保健衛生事業団 大会議室

対象：栃木県保健衛生事業団職員、スタッフ

参加者：計100名

教育講演

演者：新百合ヶ丘総合病院がんセンター長、自治医科大学名誉教授、日本産婦人科医  
会常務理事 鈴木 光明先生

北九州子宮頸がん検診事前ミーティング

日時：令和元年11月22日（金）18：00～20：00

場所：博多市内

参加者：計2名

テーマ：北九州市における子宮頸がん検診について

共同論文執筆

Japanese Journal of Clinical Oncology, 2019, 1-8 doi: 10.1093/jjco/hyz161

A comparison of liquid-based and conventional cytology using data for cervical cancer  
screening from the Japan Cancer Society



### 3. HPVワクチンの積極的接種再開に向けての啓発活動・政策提言

各都道府県産婦人科医会へ協力依頼をし、「子宮頸がんをなくそう！」－子宮頸がんとワクチンの正しい知識の普及活動－として、公開講座を開催した。

開催県：山形県（9月8日）、茨城県（11月12日）、東京都（4月9日）、山梨県（11月2日）、長野県（9月1日）、石川県（5月26日）、香川県（6月1日）、福岡県（11月3日）、佐賀県（11月17日）、長崎県（11月7日）

### 4. 乳がん検診への積極的参加に向けての活動と支援

#### (1) 第4回産婦人科医のための乳がん検診参画に向けての講習会

日 時：令和元年11月3日（日）15：20～17：50

場 所：ヒルトン福岡シーホーク

参加者：約90名

座長：大村峯夫がん対策委員会委員

講演：

1. 妊娠関連乳癌～妊娠期乳房超音波検診による早期発見を目指して～  
演者：加藤 栄一先生（坂井市立三国病院 産婦人科）
2. マンモグラフィ 読影のコツ！  
演者：野村 長久先生（川崎医科大学 乳腺甲状腺外科）
3. 超音波検診による乳がん検診に向けて  
演者：濱田 信一先生（公立学校共済組合四国中央病院 健康管理科）

#### (2) 第31回乳がん検診用マンモグラフィ読影に関する講習会の開催

精中機構、日本産婦人科乳腺医学会と共催して講習会を開催した。

日 時：令和2年1月18日（土）8：50～19：30

令和2年1月19日（日）8：45～16：35

場 所：日本産婦人科医会会議室

出席者：受講者39名、講師18名、医会関係者3名等

読影試験結果：受験者39名

（評価）A-S：1名、A：1名、B：13名、C：14名、D：10名

### 5. 対外活動・広報活動

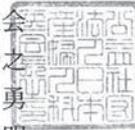
#### (1) 要望書

- 1) 厚生労働大臣加藤勝信殿宛にHPVワクチンの接種勧奨再開を求める要望書を提出（1月23日）

日産婦医会発第 360 号  
令和 2 年 1 月 23 日

厚生労働大臣 加藤 勝信 殿

公益社団法人 日本産婦人科医会  
会長 木下勝之  
がん部会担当副会長 石渡 勇  
がん部会担当常務理事 鈴木光明  
がん対策委員会委員長 小澤信義



### HPV ワクチンの接種勧奨再開を求める要望書

2013 年 6 月に日本政府から子宮頸がんを予防する HPV ワクチンの接種勧奨の一時的差控えが出され、はや 6 年半が経過しました。現在、接種率は 0.3% と低迷したままです。

貴省が指定した有識者による副反応検討部会は、2013 年当時から HPV ワクチン接種後に生じている様々な症状と HPV ワクチンとの因果関係は認められないとの評価をしています。また、名古屋スタディや貴省祖父江班の研究など、日本人を対象とした大規模疫学調査の結果もその評価に間違いがないことを科学的に裏付けています。

HPV ワクチンは世界保健機関（WHO）も接種を推奨しており、その有効性・安全性に科学的議論の余地はありません。積極的に接種を実施している世界各国では前がん病変や HPV 感染が減少し撲滅への機運が高まっているなか、唯一我が国だけ子宮頸がん罹患率が上昇しています。

毎年約 3,000 人が子宮頸がんで死亡しています。約 10,000 人が子宮頸癌の治療を受け、命は助かったものの術後の後遺症で不自由な生活を余儀なくされています。また、約 13,200 人が前がん状態のため円錐切除術を受けています。子宮は残存したものの、不妊、流早産のリスクにさらされています。これは少子化克服を国是としている我が国にとって放置できない問題です。

この度、貴省の副反応検討部会が開催され、接種再開について検討していただけることを歓迎するとともに、接種勧奨が早期に再開されることを強く要望いたします。

(2) 医会報等

－令和元年－

8・9月号 第133回記者懇談会 HPVワクチン最近の話題

12月号 HPVワクチンの積極的勧奨再開を目指す議員連盟発足

－令和2年－

2月号 画像診断フォーラムのご案内

3月号 羅針盤 検診未受診者対策としての自己採取HPV検査

(3) 記者懇談会

第133回記者懇談会

開催日：令和元年7月10日

懇談テーマ：HPVワクチンの最近の話題

(1) HPVワクチン接種再開に向けての産婦人科医会の活動と地域における草の根運動

(2) HPVワクチン接種の積極的勧奨再開にブレーキをかけている要因－裁判と報道－

担当：鈴木常務理事、石渡副会長

6. 関連諸団体との連携

関連諸団体（厚生労働省、日本医師会、日本産科婦人科学会、日本乳癌検診学会、日本対がん協会、日本産婦人科乳腺医学会、「乳がん・子宮頸がん検診促進議員連盟」、「子宮頸がん征圧をめざす専門家会議」等）に職責を含む委員・役員等の派遣に努め、情報把握、婦人科検診事業等について連携・協調・啓発活動を円滑に行った。

7. 委員会

がん対策委員会を3回開催して事業運営を図った。

第1回 令和元年6月11日 本会会議室

出席者：小澤委員長 他14名

協議事項

- (1) HPV検査併用検診導入にあたっての課題とその運用に関する件
- (2) シミックヘルスケアによる自己採取HPV検査問題に関する件
- (3) 妊婦健診として実施された子宮頸がん検診結果に関する研究に関する件
- (4) 第4回産婦人科医のための乳がん検診参画に向けての講習会に関する件
- (5) 第31回乳がん検診用マンモグラフィ読影に関する講習会に関する件
- (6) 令和元年度第2回がん対策委員会開催日に関する件
- (7) その他

第2回 令和元年11月6日 本会会議室

出席者：小澤委員長 他17名

協議事項

- (1) 子宮体癌疑い患者を対象としたLC-1000（剥離細胞分析装置）の有用性に関する多施設共同試験に関する件
- (2) 第31回乳がん検診用マンモグラフィ読影に関する講習会に関する件
- (3) 第30回乳がん検診用マンモグラフィ読影に関する講習会に関する件
- (4) 令和元年度第3回がん対策委員会開催日に関する件

(5) その他

第3回 令和元年3月2日 通信会議

出席者：小澤委員長 他21名

協議事項

- (1) 令和元年度事業報告（案）に関する件
- (2) 超音波セミナー（第26回日本産婦人科乳腺医学会学術集会内）に関する件
- (3) 第5回産婦人科医のための乳がん検診参画に向けての講習会（第35回日本女性医学学会学術集会内）に関する件
- (4) 第32回乳がん検診用マンモグラフィ読影に関する講習会（日程）に関する件
- (5) 子宮体癌疑い患者を対象としたLC-1000（剥離細胞分析装置）の有用性に関する多施設共同試験に関する件
- (6) 自己採取HPV検査の精度の検証と至適運用をめざした民間との共同研究（仮題）に関する件
- (7) 令和2年度第1回がん対策委員会開催日に関する件
- (8) その他

## C. 母子保健部会

わが国の周産期医療を取り巻く環境は厳しさを増している。そのような中、周産期医療における問題点を抽出して分析し、その解決策を提示し、その解決に向けて取り組むことが母子保健部会の使命であり、母子保健の更なる向上に向けた活動を行った。

妊産婦メンタルヘルスケアについては最重点テーマとの位置付けで取り組んだ。平成28年度に作成した『妊産婦メンタルヘルスケアマニュアル』をもとに、研修会のシステムを検討し、入門編・基礎編・応用編の研修会プログラムを更新して実際に研修会を開催した。また、母子の愛着形成の重要性について、母親学級などで妊婦を直接指導するための教育用動画資料として、Harvard大学（Center on the Developing Child）の公開動画（20本）の日本語吹き替え版の作成に取り組み、10本を公開し、残りの10本についても公開のための準備を行った。さらに、昨年度に作成した「赤ちゃんのふしぎな世界」とともに、その広報用のポスターを作成し、会員に配布した。

新生児聴覚スクリーニングに関しては全都道府県産婦人科医会に対して公費補助の実施状況についての調査を行うなど、公的補助の獲得を促進するための活動を行った。HTLV-1母子感染予防対策としては、HTLV-1のスクリーニングで陽性となった妊婦とその子どものフォローアップ体制の構築を目的に、モデル地域として東京で、相談窓口を作ることを念頭に協議を行った。

### 1. 妊産婦メンタルヘルスケア推進に向けての事業

本会の重点事業として厚生労働省母子保健課と協力し、妊産婦のメンタルヘルスケア体制構築の推進に努めた。また、都道府県産婦人科医会における本事業の推進を支援した。

#### (1) 第5回「母と子のメンタルヘルスフォーラム」開催

日 時：令和元年6月1日（土）～6月2日（日）

場 所：岡山県医師会館 2階「三木記念ホール」（岡山市）

出席者：352名

プログラム：

#### 6月1日（土）

- 1 大会会長挨拶 江尻孝平（岡山県産婦人科医会会長）
- 2 日本産婦人科医会会長挨拶 木下勝之（日本産婦人科医会会長）
- 3 来賓挨拶 菊池善信（岡山県副知事）、大森雅夫（岡山市長）
- 4 フォーラム基調講演  
座長：江尻孝平（岡山県産婦人科医会会長）  
「日本における児童虐待の現状と産科における育児支援の可能性」  
相良洋子（日本産婦人科医会常務理事・さがらレディースクリニック院長）
- 5 シンポジウム基調講演  
座長：下屋浩一郎（川崎医科大学産婦人科学1教室教授）  
「妊娠中からの気になる母子支援」：メンタルヘルスの視点から  
中塚幹也（岡山大学大学院保健学研究科教授）
- 6 シンポジウム

座長：中塚幹也（岡山大学大学院保健学研究科教授）

來住由樹（岡山県精神科医療センター院長）

テーマ「妊娠中からの気になる母子支援」：岡山モデルの現状

「産科診療の現場における、ハイリスク妊産婦との関わり合いと連携についての取り組み」

赤松一代（赤松病院副院長）

「妊娠期からの切れ目のない支援～岡山県の取り組み～」

國富優香（岡山県保健福祉部健康推進課総括参事）

「瀬戸内市における妊産婦支援～産後うつと関連する妊娠届出時アンケート項目の分析から見えてきたもの～」

高月則子（岡山県瀬戸内市保健福祉部健康づくり推進課子ども包括支援センター主幹）

「岡山大学病院における産婦人科と精神科の連携について」

井上真一郎（岡山大学病院精神科神経科助教）

「気になる親子支援連絡票（小児科連携）岡山県・岡山県小児科医会の取り組み」

横山裕司（岡山県小児科医会会長）

## 7 特別講演

座長：鈴木俊治（日本産婦人科医会常務理事・葛飾赤十字産院副院長）

「一般社団法人岡山県ベビー救済協会25年の歩み」

中村淳一（岡山県ベビー救済協会理事長）

6月2日（日）

1 開会挨拶 井上隆（岡山県産婦人科医会副会長）

2 教育講演

座長：山田了士（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学教室教授）

「妊産婦の注意すべき精神症状」

北村直也（川崎医科大学精神科学教室講師）

3 ミニレクチャーシリーズ

座長：多田克彦（岡山医療センター産科・婦人科医長）

「十代の妊産婦のメンタルヘルス『地域で支えていくには？』」

森山美恵子（一般社団法人学育の森理事長）

「DV被害妊産婦のメンタルヘルス『婦人科医からみたDV問題について』」

上村茂仁（ウイメンズクリニック・かみむら院長）

「不妊症・不育症女性のメンタルヘルス『不妊症女性、不育症女性のメンタルヘルス』」

秦久美子（姫路大学看護学部看護学科准教授）

「NICU入院児の母親のメンタルヘルス『NICUにおける家族支援』」

石野陽子（岡山医療センター看護部所属新生児集中ケア認定看護師）

松田良子（岡山医療センター新生児科臨床心理士）

4 次期開催地会長挨拶 平川俊夫（福岡県産婦人科医会会長）

5 閉会挨拶 金重恵美子（岡山県産婦人科医会副会長）

## (2) 出産前後の母児ケア体制の検討

妊産婦メンタルヘルスケアの充実と普及に向けて、「母と子のメンタルヘルスケア研修会」の充実を図るべく、プログラムの更新を行い、それをういた研修会を開催した。研修会は、「入門編」「基礎編」「応用編」の3段階の構成になっており、入門編では妊産婦のメンタルヘルスについての基本的な知識とEPDSを含む3つの質問票を使ったスクリーニングの方法、基礎編では妊産婦の精神障害と「傾聴と共感」を主とする対応の基本、さらに応用編では多職種連携の考え方と実践および事例検討のファシリテーションを身につけることを目標とした。入門編、基礎編は研修会の形で周産期医療に関わるあらゆる職種のスタッフを対象に行うが、応用編は指導者講習会として行い、それぞれの地域でこの事業に指導的立場で協力していただける人材の育成を目指している。

コース	入門編	基礎編	応用編
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊産婦の心理的变化を理解する</li> <li>・質問票を使ったメンタルヘルスのスクリーニングができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周産期の精神障害を理解する</li> <li>・支援が必要な妊産婦に対して「傾聴と共感」を実践することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種連携の必要性の判断とその実践を行う</li> <li>・事例検討のファシリテーションを行うことができる</li> </ul>
内容	<p>(母子の愛着形成について)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 周産期メンタルヘルスの重要性と日本産婦人科医学会の取り組み</li> <li>2. 周産期メンタルヘルスの基礎知識               <ol style="list-style-type: none"> <li>①母子の関係性と対応の基本</li> <li>②妊産婦メンタルヘルスの不調と対応</li> </ol> </li> <li>3. 支援が必要な妊産婦のスクリーニング               <p>～3つの質問票の使い方～</p> </li> <li>4. 質問票を使ったロールプレイ (ビデオ)</li> <li>5. 事例検討 (グループワーク)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 周産期精神障害について               <ol style="list-style-type: none"> <li>①実践的知識</li> <li>②薬物療法の考え方</li> </ol> </li> <li>2. 支援が必要な妊産婦への対応               <p>～傾聴と共感の技法～</p> </li> <li>3. 傾聴と共感のロールプレイ</li> <li>4. 事例検討 (グループワーク)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 連携のためのプログラム               <p>～連携の実際と社会資源の活用～</p> </li> <li>2. 事例検討のためのプログラム</li> <li>3. ファシリテーター研修               <ol style="list-style-type: none"> <li>①講義</li> <li>②実習</li> </ol> </li> <li>4. 事例検討 (グループワーク)</li> </ol>
研修方法	研修会「入門編」	研修会「基礎編」	指導者講習会

## (3) 「母と子のメンタルヘルスケア研修会」の開催

本年度は<入門編>に引き続き<基礎編>、<応用編> (指導者講習会) のプログラムを作成し研修会を開催した。

<入門編>

平成31年4月27日（土）東京都医師会館（千代田区）	受講者：55名
令和元年11月2日（土）国民會館（大阪市）	受講者：39名
令和2年2月8日（土）福岡県医師会館（福岡市）	受講者：77名

<基礎編>

平成31年4月28日（日）東京都医師会館（千代田区）	受講者：53名
令和元年6月2日（日）岡山県医師会館（岡山市）	受講者：25名
令和元年11月2日（土）国民會館（大阪市）	受講者：43名
令和2年2月9日（日）福岡県医師会館（福岡市）	受講者：66名

<応用編>（指導者講習会）

令和元年11月3日（日）国民會館（大阪市）	受講者：43名
令和2年2月9日（日）福岡県医師会館（福岡市）	受講者：63名

（4）地域研修会の開催促進

入門編のプログラムについて、研修会の基本構成とスーパーバイザー（精神科医）の派遣体制を準備し、昨年度作成した専用のサイト（<https://mcmc.jaog.or.jp/>）を用いて地域研修会が開催できる体制を整えた。

○入門編プログラムの基本構成：  
e-learning（自宅での事前学習）

受講時間	タイトル	講師
13分	母子の愛着形成について	星 真一
25分	周産期メンタルヘルスの重要性と医会の役割	相良洋子
15分	母子の関係性と妊産婦の対応の基本	清野仁美
12分	妊産婦のメンタルヘルスの不調と対応	竹内 崇
23分	支援が必要な妊産婦のスクリーニング	鈴宮寛子

研修会（所要時間3～4時間）

講習時間	内容	講師
30分	トピックス（講演など）	外部講師など
30分	地域連携に関する講演	地域行政など
60-90分	3つの質問票の使い方（ロールプレイ）※必修	スーパーバイザー
90分	事例検討（グループワーク）※必修	スーパーバイザー
10分	総括 ※必修	スーパーバイザー

○地域研修会開催状況

現在までに開催された地域研修会の一覧を示す。

(2020年3月の研修会はCOVID-19の感染拡大予防のため中止された)

年	月日	主催者	参加者	満足度
2018	8.31	岡山大学医学部	約200	
2019	1.19	東京都城南地区	122	
	1.20	東京都城南地区		98%
	3.15	岡山大学医学部		
	6.29	東京臨床看護学会	66	98%
	9.7	鹿児島県産婦人科医会	62	98%
	9.29	岐阜県産婦人科医会	32	
	10.5	滋賀県産科婦人科医学会	60	90%
	10.20	東京都城南地区	入門64/基礎80	100%/100%
	11.16	鳥根県産婦人科医会	65	100%
	11.17	京都産婦人科医会	48	100%
12.15	埼玉県産婦人科医会	32	100%	
2020	1.19	埼玉県産婦人科医会	30	100%
	2.1	東京（愛育会）	60	100%
	2.1	宮城県産婦人科医会	47	96%
	2.23	兵庫県産科婦人科学会	45	100%
	3.14	宮崎県産婦人科医会		
	3.22	高知県産婦人科医会		

(5) 育児支援のための講演会の開催

母親と子どもの愛着形成の重要性を理解する目的で、また、愛着形成におけるトラブルが子どものこころの成長や発達に影響を与えることの科学的なエビデンスを学ぶ目的で、講演会を開催した。講演会内容は母と子のメンタルヘルスケア（MCMC）サイト『関連トピックス』で閲覧できる。

・令和元年11月16日（土）TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

「親子関係と脳の発達」

松平泉（東北大学大学院医学系研究科）

「親子関係と子どもの成長について（心理学の視点から）」

渡辺久子（渡邊醫院／日本乳幼児精神保健学会FOUR WINDS会長）

「ハーバード大学CDC（Center on the Developing Child）の取り組みについて」

ヘンシュ貴雄（ハーバード大学教授）

(6) 妊産婦に母子の愛着形成の重要性を教育するコンテンツの開発

児の健全な発育のためには母児の愛着形成が重要であることから、妊産婦やその周囲の人々に子どもとの関わり方を考えてもらうために、ハーバード大学Center on the Developing Child (CDC) が作成して公開している20本の動画「Brain Hero」の日本語吹き替え版を作成することを企画し、CDCの作成許可のもと、10本について作成し、ホームページ上で公開した。残りの10本については翻訳作業を終え、CDCの確認を受けており、次年度公開する予定である。

また、昨年度作成した動画資材「赤ちゃんのふしぎな世界」を含め、妊婦に広報するためのポスターを作成し、会員に配布した。

(7) メンタルヘルスケア推進に関するアンケート調査

本年度は平成31年3月11～29日にかけて行った調査結果をまとめ、医会報で会員に報告すると同時に、記者懇談会で公表した。今回の調査では、精神疾患合併妊産婦や特定妊婦の受け入れが十分でないことや、産科医療機関での妊産婦のメンタルヘルスチェックが進んでいるものの、これが診療の負担になりつつあることなどが明らかになり、スタッフのための研修体制の整備を進めると同時に、多職種連携の体制強化や産科医療機関に対する公的支援の確保などを進めていく必要があると考えられた。

(8) その他

- 1) 経済的問題を抱える妊産婦が入院助産制度による助成を受けられない事例が散見されていることをうけ、令和元年8月8日に厚生労働省子ども家庭局母子保健課長通知「児童福祉法第22条の規定に基づく助産の円滑な実施について」が発出された。母子保健部会では各都道府県産婦人科医会および医会員に対してこの通知についての情報提供を行った。
- 2) 特別養子縁組・里親制度について、NHK文化事業団作成のDVD「新しい絆の作り方：特別養子縁組・里親制度入門」の貸し出しについて医会報で広報を行った。
- 3) 令和元年12月6日に母子保健法の一部を改正する法律が公布され、産後ケア事業が自治体の努力義務と規定された。母子保健部会では会員に対してこの法律についての情報提供を行った。

2. 新生児聴覚スクリーニング検査の公的支援に向けた活動

平成31年3月に都道府県産婦人科医会に対し、公費補助の実施状況についての調査を行った結果について記者懇談会で広報した。

また、本年度に立ち上がった難聴対策推進議員連盟（会長・石原伸晃）に出席し、難聴児の早期発見と早期療養開始の実現に向けた活動に参加し、「ジャパンヒアリングビジョン」の発出に際して公費補助の拡充を求める意見表明を行った。

さらに、厚労科研研究班「新生児期及び乳幼児期における聴覚検査の実施体制に関する実態調査研究」に参加し、都道府県や市区町村が担うべき役割についてのガイドブック作成にも参加した。

3. 新生児蘇生技術の普及のための講習会支援

日本周産期・新生児医学会に協力し、「日本版救急蘇生ガイドライン2015」に準拠した新生児蘇生法講習会を開催し、その新基準に基づいた手技の普及に努めた。

・インストラクター養成コース講習会（Iコース）

令和2年2月11日（火・祝）日本産婦人科医会会議室 受講者：18名

#### 4. HTLV-1母子感染予防対策の推進

厚生労働科学研究費補助金成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業「HTLV-1母子感染予防に関する研究：HTLV-1抗体陽性妊婦からの出生児のコホート研究」に分担研究者として参画し、スクリーニング方法、キャリア妊婦での授乳法の選択、キャリア妊婦から出生した児のフォローアップ体制などについての最新情報をHPに掲載するなどの啓発活動を行った。また、HTLV-1のスクリーニングで陽性となった妊婦とその子どものフォローアップ体制の構築を目的に、モデル地域として東京で、相談窓口を作ることを念頭に協議を行った。

#### 5. 妊娠前健診プログラム（プレコンセプションケア）の方向性の確認

成育基本法の成立をうけ、女性保健部会、先天異常部会と協働で「小児・思春期から成人期までの女性のリプロダクティブヘルスケア」として包括的な対応を行っていくことを確認した。

#### 6. 産前産後の予防接種の推進に向けた活動

先天性疾患や院内感染予防のため産前産後の予防接種の効用について検討し、先天異常部会が行う風疹撲滅に向けた啓発活動に協力した。

#### 7. 妊婦等への性感染症に関する調査の検討

性の健康医学財団と協力し、妊娠中の子宮頸部細胞診異常およびASC-US症例に対するハイリスクHPV検査の実態調査を実施した。全国2,293の分娩取扱い施設に、2018年10月～2019年3月までの間に分娩となった妊婦の妊娠初期細胞診検査の実態についてアンケートを依頼し、1,262施設（55.0%）から有効回答を得た。回答のあった分娩取扱い施設の調査機関における分娩数は238,735件で、同期間におけるわが国の総分娩数の約50%にあたるデータを得ることができた。

妊婦への子宮頸部細胞診を行う際の細胞採取法および標本作成法については、64.1%の施設は綿棒での細胞採取、35.8%の施設は細胞採取器具での細胞採取が実施されており、66.7%の施設は塗抹法、33.3%の施設は液状化検体法で標本作成が実施されていた。

全年齢での細胞診異常検出率は3.38%であり、年齢階級別では19歳以下が6.78%、20歳～29歳が3.83%、30～39歳が3.01%、40歳以上が3.73%であった。

各検査法における妊婦の年齢分布には差はなく、細胞採取器具と液状化検体法を用いた細胞診で最も異常検出率が高値であった。一方、液状化検体法を用いた場合、綿棒による細胞採取と細胞採取器具による細胞採取で細胞診異常検出率に有意差はなかった。

全年齢でのASC-US検出率は1.9%であり、そのうち65.3%にHR-HPV検査が実施され、そのうち陽性者は50.4%であった。HR-HPV検査陽性率は低年齢者ほど高い傾向にあった。

#### 8. 「健やか親子21」事業

健やか親子21推進協議会の参加団体として事業を推進した。

・第1回テーマグループ4ミーティング：

令和元年7月16日 小学館集英社プロダクション SP神保町第3ビル2階多目的ルーム

## 9. 委員会

母子保健医療の目標を達成するために委員会を開催した。

第1回 令和元年5月30日 本会会議室

出席者：茨委員長 他14名

協議事項

- (1) 妊産婦メンタルヘルス事業－地域研修会の開催に関する件
- (2) NCPRの開催に関する件
- (3) プレコンセプションケアに関する件

## Ⅶ. 献金担当連絡室

公益財団法人日母おぎゃー献金基金からの事業委託を受け、各都道府県産婦人科医会の献金担当者等の意見を伺い、協力体制の確立に努め、医会事業の一部と捉え、事業推進に努めた。主な事業は以下のとおりである。

1. 公益財団法人日母おぎゃー献金基金の事業推進に協力した。
2. 全国献金担当者連絡会を開催し、おぎゃー献金運動の普及・啓発に努めた。  
 第47回（令和元年度）全国献金担当者連絡会  
 令和元年7月7日（日）品川プリンスホテル  
 出席者：木下会長 他79名  
 （1）平成30年度事業報告。財団庶務報告。財団経理報告。その他
3. 令和元年度 献金額 83,524,076円  
 （集計・毎年1月1日から12月31日）
4. 財団運営費をのぞく配分等助成費

献金配分等助成費		支出額
施設助成金	17施設	32,813,010
研究助成金	8研究機関	10,972,200
特別委託研究助成金	クリアリングハウス国際モニタリングセンター日本支部	3,000,000
〃	浜松医科大学産婦人科学教室	2,000,000
推進月間補助金	各都道府県産婦人科医会	2,705,367
運営協力費		支出額
集金管理委託費	各都道府県産婦人科医会	4,948,234
業務委託費・給与費等		9,667,740
合 計		66,106,551